INTERCOLOR

LP-3000C

ユーザーズガイド

機能・操作方法・各種トラブルの解決方法について記載しています。

4012340-01
C01

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

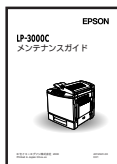
開梱と据置作業を行われる方へ

本製品の搬入後、梱包箱から取り出して据え置くまでの作業について説明しています。

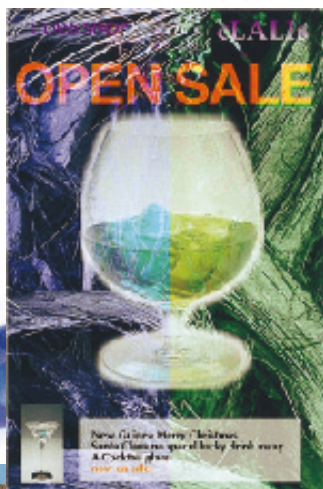
セットアップガイド

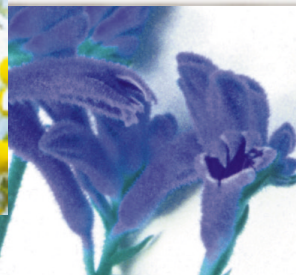
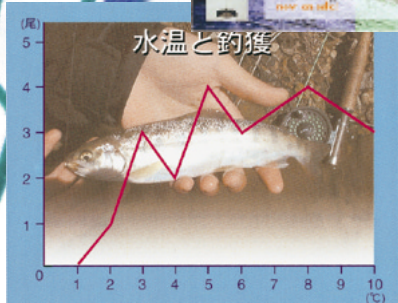
プリンタの組み立てから、プリンタソフトウェアのセットアップまでの手順を記載しています。

ユーザーズガイド

機能、操作方法など、本プリンタを使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。
お客様の目的に応じて、必要な章をお読みください。

メンテナンスガイド

用紙詰まり、用紙のセット方法など日常使用していく上で必要となる主な情報について記載しています。

カラーイメージングの世界へようこそ

Welcome to Color Imaging World

さまざまな写真データを活用して、インターカラー・レーザープリンタで印刷した例です。カラーで印刷することにより、より豊かで説得力のある表現が可能となります。これをヒントに、お客様ご自身のアイデアを盛り込んだ楽しいカラー印刷に挑戦してください。

色の概念

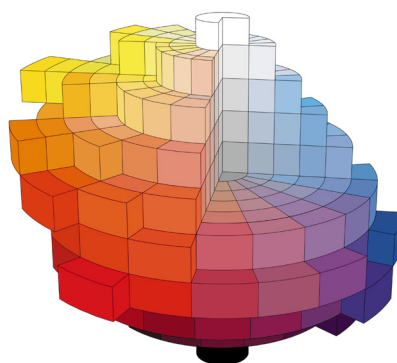
普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

色の要素

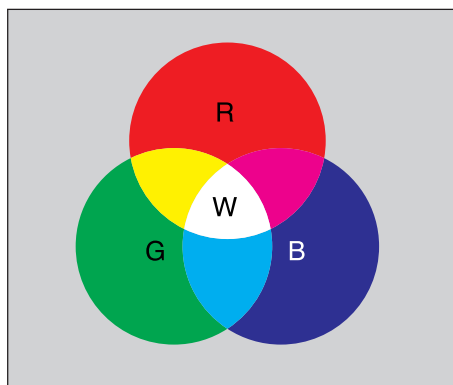
一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に彩度、明度という要素があります。

彩度は鮮やかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

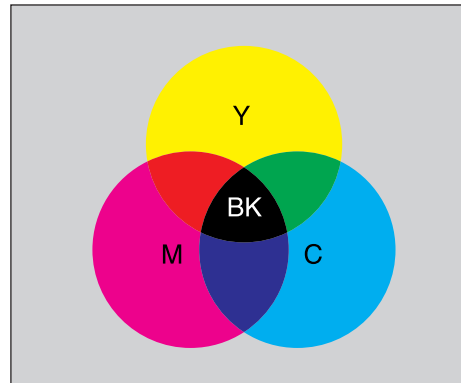
右の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

A : 色相
B : 彩度
C : 明度

ディスプレイの発色プロセス＜加法混色＞

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤(R)、緑(G)、青(B) の3色の光が見えます。これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが0:黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが100:白）までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

R:赤　G:緑　B:青　W:白

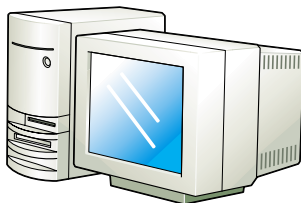
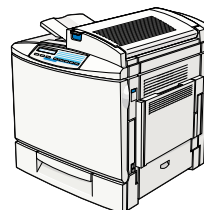
プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色のRGBではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン(C)、マゼンタ(M)、黄色(Y)の3色です。この3色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

Y:黄　M:マゼンタ　C:シアン　BK:黒

理論的にはCMYの3色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMYBKの4色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRTディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

“光”の三原色で表示

“色”の三原色で印刷

この加法混色（RGB）→減法混色（CMY）変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの表示はディスプレイの調整状態によっても変化するため、ディスプレイ表示とプリンタからの出力結果を完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ表示と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。
ただし、これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。
☞本書「より高度な色合わせについて」12ページ

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷(CMY)の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。

カラー印刷のポイント

8～16色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。
印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。
必要メモリの量に関係する印刷時の設定は、次の2つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準]300dpi/[高品質]600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装させることで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なおDTP出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、512MB（最大時）まで増設することをお勧めします。

	印刷サイズ	解像度	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	標準	32MB	32MB
		高品質	32MB	64MB
両面	A4	標準	32MB	32MB
		高品質	32MB	64MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	
デジタルカメラ	350,000 画素	ー	640 × 480	900	KB
	870,000 画素	ー	1024 × 768	2.3	MB
	1,300,000 画素	ー	1290 × 960	3.52	MB
	2,140,000 画素	ー	1600 × 1200	5.5	MB
フイルムスキャナ	1200dpi	ー	1700 × 1100	5.4	MB
フラットベッドスキャナ	300dpi	4' × 6'	1200 × 1800	6.2	MB
		A4	2550 × 3600	26.3	MB
	600dpi	4' × 6'	2400 × 3600	24.7	MB
		A4	5100 × 7200	105.1	MB
	1200dpi	4' × 6'	4800 × 7200	100	MB
		A4	10200 × 14000	420	MB
Photo CD	BASE	ー	768 × 512	1.1	MB
	4BASE	ー	1536 × 1024	4.5	MB
	16BASE	ー	3072 × 2048	18.0	MB

スキャナから画像を取り込む場合のポイント

ハイライト / シャドウ / ガンマの設定に注意する

ハイライトは画像の階調を有して最も明るい部分、シャドウは階調を有して画像の最も暗い部分です。ガンマはこれらの傾きです。この3点を適切に設定して取り込むだけで、おおむねきれいな画像が得られます。
スキャナの取扱説明書を参照し、ハイライト/シャドウ/ガンマを正しく設定した上で画像を取り込んでください(画像中の暗い部分が黒くつぶれないように、明るい部分が白く飛ばないように注意してください)。詳しくは、お使いのスキャナの取扱説明書をご覧ください。

適切な設定

ハイライトが強い設定

シャドウが強い設定

Photo CDから出力する場合のポイント

Photo CDの画像を印刷で利用する場合、開いた画像をそのまま出力しても必ずしも高品位な出力結果は得られませんので、適切な処理が必要です(ハイライト/シャドウの設定、色かぶりの除去、シャープネス設定など)。
適切な処理をするためには、通常Photoshopなどのアプリケーションソフトで画像を補正しますが、本機のプリンタドライバで「オートフォトファイン!4」を使用して印刷すると、元データはそのままに、出力する画像に対して適切な処理を施し、高画質化して印刷することができます。

処理すべき内容・方法については、「Photo CDプリプレスリファレンス＊」などに詳しく記載されていますので、そちらを参照してください。
＊Photo CD制作サービスの窓口でお求めください。

環境を整える

大きなデータを扱うには、コンピュータの環境を整えることが必要になります。画像の読み書き・表示・印刷などの作業に影響を与える要素には、次のものが挙げられます。

メモリ・ハードディスクの容量

画像の読み書き・表示・印刷など、全ての作業効率に影響を与える重要な要素です。そのため、メモリやハードディスク（システムを起動しているドライブ、または仮想記憶領域を割り当てているドライブ）には十分な容量を確保してください。快適に作業するには、ハードディスクに、最低でも「扱う画像データ容量の2倍以上の空き容量」が必要です。高速なCPUを搭載していれば、さらに快適な作業が可能です。

ディスプレイアダプタの性能

フルカラーのデータを扱うには、WindowsではHighColor（65000色）以上、Macintoshでは32000色以上の色数を表示できるディスプレイアダプタおよびディスプレイドライバが必要です。さらに、表示色数だけでなく、表示速度も作業効率に影響を与える重要な要素です。

アプリケーションソフトの性能

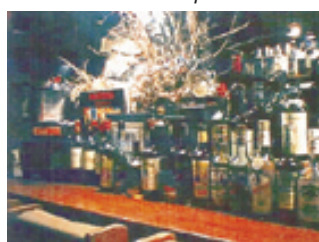
メモリ・ハードディスクと同じく、画像の読み書き・表示・印刷など、全ての作業に影響を与える重要な要素です。画像の読み書きの速度は、アプリケーションソフトによって差があります。
また、カラーマッチング（表示および印刷）の点でも、モニタキャリブレーションの機能を持つものがベストな選択と言えます。
Photoshopなどの、本格的なグラフィックス向けのアプリケーションソフトを使用されることをお勧めします。

印刷解像度について

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。印刷解像度は、1インチ（約2.54cm）あたりにいくつの点があるかをdpi（dot per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。

本機の印刷解像度は、300dpiまたは600dpiのいずれかを選択することが可能です。[詳細設定]ダイアログの解像度（Windows）/印刷品質（Macintosh）で「標準」（300dpi）または「高品質」（600dpi）を選択します。600dpiを選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

● 300dpi

● 600dpi

スクリーン線数について（解像度優先 / 階調優先）

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。
この点の密度をスクリーン線数と呼び、1インチ（約2.54cm）あたりの密度をlpi（line per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。
本機のスクリーン線数は、次の3つを選択できます。

268lpi	プリンタドライバの[詳細設定]ダイアログで[解像度優先]を選択します。
165lpi	プリンタドライバの[詳細設定]ダイアログで[階調優先]を選択します。
268lpi/165lpi（自動選択）	プリンタドライバの[詳細設定]ダイアログで[自動]を選択します。

268lpi（解像度優先）を選択すると、細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
165lpi（階調優先）を選択すると、細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
[自動]を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

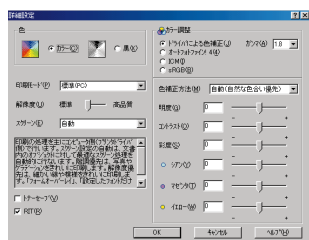
● 165lpi

● 268lpi

カラー調整

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定モードは、通常[推奨設定]にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には[詳細設定]で微調整(設定変更)を行ってください。

● *Windows ドライバ*

● *Macintosh ドライバ*

オートフォトファイン!4

オートフォトファイン!4とは、エプソン独自の画像解析/処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。
一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン!4」です。(印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。)
この機能は、1ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

- ● 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
- ● 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- ● 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅いCPUを搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ● ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」(Windows)/「ColorSync」(Macintosh)を使用して印刷してください。
- ● EPSON製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン!4 は使用しないでください。

オートフォトファイン!4を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGBカラーバランスの補正 ➡ 色かぶりが補正されます。
オブジェクトのRGBごとのヒストグラムを分析し、RGBごとにトーンカーブ補正を行います。

解像度の補正 ➡ 低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。
画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。

明るさの補正 ➡ 暗すぎる(露出不足)画像などが修正されます。
オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。

コントラストの強調 ➡ 中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。
ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。

彩度の強調 ➡ 色あせた画像が鮮やかになります。
画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン!4 ON

● 明るさの補正

● コントラスト・彩度の強調

● RGB カラーバランスの補正

※1ページの複数の画像に対して個別に適切な補正が行われます。

イメージ補正

明度の調整

プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて、色が暗い、または色が明るく飛んでしまうときに調整します。

設定−

設定0

設定＋

コントラストの調整

画像全体の明暗の差がはっきりしない、プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて全体的にぼやけているときに調整します。

設定−

設定0

設定＋

彩度の調整

プリンタ出力の結果を、もっと鮮やかに、色の深みを増したいときに調整します。

設定−

設定0

設定＋

カラーコントロールの調整　※画像はISO/JIS-SCIDのものを使用しています。

シアン・マゼンタ・イエローの濃淡を調整して、色合いを変えたいときに行います。

シアンの調整

プラス(+)方向に上げると青緑色がかり、マイナス(−)方向に下げるとシアンの補色である赤みが強くなります。

設定−

設定0

設定+

マゼンタの調整

プラス(+)方向に上げると赤紫色がかり、マイナス(−)方向に下げるとマゼンタの補色である緑色が強くなります。

設定−

設定0

設定+

イエローの調整

プラス(+)方向に上げると黄色みが強くなり、マイナス(−)方向に下げるとイエローの補色である青みが強くなります。

設定−

設定0

設定+

より高度な色合わせについて

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるには、次の方法があります。

●ディスプレイを調整する（モニタキャリブレーション）

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像やPhoto CDなどの画像は適切な明るさや色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。
ディスプレイの調整については、以下を参照してください。

●カラーマネジメントシステムを使う

原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いを一致させるためのシステムとして、MacintoshではApple社の「ColorSync」、Windows95/98/2000ではMicrosoft社の「ICM」があります。カラーマネージメントシステムについては、次ページを参照してください。

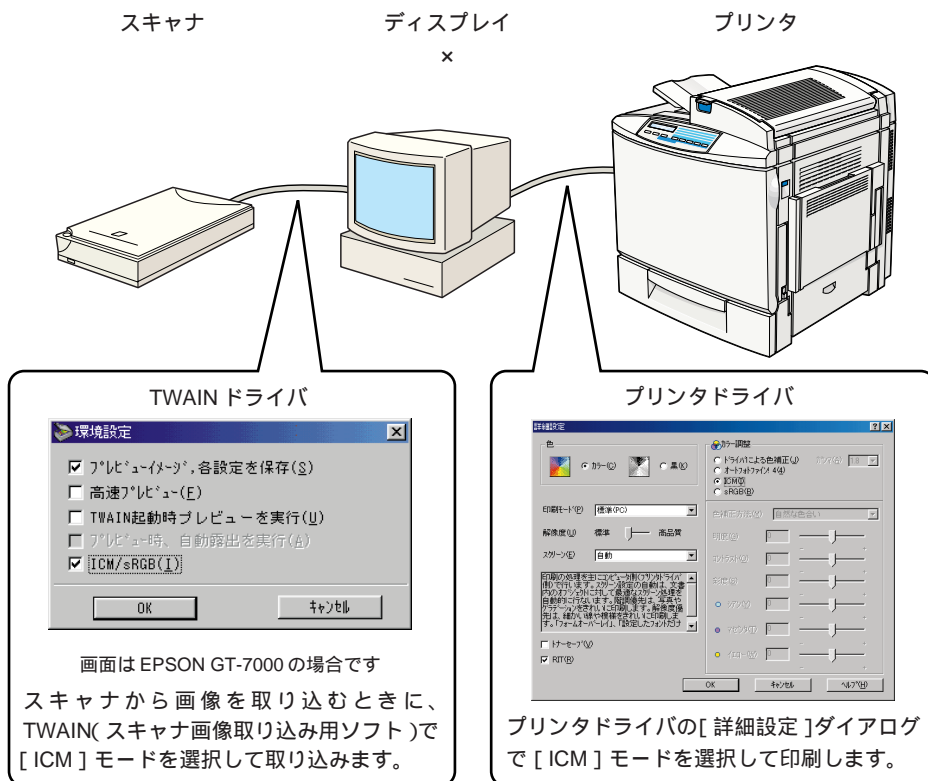
ディスプレイの調整

ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

> これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは原稿または印刷結果に近付けることができますが、すべてを近付けることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにし、30分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。**
2. **室内の照明環境を一定にします。**
   自然光は避けて、なるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。
3. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500 °Kに調整します。**
4. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**
   ディスプレイで表示される「黒」が、「真っ黒」に近くなるように調整します。
5. **Macintoshをお使いで、コントロールパネルに「ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshopがインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**
   ガンマ補正の値は、一般的な 1.8 に設定するのが良いでしょう。
6. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿またはプリンタの出力結果に近くなるように調整を行います。**
7. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

カラーマネージメントシステム「ICM」

スキャナから取り込んだ画像とプリンタでの印刷結果の色合いを近付けるために、Windows95/98/2000では、Microsoft社の「ICM」というカラーマネージメントシステムがあります。

ICMを使用した場合でも、通常、ディスプレイ表示だけは色合いを近付けることはできません。ただし、次の場合に、ディスプレイ表示の色合いを近付けることができます。

- ディスプレイ調整機能によって、ディスプレイをガンマ特性2.2、色温度6500 Kに調整した場合。（前ページを参照してください。）
- Windows98をご利用で、ディスプレイメーカーからICCプロファイル（色特性データファイル）が提供されており、なおかつアプリケーションソフトが対応している場合。
  （詳細は、ディスプレイおよびアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。）

ポイント

- 「ICM」は、Windows95/98/2000 用のプリンタドライバでのみご利用になれます。
- TWAIN ドライバなどスキャナについての詳細は、スキャナの取扱説明書をご覧ください。
- Windows98/2000のICMはWindows95のICMよりも高い精度で色合いを近付けることができます。

カラーマネージメントシステム「ColorSync」

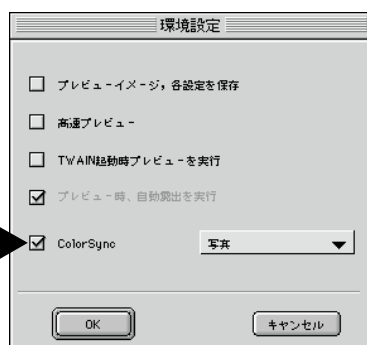
「ColorSync」は、原画(印刷データ)、ディスプレイの表示、印刷結果の色の合わせ込みを行うApple社のカラーマネージメント機能です。
以下に、「ColorSync」を使用しての、画像の取り込みから印刷までの流れを示します。

ポイント

「ColorSync」を利用するには、Macintoshに「ColorSync」がインストールされている必要があります。

1 まず始めに、お使いのディスプレイの特性を設定します。

☞本書「ColorSync について」154 ページ

2 スキャナから画像を取り込む場合は、TWAIN(スキャナの画像取り込み用ソフト)で、「ColorSync」を使用して画像を取り込みます。

画面はEPSON GT-7000(スキャナ)の場合です。

3 プリンタドライバで「ColorSync」を選択して、印刷します。

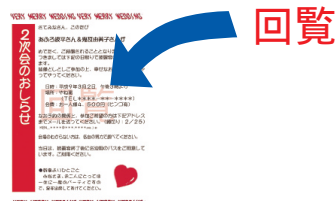
- 「ColorSync」を選択して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせができません。
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます（AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、[ドライバによる色補正]－[色補正方法：色補正なし]を指定してください。

プリンタドライバの印刷機能

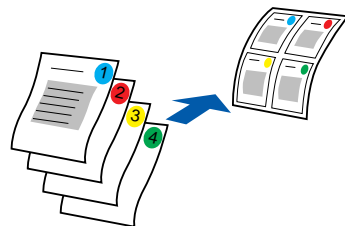
本機のプリンタドライバには、お客様の様々な用途にお応えできるよう便利な印刷機能をご用意しています。

スタンプマーク印刷機能

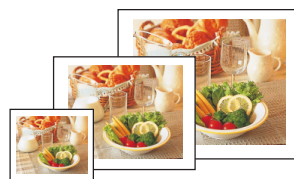
文書に ㊙ などのイメージやテキストを重ねて印刷することができます。
お客様のオリジナルのイメージを保存し、使用することも可能です。

☞ Windows　本書「スタンプマークを印刷するには」66ページ
Macintosh　本書「スタンプマーク」142ページ

割り付け印刷機能

２ページまたは４ページ分のデータを１ページにまとめて印刷できます。

☞ 本書「[レイアウト]ダイアログ」
Windows　63ページ
Macintosh　142ページ

拡大 / 縮小印刷機能

プリンタにセットした用紙サイズを設定することで、自動的に倍率が設定されます。また任意の倍率を設定することも可能です。

☞ Windows　本書「[レイアウト]ダイアログ」63ページ
Macintosh　本書「[用紙設定]ダイアログ」124ページ
本書「[レイアウト]ダイアログ」142ページ

セピア / 特殊効果印刷機能

オートフォトファイン!4を使用して印刷することにより、お好みの画像をセピア調に印刷することができます。

☞ 本書「[詳細設定]ダイアログ」
Windows　56ページ
Macintosh　136ページ

印刷機能の確認

ステータスシートを印刷してプリンタの状態や設定値を確認することができます。
本書「ステータスシートの印刷」191 ページを参照してステータスシートを印刷し、下図のようにきれいに印刷されれば、本機の印刷機能は正常に動作しています。

トナー残量が確認できます。

プリンタにセットしてある用紙のサイズや設定されている用紙タイプを確認できます。

プリンタに設定されている各種設定値が確認できます。

プリンタが認識しているハードウェアを確認できます。オプション類を装着してここに表示されない場合は、確実に装着されているか確認してください。

- 上の印刷サンプルは印刷上の都合により、実際の印刷とは多少異なることがあります。
- 各種設定項目の値は、ご利用のプリンタの状態により異なります。

本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

Windows95/98/NT4.0/2000 をお使いの方のみお読みください。 Win

Macintosh をお使いの方のみお読みください。 Mac

もくじ

3 Macintoshからの印刷

4 操作パネルでの設定

5 オプションについて

付録

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は、必ずお読みください。

それぞれのマークには次のような意味があります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。

補足説明や、知っておいていただきたいことを記載しています。

用語[*1]　用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

表記について

Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows®2000 Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows95/98/NT4.0/2000」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

Windowsの画面について

本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows98の画面を使用しています。

第1章

用紙と給紙/排紙装置について

LP-3000C Paper

ここでは、印刷できる用紙、用紙のセット方法、給紙 / 排紙装置について説明しています。

用紙について

本機は、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。

印刷できる用紙の種類

EPSON製の用紙

次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		型　番	説　明
普通紙	EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA4（A4）	本機での印刷時、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。 用紙トレイ、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSONカラーレーザープリンタ用OHPシート	LPCOHPS1（A4）	EPSON製の、カラーレーザープリンタ専用のOHPシートです。用紙トレイからの給紙のみ可能です。

EPSON 製上質普通紙の印刷面は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）です。

上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		説　明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は 60 ～ 90g/m² の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *1	紙厚は 60 ～ 90g/m² の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製ハガキ	通常の官製ハガキ（190g/m²）が使用可能です。
	封筒 *2	のりやテープが付いていない洋形0・4・6号サイズの封筒が使用可能です。
	ラベル紙 *3	台紙全体がラベルで覆われている、レーザープリンタ用のラベル紙が使用可能です。
	厚紙	紙厚は 91 ～ 163g/m² の範囲内のものが使用可能です。
	不定形紙	用紙幅 92 ～ 216mm、用紙長 148 ～ 297mm の範囲内のものが使用可能です。

＊1：再生紙は、紙種、使用環境によっては印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

＊2：使用できる封筒の詳細と使用上の注意については、以下のページを参照してください。
本書「封筒への印刷」36 ページ

＊3：台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙は、プリンタ内部でのラベルのはがれにより故障の原因となるため、使用しないでください。

ポイント

- **特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なります。以下のページを参照してください。**
  本書「特殊紙への印刷について」34ページ
- **特殊紙への印刷時は、印刷品質を良好な状態に保つため印刷速度を落として（半速モード）印刷します。**
  本書「プリント速度」291ページ
- **用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。**

印刷できない用紙について

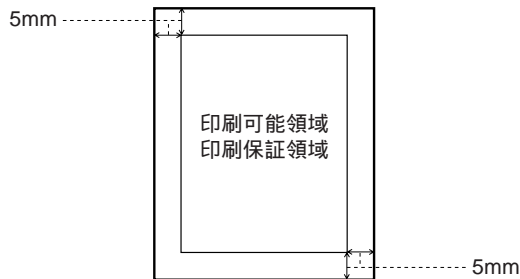
以下の用紙は、本機では使用しないでください。印刷不良、紙詰まり、またプリンタの故障などの原因になります。

- カラー複写機やモノクロ複写機で印刷済みの用紙
- カラーレーザープリンタ、モノクロレーザープリンタで印刷済みの用紙
- 他のカラーレーザープリンタ/モノクロレーザープリンタ用OHPシート、他のカラー複写機 / モノクロ複写機用 OHP シート
- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙・光沢紙・光沢フィルムなど）
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷済みの用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙（ザラ紙、繊維質の用紙など）、表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- 折り目、カール、波うち、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙、台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙
- 糊、ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙
- 凸凹や留め金のある用紙、封筒
- 高温（約150℃）で変質するインクが使われているプレプリント用紙

印刷できる領域

本機の印刷できる領域には次の 2 種類があります。

- 印刷保証領域：印刷の実行と印刷品質（画質など）を保証する領域です。
- 印刷可能領域：印刷の実行のみを保証する領域です。

● ハガキ～A4の定形紙の印刷可能領域と印刷保証領域は同じです。
用紙の各端面から 5mm を除く範囲に印刷できます。

アプリケーションソフトによっては、印刷保証領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

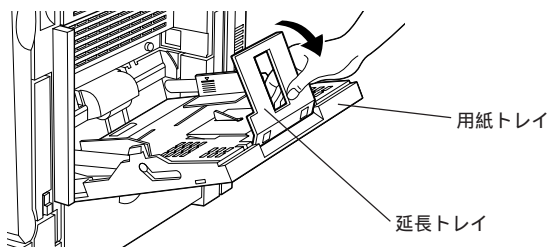
- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリがつかないよう、包装紙などに包んだり、箱に入れて保管してください。

給紙装置について

本機には、標準で用紙トレイと用紙カセットの2つの給紙装置があります。オプションの増設カセットユニットを装着することにより、最大で3つにすることができます。

用紙の詳しいセット方法については、以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「用紙のセット」30 ページ

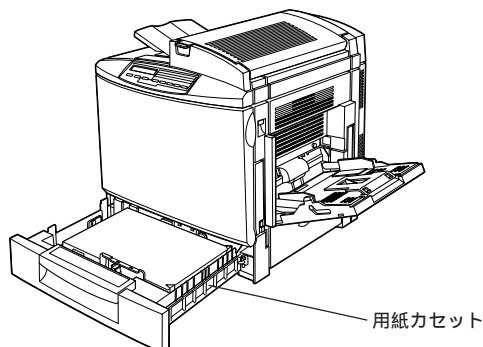
用紙トレイ

用紙トレイには、本機で印刷できる全ての用紙をセットすることができます。印刷する面を下に向けてセットしてください。延長トレイは、印刷する用紙がトレイに収まらない場合に広げて使用します。

他のプリンタや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。印刷不良、紙詰まり、プリンタの故障などの原因になります。

- **セットした用紙のサイズと種類に合わせて、操作パネルで［トレイ紙サイズ］と［トレイ紙タイプ］を設定してください。**
  ☞本書「ワンタッチ設定モード 2 での設定方法」165 ページ
  「階層設定モードでの設定方法」167 ページ
- **用紙は給紙方向に対して縦長の状態でセットします。**

用紙カセット

用紙カセットには、印刷する面を上に向けて用紙をセットします。
用紙カセットにセットできる用紙は次の通りです。

用紙種類	普通紙 /EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙
用紙サイズ	A4、Letter（LT）

他のプリンタや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。
印刷不良、紙詰まり、プリンタの故障などの原因になります。

- **用紙の印刷面を上に向けてセットしてください。**
- **用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。**
  セット位置がずれていると、プリンタが用紙サイズを正しく検知できない場合があります。
- **オプションの増設カセットユニットへの用紙のセット方法は、標準の用紙カセットの場合と同じです。**
- **セットした用紙の種類に合わせて、操作パネルで［カセットタイプ］を設定してください。**
  ☞本書「階層設定モードでの設定方法」167 ページ

用紙と給紙装置の関係

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。
特殊紙を使用する場合は、必ず用紙トレイにセットしてください。

<table>
<tr><th colspan="2">給紙装置</th><th colspan="2">用紙種類</th><th>用紙サイズ</th><th>紙　厚</th><th>容　量</th></tr>
<tr><td rowspan="9">標準装備の給紙装置</td><td rowspan="8">用紙トレイ</td><td colspan="2">普通紙
EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A4、A5、B5、Letter(LT)、Half-Letter(HLT)、Executive(EXE)、GovernmentLetter(GLT)</td><td>60〜90g/m^2</td><td>150枚(または総厚18.5mm)</td></tr>
<tr><td rowspan="7">特殊紙[*1]</td><td>官製ハガキ</td><td>100mmx148mm</td><td>190 g/m^2</td><td>50枚</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>洋形0号、洋形4号、洋形6号</td><td>ー</td><td>10枚</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td>ハガキ〜A4</td><td>91〜163g/m^2</td><td>50枚</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>ハガキ〜A4</td><td>91〜163g/m^2</td><td>50枚</td></tr>
<tr><td rowspan="2">不定形紙</td><td rowspan="2">用紙幅：92〜216mm
用紙長[*2]：148〜297mm</td><td>60〜90 g/m^2</td><td>150枚(または総厚18.5mm)</td></tr>
<tr><td>91〜163 g/m^2</td><td>50枚</td></tr>
<tr><td>EPSONカラーレーザープリンタ用OHPシート</td><td>A4</td><td>140g/m^2</td><td>50枚</td></tr>
<tr><td>用紙カセット</td><td colspan="2">普通紙
EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A4、Letter(LT)</td><td>60〜90g/m^2</td><td>500枚(または総厚55mm)</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td>増設カセットユニット
LP30CWC1</td><td colspan="2">普通紙
EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A4、Letter(LT)</td><td>60〜90g/m^2</td><td>500枚(または総厚55mm)</td></tr>
</table>

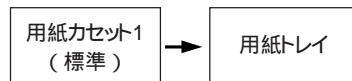
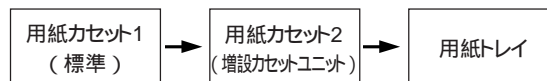
*1　特殊紙の詳細については、以下のページを参照してください。
本書「特殊紙への印刷について」34 ページ

*2　用紙長を 210mm 未満に設定した場合は半速モードになります。

給紙装置の優先順位について

プリンタドライバや操作パネルの設定で給紙装置を［自動選択］に設定すると、印刷実行時にプリンタドライバで設定した用紙サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置から給紙します。

また、最初に見つけた給紙装置の用紙がなくなると、他の給紙装置を調べて同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。給紙装置を調べる順序は次の通りです。

- 標準状態

- 増設カセットユニット（オプション）装着時

同サイズの普通紙の場合、以下の連続給紙が可能です。

給紙装置の組み合わせ	合計枚数
標準（用紙カセット 1 ＋ 用紙トレイ）	650 枚
オプションの増設カセットユニット装着時	1,150 枚

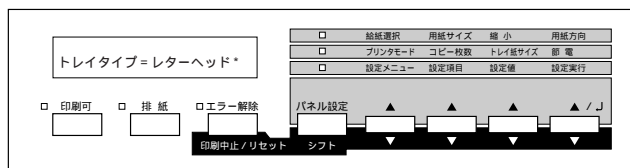
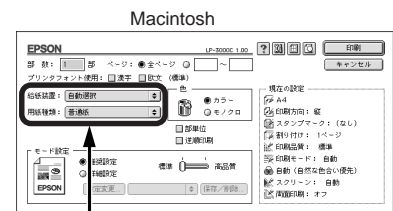
用紙サイズや給紙装置の指定をアプリケーションソフト上で行っている場合、アプリケーションソフト上での設定がプリンタドライバでの設定より優先される場合があります。

用紙タイプ選択機能

各給紙装置にセットした用紙のタイプ（種類）を設定しておくことで、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプの用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぎます。

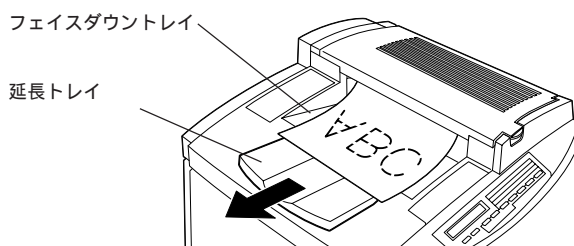
操作パネルで各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。
用紙のタイプは次の中から選択できます。

用紙トレイ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色付き、OHP シート、ラベル
用紙カセット	普通紙、再生紙、色付き

本書「階層設定モードでの設定方法」167 ページ

印刷実行時にプリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定し、［用紙種類］の中から設定した用紙のタイプを選択します。
印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

排紙装置について

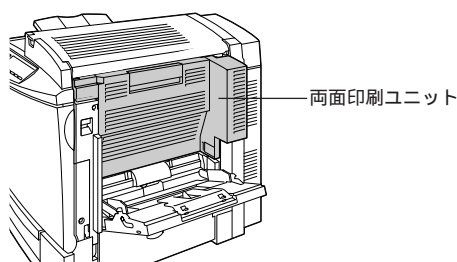
本機の排紙装置は1つです。

フェイスダウントレイ

プリンタ本体の上面がフェイスダウントレイです。印刷面を下にして排紙されます。A4、Letter（80g/m²）の場合、500枚保持できます。

延長トレイ

フェイスダウントレイに収まらないサイズの用紙を排紙する場合などに、排紙された用紙を保持するよう必要に応じて引き出します。

両面印刷ユニット（オプション）について

両面印刷ユニットを装着することで、用紙の両面に印刷することができます。

両面印刷ユニットで使用できる用紙

用紙種類	普通紙（用紙厚 60 ～ 90g/m²）/EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙
用紙サイズ	A4、Letter(LT)

両面印刷ユニット使用時の制限事項

- 用紙の表側に印刷するデータと、用紙の裏側に印刷するデータで、用紙サイズや給紙装置の設定が異なる場合、両面印刷はできません。この場合、両方とも用紙の表側に印刷して出力します。
- A5、B5、Half Letter（HLT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）および不定形サイズの用紙は両面印刷できません。
- 特殊紙は、両面印刷できません。

両面印刷ユニットを使用するには

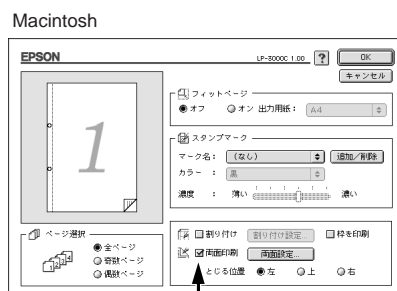
両面印刷ユニットを使って自動両面印刷を行う場合は、プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］のチェックボックスをチェックします。

☞本書「［レイアウト］ダイアログ」Windows　63 ページ
Macintosh　142 ページ

Windows

チェックします

Macintosh

EPSON　LP-3000C 1.00　OK　キャンセル
フィットページ　オフ　オン　出力用紙：A4
スタンプマーク　マーク名：（なし）　追加／削除　カラー：黒　濃度：薄い　濃い
ページ選択　全ページ　奇数ページ　偶数ページ
割り付け　割り付け設定...　枠を印刷
両面印刷　両面設定...
とじる位置　左　上　右

チェックします

特殊紙への印刷について

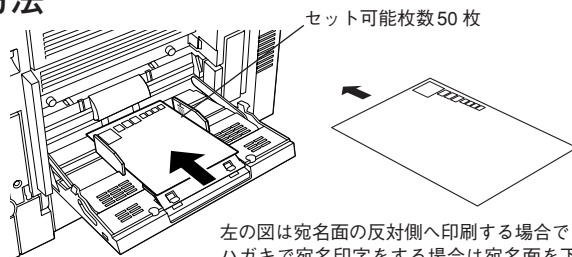
ここでは、ハガキなど、特殊紙への印刷方法について説明します。

- 特殊紙（コート紙を除く）は、用紙トレイにセットしてください。用紙カセットからの特殊紙の印刷はできません。
- 特殊紙への印刷時は、良好な印字品質を保持するために印刷速度を落として(半速モード)印刷します。
  本書「プリント速度」291 ページ

ハガキへの印刷

- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があります。
  本書「給紙ローラのクリーニング」280 ページ
- 以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
  私製ハガキ
  箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
  絵ハガキ
  他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
  大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
  四面連刷ハガキ

給紙の方法

セット可能枚数 50 枚

左の図は宛名面の反対側へ印刷する場合です。ハガキで宛名印字をする場合は宛名面を下にします。

- 印刷する面を下に向けて用紙トレイにセットしてください。
- 往復ハガキは用紙中央に折り目がないものを使用してください。
- 往復ハガキに印刷する場合は、アプリケーションソフトで用紙サイズを、200mm×148mmに設定してください。アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、往復ハガキへの印刷はできません。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数mm上に反らせてセットしてください。
- ハガキに印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

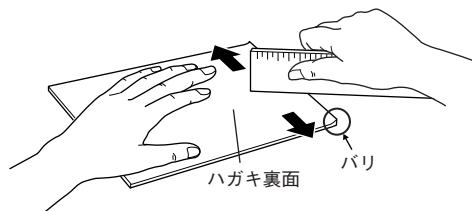
給紙方法 / セット可能枚数		用紙トレイ /50 枚
官製ハガキ	操作パネルの設定	［ワンタッチ設定モード 2］［トレイ紙サイズ］→［ハガキ］
	プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［ハガキ 100x148mm］ ［給紙装置］→［用紙トレイ］
		Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→［ハガキ］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］
往復ハガキ	操作パネルの設定	操作パネルで往復ハガキの用紙サイズを指定する必要はありません。
	プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［ユーザー定義サイズ］ ［給紙装置］→［用紙トレイ］ **［用紙種類］→［厚紙］**[*2]
		Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→［ユーザー定義サイズ］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ **［用紙種類］→［厚紙］**[*2]

＊1　ハガキに印刷する場合は、［用紙種類］を特に［厚紙］に設定する必要はありません（［用紙サイズ］が正しく［ハガキ］に設定されていれば、プリンタは自動的に［厚紙］として認識します）。

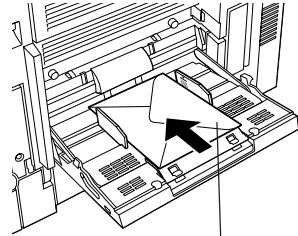
*2　往復ハガキに印刷する場合は、［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1～2 回こすり、「バリ」を除去します。

- 「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。
- ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなる おそれがあります。万一、用紙を給紙できなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。
  ☞本書「給紙ローラのクリーニング」280 ページ

封筒への印刷

印刷可能な封筒のサイズは、洋形０号、洋形４号、洋形６号の３つです。
印刷面を下にしてセットします。

フラップを閉じ、印刷面を下にしてセットします

以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

- **封の部分に糊付け加工が施されている封筒**
- **箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒**
- **リボン、フックなどが付いている封筒**
- **他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒**
- **二重封筒**
- **窓付きの封筒**
- **高温（約150度）で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒**

給紙方法 / セット可能枚数	用紙トレイ /10 枚
操作パネルの設定	［ワンタッチ設定モード2］［トレイ紙サイズ］→［ヨウ0］、［ヨウ4］、［ヨウ6］
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［洋形0号］、［洋形4号］、［洋形6号］ ［給紙装置］→［用紙トレイ］
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→［洋形0号］、［洋形4号］、［洋形6号］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］

- **印刷可能な封筒のサイズは、洋形０号、洋形４号、洋形６号の３つ（洋形封筒のみ）です。**
- **長形、角形などの封筒はご使用になれません。**
- **封筒のフラップ（閉じ口）を閉じた状態で、フラップが奥側になるような状態でセットしてください。**
- **セットしても給紙されなかった場合は、 先端を数 mm 上に反らせてセットしてください。**

厚紙への印刷

厚紙への印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［厚紙］に設定してください。

☞本書「用紙種類」Windows　52 ページ
Macintosh　130 ページ

給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/50枚
操作パネルの設定	［ワンタッチ設定モード2］［トレイ紙サイズ］→任意のサイズを設定
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［用紙種類］→［厚紙］
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［用紙種類］→［厚紙］

印刷する面を下にしてセットしてください。

不定形紙への印刷

本機では、用紙幅92〜216mm、用紙長148〜297mmのサイズの用紙に印刷することができます。

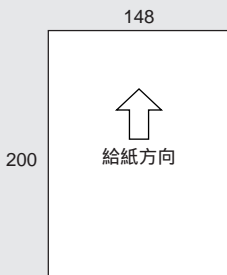
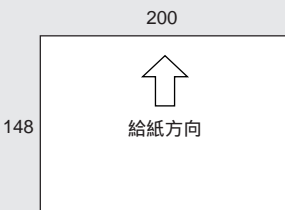
給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/150枚*1
操作パネルの設定	操作パネルで不定形紙の用紙サイズを指定する必要はありません。
プリンタドライバの設定	Windows [基本設定]　[用紙サイズ]→任意のサイズを設定*2 　　　　　　[給紙装置]→[用紙トレイ]
	Macintosh [用紙設定]　[用紙サイズ]→任意のサイズを設定*2 [プリント]　[給紙装置]→[用紙トレイ]

*1 ：紙厚が91〜163g/m² の場合のセット可能枚数は50枚です。

*2 ：用紙長を210mm未満に設定した場合は半速モードになります。

ポイント

- **アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**
- **印刷する面を下にしてセットしてください。**
- **用紙のセット方向は、プリンタドライバのユーザー定義サイズで設定した通りにプリンタにセットしてください。**

< 例 > ユーザー定義サイズを「用紙幅148×用紙長200mm」に設定した場合

< 例 > ユーザー定義サイズを「用紙幅200×用紙長148mm」に設定した場合

ラベル紙への印刷

- ラベル紙への印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［ラベル］に設定してください。
  ☞本書「用紙種類」Windows　52 ページ
  Macintosh　130 ページ
- 以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。
  - 簡単にはがれてしまうラベル紙
  - 一部がはがれているラベル紙
  - 糊がはみ出しているラベル紙
  - 台紙全体がラベルで覆われていない（台紙がむき出しになっている）ラベル紙
  - インクジェットプリンタ用のラベル紙

給紙方法 / セット可能枚数	用紙トレイ /50 枚
操作パネルの設定	［ワンタッチ設定モード2］［トレイ紙サイズ］→セットする用紙のサイズを設定
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［用紙種類］→［ラベル］
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［用紙種類］→［ラベル］

- ラベルが貼ってある面を下に向けてセットしてください。
- レーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。

OHPシートへの印刷

本機ではEPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート（型番：LPCOHPS1）をご使用ください（以下、「専用OHPシート」と記載）。

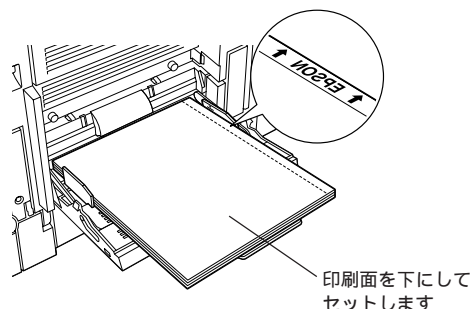
- **OHPシートへの印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［OHPシート］に設定してください。**
  ☞本書「用紙種類」Windows 52ページ
  Macintosh 130ページ
- **専用OHPシート以外のOHPシートをご使用になると、故障や印刷不良の原因となります。特にインクジェットプリンタ用OHPシートまたは表面に特殊コートを施したOHPシートは、致命的な故障の原因になる場合がありますので、絶対に使用しないでください。**

給紙方法 / セット可能枚数	用紙トレイ /50枚
操作パネルの設定	［ワンタッチ設定モード2］［トレイ紙サイズ］→［A4］
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］　［用紙サイズ］→［A4］ ［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［用紙種類］→［OHPシート］
	Macintosh ［用紙設定］　［用紙サイズ］→［A4］ ［プリント］　［給紙装置］→［用紙トレイ］ ［用紙種類］→［OHPシート］

- **専用のOHPシート（型番：LPCOHPS1）を使用してください。**
- **OHPシートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHPシートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。**
- **印刷直後のOHPシートは熱くなっていますのでご注意ください。**

専用OHPシートのセット

専用 OHP シートをセットする場合、次の点を必ず守ってください。

- 必ず用紙トレイにセットしてください。
- 必ず専用OHPシートの目印のある箇所を、下図の方向に向け印刷面を下にしてセットしてください。

「カミシュガ　タダシクアリマセン」と表示された場合

次の場合、本機は操作パネルの液晶ディスプレイに「カミシュガ　タダシクアリマセン」と表示して、印刷しないで排紙します。

- ［用紙種類］を［OHP シート］に指定して、OHP シート以外の用紙を給紙した場合
- ［用紙種類］を［OHP シート］以外を指定して、OHP シートを給紙した場合

この場合、プリンタを印刷可能状態に戻すには次のようにしてください。

①［用紙種類］に合わせて正しい用紙をセットします。
② エラー解除 スイッチを押すと、印刷を再開します。

第2章

Windowsからの印刷

LP-300C Printing on Windows

ここでは、Windows95/98/NT4.0/2000からの印刷方法とユーティリティについて説明します。

印刷までの流れ

印刷データを作成します

1

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

プリンタの状態を確認します

2

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、プリンタが印刷可能な状態であるか確認します。また、EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウを開くと、給紙装置にセットした用紙の残量やトナー残量などもチェックできます。

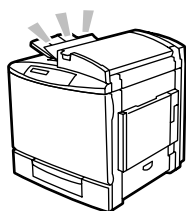
☞本書「ユーティリティの起動」80 ページ
☞本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」81 ページ

プリンタドライバで印刷条件を設定します

3

☞本書「印刷の手順」45 ページ
☞本書「プリンタドライバの設定」48 ページ
☞本書「印刷の基本設定」50 ページ
☞本書「レイアウトの設定」63 ページ

※ 操作パネルで設定できる項目と重複するもの（トレイ紙サイズを除く）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

印刷を実行します

4

☞本書「印刷の中止方法」47 ページ

印刷の手順

Win

ここでは、Windows95/98/NT4.0/2000に添付のワードパッドを例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

ポイント

プリンタドライバはインストールされていますか？インストールしていない場合は、以下のページを参照してプリンタドライバをインストールしてください。

☞ セットアップガイド「Windowsプリンタソフトウェアのセットアップ」41ページ

1 アプリケーションソフトを起動します。

すでに存在するファイルを印刷する場合は、ファイルをダブルクリックして、アプリケーションソフトを起動し、4 に進みます。

ポイント

「ワードパッド」の起動方法：
スタート ボタンをクリックし、［プログラム］にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ、［ワードパッド］をクリックします。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などについて設定します。

3 印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、OK ボタンをクリックします。

余白は、本機の印刷可能領域である上下左右5mmに設定しておくとよいでしょう。

Win

4 **印刷するファイルを作成して、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。**

5 **LP-3000Cが選択されていることを確認し、プロパティボタンをクリックします。**

プリンタドライバを設定する必要がなければ、OKボタンをクリックして印刷を実行します。

6 **各項目を設定してOKボタンをクリックします。OHPシート、厚紙、ラベル紙に印刷する場合は、[用紙種類] から印刷する用紙を選択します。**

通常は、[基本設定] ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞本書「プリンタドライバの設定」48ページ

ポイント

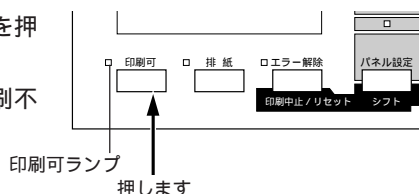
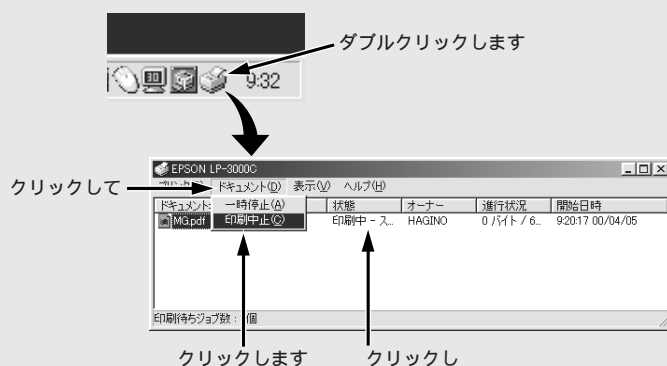
[用紙サイズ]はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

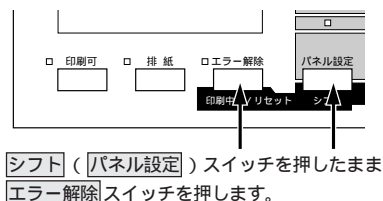
7 **OKボタンをクリックします。**

印刷データがプリンタに送られ印刷が始まります。

印刷の中止方法

1 **プリンタの 印刷可 スイッチを押します。**

印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。
①Windows のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。
②中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

2 **シフト スイッチと エラー解除 スイッチを同時に押します（リセット）。**

受信データが消去されます。

ポイント

シフト スイッチ+エラー解除 スイッチを 5 秒以上押すと電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。
本書「リセットオール」194 ページ

プリンタドライバの設定

Win

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、2通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。

＜例＞ Windows98でアプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞ Windows98で［プリンタ］フォルダから開いた場合

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、この方法で設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。標準的な方法は、［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させ、プロパティ ボタンをクリックします。以下のページの手順を参考にしてください。

☞本書「印刷の手順」45ページ

［プリンタ］フォルダからの開き方

［プリンタ］フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定および管理と新しいプリンタの追加が実行できます。［プリンタ］フォルダでのプリンタドライバの設定値は、アプリケーションソフトからプリンタドライバを開いた際の初期値になります。

① スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせてから、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタ］フォルダ内の［EPSON LP-3000C］アイコンを右クリックしてから、Windows95/98の場合は［プロパティ］を、WindowsNT4.0の場合は［ドキュメントの既定値］を、Windows2000の場合は［印刷設定］をクリックします。

ポイント

WindowsNT4.0/2000の場合、プリンタに装着したオプションを設定したり、フォントの置き換えを設定するときは、［プロパティ］を選択する必要があります。プリンタドライバの設定値を変更する場合に、［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択します。

プリンタドライバで設定できる項目

本章は、LP-3000Cプリンタドライバの設定項目に関して以下の項目に分けて説明します。

印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷に関わる基本的な設定を行うには、以下のページを参照してください。
☞本書「印刷の基本設定」50 ページ

レイアウトの設定

拡大 / 縮小印刷、割り付け印刷、スタンプマークなど、レイアウトに関する設定を行うには、以下のページを参照してください。
☞本書「レイアウトの設定」63 ページ

フォームオーバーレイ印刷

オプションのフォームオーバーレイユーティリティを使って、あらかじめ作成したフォームを重ねて印刷するには、以下のページを参照してください。
☞本書「フォームオーバーレイ印刷」71 ページ

プリンタの環境設定

プリンタに装着したオプションを認識させたり、ステータスシートを印刷したり、またプリンタの動作環境を設定するには、以下のページを参照してください。
☞本書「プリンタの環境設定」73 ページ

ユーティリティの起動

プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動するには、以下のページを参照してください。
☞本書「ユーティリティの起動」80 ページ

印刷の基本設定

Win

[基本設定]ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

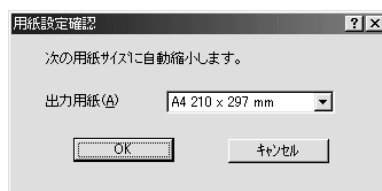
＜例＞ Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印▲▼をクリックして表示させてください。

ユーザー定義サイズ　：任意の用紙サイズを設定するには、[ユーザー定義サイズ］を選択します。以下の画面で、設定の単位を選択してから、用紙幅と用紙長を設定します。

設定できるサイズは以下の通りです。
用紙幅：921 〜 2159mm（3.63 〜 8.50 インチ）
用紙長：1480 〜 2970mm（5.83 〜 11.68 インチ）
☞本書「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」55 ページ

自動縮小印刷 ：プリンタがサポートするサイズより大きいA2などを選択した場合、[用紙設定確認] ダイアログが表示されます。[出力用紙] のリストボックスで選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ポイント

作成した印刷データの用紙サイズと［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、まちがったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

自動選択 ：印刷実行時に、[用紙サイズ] で選択したサイズおよび［用紙種類］で選択した用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。

用紙トレイ ：用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ] を選択します。

用紙カセット 1 ：標準の用紙カセットから給紙する場合は、［用紙カセット 1］を選択します。

用紙カセット 2 ：オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙する場合に選択します。

ポイント

- **オプションの給紙装置が表示されない場合は、オプションの設定がされているかご確認ください。**
  ☞セットアップガイド「オプションの設定」46 ページ
- **［自動選択］を選択して拡大／縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**
- **用紙トレイはセットした用紙サイズを自動的に検知できませんので、必ず「操作パネル」で用紙サイズを設定してください。**
  ☞本書「ワンタッチ設定モード 2 での設定方法」165 ページ

④用紙種類

特殊紙（OHP シート、厚紙、ラベル紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。

☞本書「用紙タイプ選択機能」31 ページ

項目	説明
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。給紙装置には［自動選択］を選択します。
OHP シート、ラベル紙、厚紙	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。

ポイント

- **ハガキ、封筒へ印刷する場合は、設定の必要はありません。**
- **操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。特殊紙へ印刷しない場合は、［指定しない］を選択してください。**

⑤色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［黒］を選択します。［色］の設定によって、次の［印刷品質］の設定は異なります。

⑥印刷品質

印刷の品質を決定するさまざまな機能を設定します。

推奨　：一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）どちらかを選択できます。通常は［標準］の設定で十分な印刷品質が得られます。［高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。

詳細　：［詳細］をクリックすると、プリセットメニュー[*1]のリストボックスと 設定変更 / 保存 / 削除 ボタンが有効になります。

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている用途別の選択肢。リストボックスの中に、一覧で表示される。

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック / ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン!4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ICM	Windows95/98/2000のICM(Image Color Matching)機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの印刷結果の色合いを合わせて印刷します。
sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器がsRGBに対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチングを行って印刷します。ご利用の機器がsRGBに対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック / ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

設定変更 ボタン　：設定変更 ボタンをクリックすると［詳細設定］ダイアログが開き、詳細な設定ができます。詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「［詳細設定］ダイアログ」56ページ

保存 / 削除 ボタン　：［詳細設定］ダイアログで設定した内容を保存/削除できます。詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「ユーザー設定の保存方法」62ページ

保存したユーザー設定は、プリセットメニューから選択できます。

Win

⑦ 印刷部数

印刷する部数（1 ～ 999）を設定します。

⑧ 部単位で印刷

チェックマークを付けると、2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［印刷部数］で指定します。

ポイント

- **アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフト側の設定をオフ（部単位印刷しない）にしてから、プリンタドライバで設定してください。**
- **オプションのハードディスクユニットをプリンタに装着している場合またはメモリを 128MB 以上に増設している場合に、ハードディスクまたはメモリにデータを一時保存して部単位印刷を行います。**

⑨ 逆順印刷

クリックしてチェックマークを付けると、最後のページから逆に印刷します。

⑩ バージョン情報 ボタン

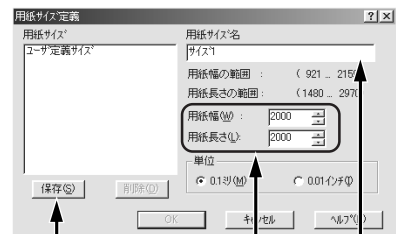
クリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

1 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

2 **登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、保存 ボタンをクリックします。**

- 数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。
- 削除する場合は、リストからサイズ名をクリックして選択し、削除 ボタンをクリックします。

3 **OK ボタンをクリックします。**

これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］メニューから選択できるようになります。

ポイント

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞本書「不定形紙への印刷」38 ページ

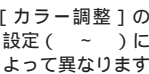
Win

［詳細設定］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［印刷品質］の［詳細］をクリックして、さらに 設定変更 ボタンをクリックすると、印刷条件の詳細な設定ができます。

カラー印刷の場合

モノクロ印刷の場合

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［黒］を選択します。［色］の設定によって、設定できるほかの印刷条件は異なります。

②印刷モード

印刷モードを選択します。

標準（PC）
標準（プリンタ）　：カラー印刷の場合は、EPSON独自のCPGI（Color Photo & Graphics Improvement）機能により3原色の各色を最大256階調で再現することができ、写真やグラフィックスの微妙な色調やグラデーションを再現して印刷することができます。

印刷データをコンピュータまたはプリンタのどちらで主に処理するかを選択します。

- **お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は、[標準（PC）] を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。**
- **お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は、[標準（プリンタ）] を選択してください。コンピュータ側の負荷を軽くすることができます。**

標 準　：モノクロ印刷の場合は、通常［標準］を選択してください。プリンタドライバの標準モードでモノクロ印刷します。

CRT 優先　：印刷データを全てイメージデータとしてプリンタへ送ります。ほかの印刷モードで印刷しても、画面（CRT）通りの印刷結果が得られない場合に選択します。通常、このモードを選択する必要はありません。

- **[CRT優先] を選択した場合、[オートフォトファイン!4]、[割り付け]、[スタンプマーク]、[フォームオーバーレイ]、[指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］は使用できません。**
- **［標準（PC）］を選択した場合、［フォームオーバーレイ］と［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］は使用できません。**

③解像度

印刷の解像度を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］に設定してください。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、解像度を［標準］に設定してください。

Win

④スクリーン(カラー印刷のみ)

スクリーン線数（lpi[*1]）を選択します。

*1 lpi：
ハーフトーンスクリーンを再現するためのセルの密度。
1インチあたりのセルの数を線数として表わします(Lines Per Inch)。

自動　　：スクリーン線数を自動的に設定します。

階調優先　　：スクリーン線数を165lpiに設定し、階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。

解像度優先　　：スクリーン線数を268lpiに設定し、解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

ポイント

- **［基本設定］－［用紙種類］で［OHPシート］を選択している場合は、OHPシート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。**
- **⑦の色補正方法で［色補正なし］を選択している場合、［自動］は表示されません。**

⑤トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷し、モノクロ印刷時は輪郭部分のみを濃く印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

ポイント

カラー印刷の場合、トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑥RIT

クリックしてチェックマークを付けると、RIT[*2]（Resolution Improvement Technology）機能が有効になり、大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。

*2 RIT：
斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。

ポイント

- **RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。**
- **カラー印刷の場合、④の［スクリーン］の関係でRIT機能が有効にならない場合があります。**

⑦ドライバによる色補正

プリンタドライバによるカラー調整を行います。[ドライバによる色補正]を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整できます。

ガンマ　：ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。この設定は、[ドライバによる色補正]を選択した場合にのみ有効です（モノクロ印刷では設定できません）。

[1.5]	従来のEPSONカラーレーザープリンタ（LP-8000C/8200C）と同様の色合いで印刷します。
[1.8]	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値1.5に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。
[2.2]	sRGB対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。⑩の［sRGB］を選択しても同様の結果が得られます。

色補正方法　：色の補正方法を選択できます。（モノクロ印刷では設定できません。）

[自動（自然な色合い優先）]	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
[自動（鮮やかさ優先）]	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
[自然な色合い]	より自然な発色になるようにカラー調整します。
[鮮やかな色合い]	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
[色補正なし]	カラー調整しません。ICM用プロファイル[*1]を作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

*1 プロファイル：色補正データが記録されているファイル。

明度　：画像全体の明るさを調整します。

コントラスト　：画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度　：画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります（モノクロ印刷では設定できません）。

シアン
マゼンタ
イエロー　：各色の強さを調整します（モノクロ印刷では設定できません）。

	-25 ←0→ +25	
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑧オートフォトファイン!4（カラー印刷のみ）

EPSON独自のオートフォトファイン!4機能を使って、画像を高画質化します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像やPhoto CDのデータなどを自動的に補正して印刷します。

色調　：印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［セピア］［鮮やか］［モノクロ］［色調補正なし］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。

効果　：印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［なし］［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。リスト下のスライドバーは、加える効果の強弱（［ハード］、［ソフト］）を調整することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。

デジタルカメラ用補正	：デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

ポイント

- **画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。**
- **オートフォトファイン!4は、1677万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。**
- **EPSON製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン!4は使用しないでください。**

⑨ICM（カラー印刷のみ）

Windows95/98/2000のICM（Image Color Matching）機能を使用して、スキャナから取り込んだ画像とプリンタの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。

⑩sRGB（カラー印刷のみ）

スキャナやディスプレイなどがsRGB*1に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。
ご利用の機器がsRGBに対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。

*1 sRGB：Microsoft社とヒューレットパッカード社が共同で制定したRGBの色の規格。

Win

ユーザー設定の保存方法

ここでは、[詳細設定] ダイアログの設定を保存する方法、また、以前に保存した設定を削除する方法を説明します。

1 **[詳細設定] ダイアログで各項目を設定し、OK ボタンをクリックします。**

2 **保存 / 削除 ボタンをクリックします。**

3 **[設定名] に任意の名称を入力し、保存 ボタンをクリックします。**
設定を削除する場合は、[設定リスト] から削除する設定名をクリックして選択し、削除 ボタンをクリックします。

ポイント
10件登録することができます。

これで[基本設定]ダイアログのプリセットメニューに設定が追加されました。

レイアウトの設定

Win

[レイアウト]ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

<例> Windows98でアプリケーションソフトから開いた場合

①拡大/縮小

拡大または縮小して印刷することができます。クリックしてチェックマークを付けると、拡大縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。

出力用紙	：プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、その用紙サイズをリストから選択します。拡大縮小率はその下の［任意倍率］ボックスに表示されます。
任意倍率	：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、50%～200%までの任意の倍率を1%単位で設定できます。この場合、フィットページ印刷は行われません。
配置	：フィットページ印刷をする場合、ページのどこに印刷するか、［左上合わせ］または［中央合わせ］のどちらかを選択します。

拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。

Win

②割り付け

2ページまたは4ページ分の連続したデータを、1ページに納まるように縮小して印刷する機能を割り付け印刷といいます。

割り付け順設定 ボタンをクリックすると、[割り付け順設定] ダイアログが表示され、割り付け印刷に関する設定が行えます。

面数 : 1枚の用紙に割り付ける面数（ページ数）を選択します。

割り付け順序 : 割り付けた面（ページ）を、どのような順番で配置するか選択します。面数、用紙の向き（縦・横）によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

枠を印刷 : 割り付けた面（ページ）の周りに枠線を印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

製本する : [面数] が [2ページ分] で、[両面印刷] が選択されている場合に選択可能になります。[製本する] をクリックしてチェックマークを付け、製本する場合のページの開き方（[左開き] か [右開き]）を選択します（用紙を二つ折りにしたときに本と同じページの割り付けになるように、割り付けの順序を調整します）。

③スタンプマーク

印刷データに ㊙ などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

印刷するスタンプマークを設定するには、スタンプマーク設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書「スタンプマークを印刷するには」66ページ

④逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。

⑤両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択できます。クリックしてチェックマークを付けると、両面印刷を行います。
両面印刷時の［とじる位置］は、［左］、［上］、［右］いずれかをクリックしてチェックマークを付けます。

両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。

- **両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できるのは、A4およびLetter（LT）サイズの普通紙だけです。それ以外のサイズの用紙、および特殊紙には自動両面印刷できません。**
- **用紙トレイや用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。用紙ガイドが正しい位置に合っていないと、用紙サイズが正しく検知されないため、両面印刷ができない場合があります。**

両面設定 ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、両面印刷に関する設定が行えます。

とじしろ幅　：両面印刷するときのとじしろ幅を、用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

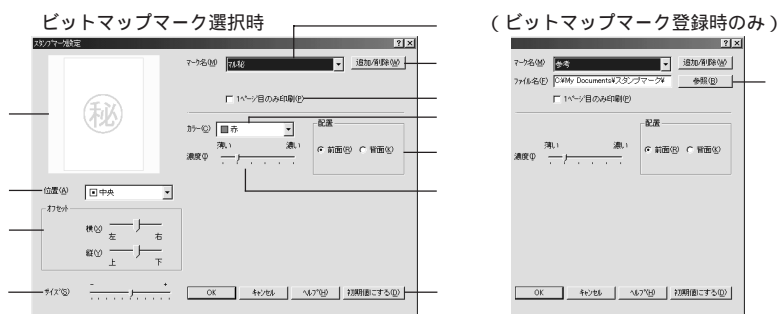
1 ページ目　：両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

初期値にする　：［とじしろ幅］と［1ページ目］の設定を初期状態に戻すときにクリックします。

Win

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで スタンプマーク設定 ボタンをクリックすると、［スタンプマーク］ダイアログが開きます。

ビットマップマーク選択時

（ビットマップマーク登録時のみ）

テキストマーク選択時
（テキストマーク登録時のみ）

①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③ 追加/削除 ボタン

オリジナルのビットマップ(BMP[*1]画像)マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除するには、追加 / 削除 ボタンをクリックして［追加 / 削除］ダイアログを開きます。登録 / 削除の手順については、以下のページを参照してください。

☞本書「オリジナルスタンプマークの登録方法」68 ページ

*1 BMP：画像データを保存する際のファイル形式の1つ。

④1ページ目のみ印刷

クリックしてチェックマークを付けると、用紙の1ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

⑤カラー

スタンプマークの印刷カラーをリストボックスから選択します。ただし、新規に登録したビットマップマークの色指定はできません。

⑥濃度

スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦配置

スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合がありますので、注意してください。

⑧位置

スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑨オフセット

スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

ポイント

［サイズ設定］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を超えないように注意してください。

⑩サイズ

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑪ファイル名（ビットマップマーク登録時のみ）

登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、参照ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑫テキスト（テキストマーク選択時のみ）

登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、追加/削除ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑬フォント設定（テキストマーク選択時のみ）

テキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑭回転（テキストマーク選択時のみ）

テキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーをスライドしてください。

⑮初期値にするボタン

［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期値に戻すときにクリックします。

Win

オリジナルスタンプマークの登録方法

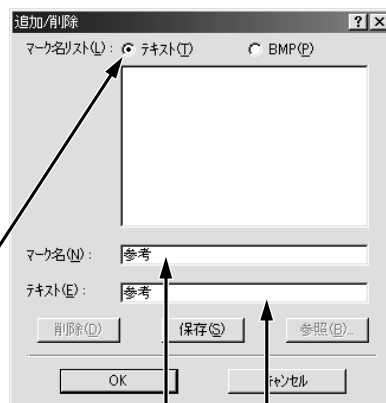
すでに登録してある既存のスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークかビットマップ（画像）マークを登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

ポイント

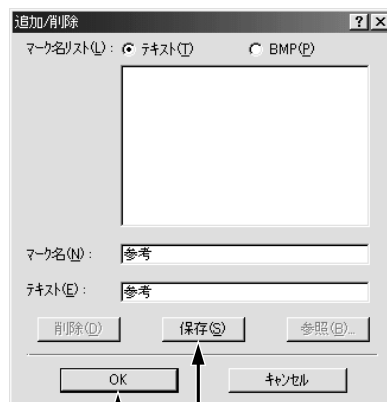
10 件登録することができます。

テキストマークの登録方法

1 **［スタンプマーク］ダイアログを開いて、追加 / 削除 ボタンをクリックします。**

2 **［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［テキスト］に登録したい文字を入力します。**

ポイント

直接［テキスト］に文字を入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。

3 **保存 ボタンをクリックして、OK ボタンをクリックします。**
これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

ポイント

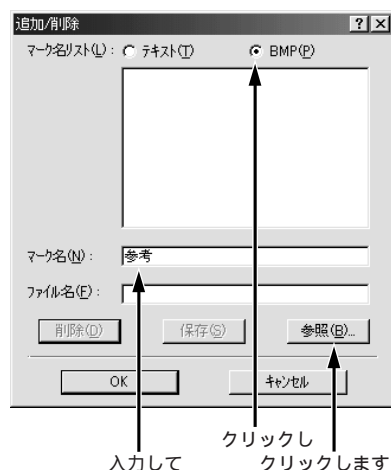
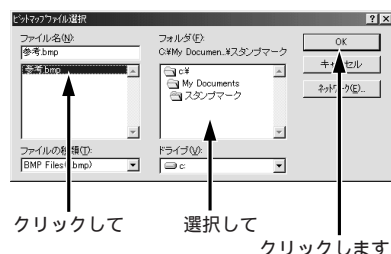
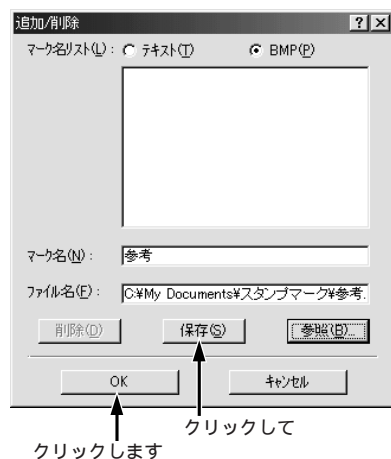
登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで 削除 ボタンをクリックします。
削除 ボタンをクリックした後、［スタンプマーク］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを OK ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

［スタンプマーク］ダイアログで OK ボタンをクリックします。
画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1 **アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP形式で保存します。**

2 **［スタンプマーク］ダイアログを開いて、追加 / 削除 ボタンをクリックします。**

3 **［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、参照ボタンをクリックします。**

4 **1 でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、OKボタンをクリックします。**

5 **保存 ボタンをクリックして、OKボタンをクリックします。**
これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

ポイント

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで削除ボタンをクリックします。
削除ボタンをクリックした後、［スタンプマーク］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログをOKボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

6 **［スタンプマーク］ダイアログでOKボタンをクリックします。**
画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

フォームオーバーレイ印刷

フォームオーバーレイ印刷とは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能です。
この機能を利用することにより、あらかじめ印刷された帳票を用意しなくても、高速に印刷することができます。

Win

本ドライバにはフォームデータは添付されていません。フォームデータの作成、編集などを行うには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティ EPSON Form!（2 以降のバージョン）が必要です。詳細については、EPSON Form!（2以降のバージョン）に添付の取扱説明書を参照してください。

[オーバーレイ]ダイアログ

＜例＞ Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①フォームオーバーレイ

クリックしてチェックマークを付けると、[フォーム] のリストボックスで指定したフォームデータを重ね合わせて印刷します。

②フォーム

EPSON Form!（2以降のバージョン）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示されません。

Win

③ 詳細 ボタン

［フォーム］リストでフォーム名を選択して 詳細 ボタンをクリックすると、［フォーム詳細］ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。

［フォーム］リストで［フォーム名称なし］を選択して 詳細 ボタンをクリックした場合は、［フォーム指定］ダイアログが開きます。EPSON Form!で作成したフォームファイルやオプションのROMモジュールに登録したフォームを指定できます。

コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、［ファイル指定］をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。（参照 ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。）

プリンタに装着したオプションのROMモジュールにフォームを登録している場合は、［ROM モジュール指定］を選択できます。［ROM モジュール指定］をクリックしてから、使用するフォームの登録番号をリストから選択してください。ROMモジュールの情報を登録している場合は、情報印刷 ボタンをクリックして、ROM モジュールに登録しているフォームの情報を印刷して確認することができます。

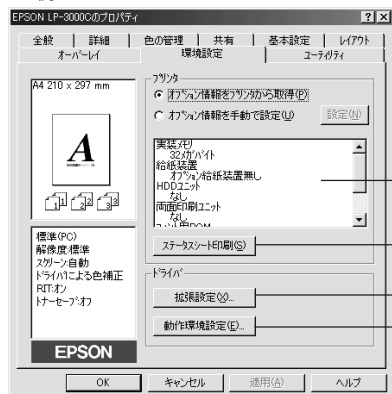
- **フォームオーバーレイ ROM モジュールに登録されているフォームデータを選択するには、フォームオーバーレイ ROM モジュールが使用できるようにプリンタドライバ上で設定する必要があります。**
  ☞セットアップガイド「オプションの設定」46 ページ
- **オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3 以降）をインストールすると、標準の［オーバーレイ］ダイアログの機能が拡張されます。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。**

プリンタの環境設定

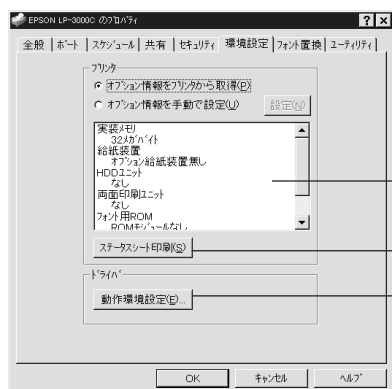
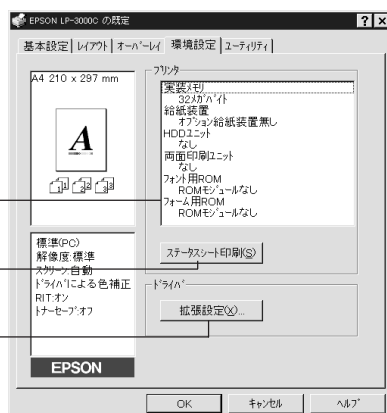
Win

［環境設定］ダイアログ

オプションの設定は、［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して［環境設定］ダイアログを開かないと設定できません。また、WindowsNT4.0/2000の場合は、管理者権限のあるユーザのみが設定を変更でき、［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。
☞本書「プリンタドライバの設定」48 ページ

<例> Windows95/98

［プリンタ］フォルダから開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

<例> WindowsNT4.0/2000

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合（アプリケーションソフトから開いた場合）

Win

①プリンタ

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置、両面印刷ユニット、ハードディスク、フォントROMモジュール、フォームROMモジュール）の有無を表示します。

オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得：EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしていれば、プリンタドライバが自動的にオプションの状態を確認します。

オプション情報を手動で設定：設定 ボタンをクリックして、［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。

- **オプションの設定方法については、以下のページを参照してください。**
  ☞セットアップガイド「オプションの設定」46ページ
- **アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（WindowsNT4.0の場合は［ドキュメントの既定値］選択時/Windows2000の場合は［印刷設定］選択時）、最新のオプション情報は表示されません。また、設定 ボタンも表示されません。**

② ステータスシート印刷 ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③ 拡張設定 ボタン

TrueTypeフォントの置き換え、印刷位置を調整するオフセット値、用紙の種類、カラー/モノクロの自動判別、用紙サイズのチェック、白紙節約機能、高速グラフィック印刷の設定を行うときにクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

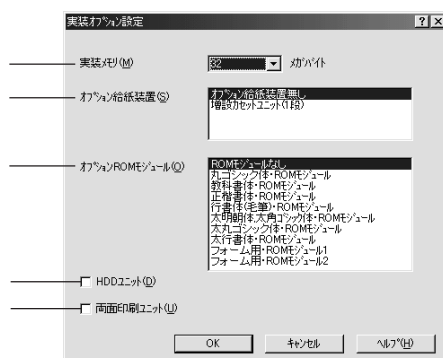
☞本書「［拡張設定］ダイアログ」76ページ

④ 動作環境設定 ボタン

印刷データを一時的に保存するフォルダを指定するときにクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書「［動作環境設定］ダイアログ」79ページ

[実装オプション設定]ダイアログ

[プリンタ] フォルダから [環境設定] ダイアログを開き、[オプション情報を手動で取得] をクリックして 設定 ボタンをクリックすると、[実装オプション設定] ダイアログが開きます。

設定を変更した場合は、OK ボタンを押すことにより有効になります。

①実装メモリ

標準搭載メモリと増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイトです。

②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、[オプション給紙装置無し] をクリックして選択します。

オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。

③オプションROMモジュール

オプション ROM モジュールを装着している場合は、装着した ROM モジュール名をクリックして選択します。2つまで選択できます。選択を解除するには、再クリックします。

オプションROMモジュールを装着していない場合は、[ROMモジュールなし] をクリックして選択します。

④HDDユニット

オプションのハードディスクユニットをプリンタに装着した場合は、クリックしてチェックマークを付けます。

⑤両面印刷ユニット

オプションの両面印刷ユニットをプリンタに装着した場合は、クリックしてチェックマークを付けます。

Win

[拡張設定]ダイアログ

[環境設定］ダイアログで 拡張設定 ボタンをクリックすると、[拡張設定］ダイアログが開きます。

①TrueTypeフォント

TrueTypeフォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

TrueType フォントでそのまま印刷	：TrueType フォントをそのまま印刷します。
指定したフォントだけプリンタフォントで印刷	：TrueTypeフォントを、[フォントの置換設定］ダイアログで指定したプリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。[フォントの置換設定]ダイアログを開くには、フォント設定 ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。 ☞本書「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える」78 ページ

ポイント

- **Windows95/98の場合、[プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いてください。アプリケーションソフトから開いても、フォントの置き換えは指定できません。**
- **WindowsNT4.0/2000の場合、[プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択してプリンタドライバのプロパティを開き、[フォント置換］タブで置き換えるフォントを指定してください。[拡張設定］ダイアログの フォント設定 ボタンをクリックしても、置き換えフォントのリストを表示するだけで、実際に置き換えるフォントは指定できません。**

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）　：-9.0mm（上方向）～10.0mm（下方向）

左（水平位置）　：-9.0mm（左方向）～10.0mm（右方向）

③カラー/モノクロの自動判別を行う

クリックしてチェックマークを付けると､印刷データをカラーまたはモノクロのどちらかに自動的に判別して印刷します。

ポイント

［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［CRT 優先］が選択されている場合は、カラー / モノクロの自動判別は行いません。

④用紙サイズのチェックをしない

クリックしてチェックマークを付けると､選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても､用紙サイズエラーにはなりません。

⑤白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します｡クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑥高速グラフィック

クリックしてチェックマークを付けると､グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷します｡この機能を使用してグラフィックが正常に印刷されなかった場合は使用しないでください。

⑦ 初期値にする ボタン

［拡張設定］ダイアログの設定を初期値に戻すときにクリックします。

Win

TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える

Windows95/98とWindowsNT4.0/2000では、フォント置き換えを設定するダイアログが違います。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってください。

ポイント

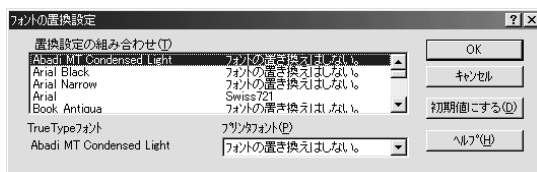
［詳細設定］-［印刷モード］で［標準（PC)］または［CRT優先］を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開きます。

フォントを置き換えるためのダイアログを開きます。

Windows95/98の場合

①［環境設定］タブをクリックして開き、拡張設定 ボタンをクリックします。

②［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］をクリックし、フォント設定 ボタンをクリックします。

WindowsNT4.0/2000の場合

［フォント置換］タブをクリックします。

3 ［置換設定の組み合わせ］リストの中から、TrueTypeフォントをクリックして選択します。

4 ［プリンタフォント］リストから、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。

5 3 と 4 を繰り返して置き換えるフォントを全て設定したら、OK ボタンをクリックして作業を終了します。

［動作環境設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］ダイアログを開くと、動作環境設定 ボタンがあります。このボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。

① フォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定の必要はありません。

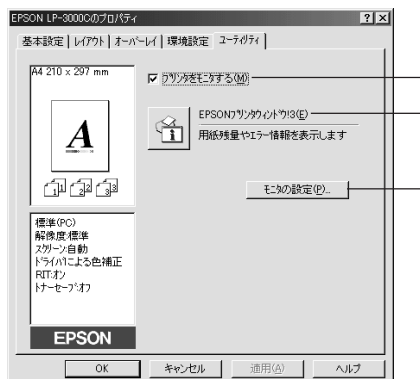
ポイント

- **Windows95/98でハードディスクドライブが1台のみの場合は、表示されません。**
- **印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。**

ユーティリティの起動

Win

[ユーティリティ]ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSONプリンタウィンドウ!3に関わる設定を行います。

①プリンタをモニタする

クリックしてチェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。

②EPSONプリンタウィンドウ!3

中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ!3が起動します。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」81 ページ

③ モニタの設定 ボタン

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［モニタ設定］ダイアログを開いて、EPSONプリンタウィンドウ!3の動作環境を設定をする場合にクリックします。

☞本書「モニタの設定」85 ページ

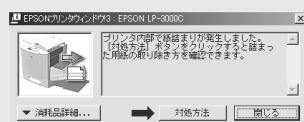
EPSONプリンタウィンドウ!3

EPSONプリンタウィンドウ!3とは

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。

プリンタの状態を表示します

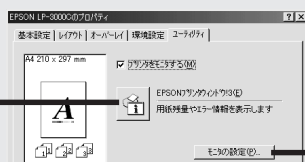
ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。消耗品詳細ボタンをクリックすると、用紙やインクの残量や感光体ライフを確認できます。

[プリンタ詳細] ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。

EPSONプリンタウィンドウ!3の画面を開きます

[ユーティリティ] ダイアログ

プリンタのプロパティから EPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。

プリンタのプロパティからモニタの設定画面を開くことができます。

タスクバー

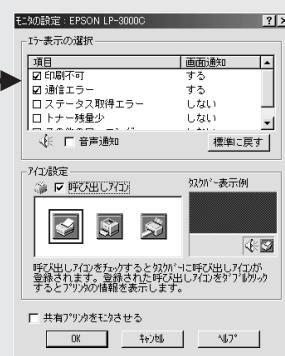
タスクバーの呼び出しアイコンから EPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。

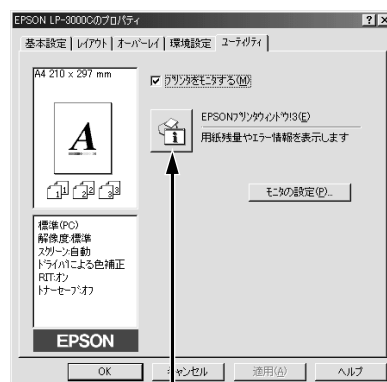
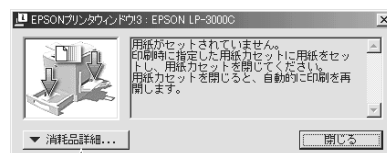
タスクバーの呼び出しアイコンからモニタの設定画面を開くことができます。

動作環境を設定します

[モニタの設定] ダイアログ

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSONプリンタウィンドウ!3の動作環境を設定することができます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確認するために、3 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。
☞本書「[プリンタ詳細］ウィンドウ」83 ページ

［方法 1］
プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ!3］アイコンをクリックします。

［方法 2］
アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、消耗品詳細ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。

［方法 3］
Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてから［EPSON LP-3000C］をクリックします。

ポイント

初期値では、呼び出しアイコンは設定されていませんので、以下のページを参照して呼び出しアイコンを設定してください。
☞本書「モニタの設定」85 ページ

[プリンタ詳細]ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞本書「対処が必要な場合は」84 ページ

③ 閉じる ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（給紙タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤トナー残量

ETカートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

⑥感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

⑦オイルロール

定着オイルロールがあとどれくらい残っているかの目安を表示します。

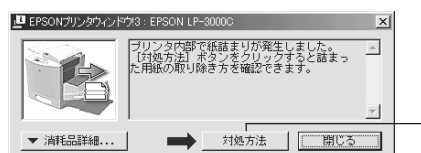
対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

① 消耗品詳細 ボタン
クリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」83 ページ

② 閉じる ボタン
クリックすると、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

③ 対処方法 ボタン
クリックすると順を追って対処方法を説明します。

共有プリンタを監視できない場合は

Windows共有プリンタを監視できない場合は、以下の設定がされているかを確認してください。

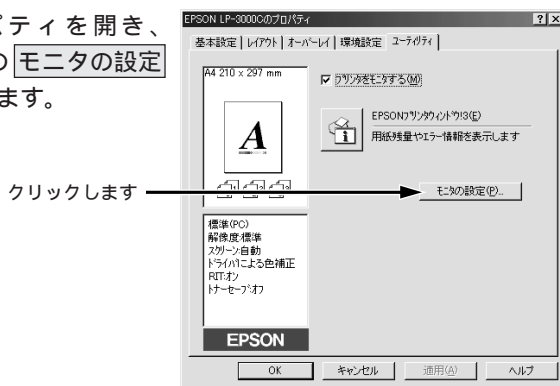
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワーク設定内にMicrosoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログ内の［モニタの設定］で［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークが付いていること。
- プリントサーバ側とクライアント側で、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成にIPX/SPX互換プロトコルが設定されていないこと（Windows95/98 のみ）。

モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタさせるかなどを設定します。

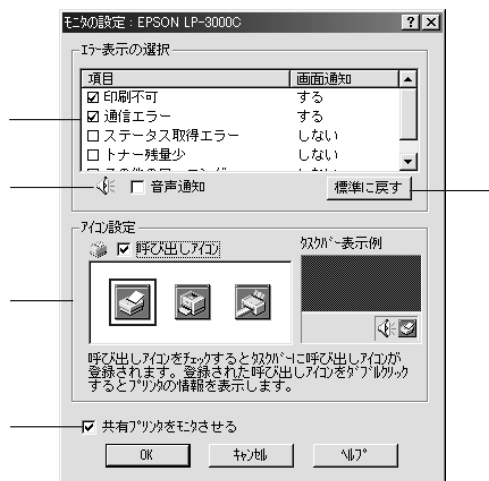
［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2通りあります。

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の モニタの設定 ボタンをクリックします。

クリックします

［方法 2］

上記［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

[モニタの設定]ダイアログ

①エラー表示の選択

どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。クリックしてチェックマークを付けたエラーが発生した場合、ポップアップウィンドウが表示されます。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す ボタン

[エラー表示の選択]を標準(初期)設定に戻すときにクリックします。

④アイコン設定

[呼び出しアイコン]をクリックしてチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて[モニタの設定]ダイアログを開くことができます。

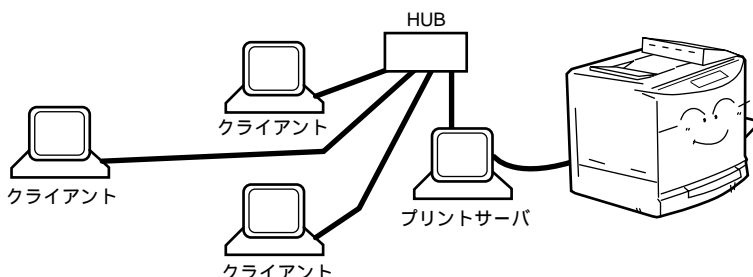
⑤共有プリンタをモニタさせる

クリックしてチェックマークを付けると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

☞本書「プリンタを共有するには」87 ページ

プリンタを共有するには

Windowsの標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows95/98/NT4.0/2000のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。

プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバと共有プリンタを利用するクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

☞ 本書「プリントサーバの設定」88 ページ
本書「クライアントの設定」92 ページ

- **以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。**
- **画面は Microsoft ネットワークの場合です。**
- **共有プリンタに印刷を実行していて通信エラーが発生する場合、以下の方法で回避することができます。通信エラーが発生しても印刷に問題はありません。**

サーバでの設定	• **EPSON プリンタウィンドウ!3の［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークを付けます。** ☞ **本書「［モニタの設定］ダイアログ」85 ページ** • **Windows95/98の場合は、ネットワークコンポーネントから IPX/SPX プロトコルを削除します。**
クライアントでの設定	• **Windows95/98の場合は、ネットワークコンポーネントから IPX/SPX プロトコルを削除します。**

Win

プリントサーバの設定

Windows95/98

Windows95/98でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **スタート ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

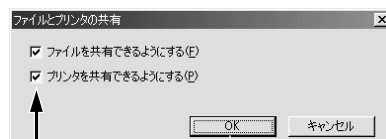
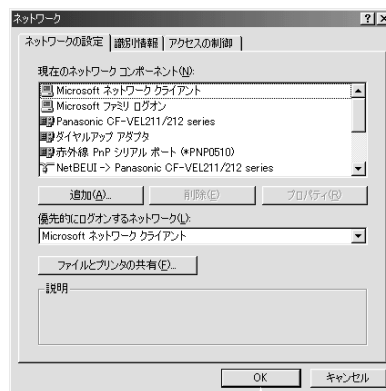
2 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

ダブルクリックします

3 **ファイルとプリンタの共有 ボタンをクリックします。**

クリックします

4 **［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、OK ボタンをクリックします。**

①クリックして　②クリックします

OK ボタンをクリックします。

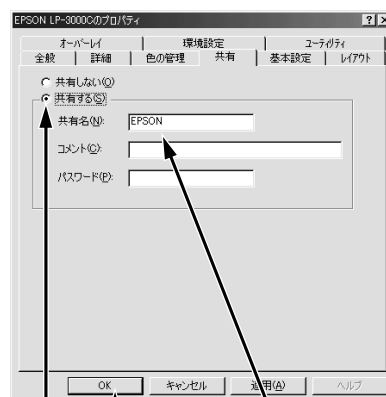
ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows95/98のCD-ROMをコンピュータにセットし、OK ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 でコントロールパネルを開いて、6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 ［EPSON LP-3000C］アイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、 OK ボタンをクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定は完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

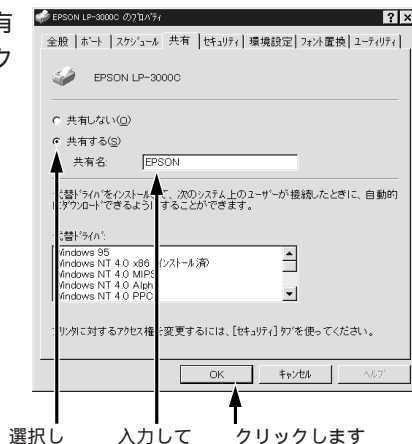
☞ 本書「クライアントの設定」92 ページ

WindowsNT4.0/2000

WindowsNT4.0/2000のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

スタート ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。

2 **[EPSON LP-3000C] アイコンを選択して、[ファイル] メニューの [共有] をクリックします。**

3 **[共有する] を選択して、[共有名] を入力し、OK ボタンをクリックします。**

ポイント

- **エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。**
- **[代替ドライバ] / [ほかのバージョンのWindowsドライバ] は選択しないでください。**

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定は完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

☞ 本書「クライアントの設定」92ページ

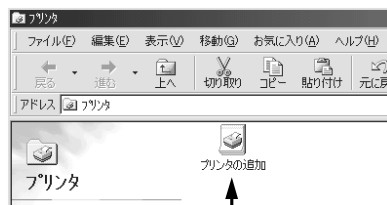
クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で共有プリンタ（ネットワークプリンタ）に接続するためのセットアップ方法を説明します。

ポイント

- **プリンタドライバは、プリンタ本体に同梱されているEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをお使いください。**
- **WindowsNT4.0/2000の場合、ローカルマシンの管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログオンし、セットアップを行ってください。**
- **クライアントのOSがWindows2000でサーバのOSがWindowsNT4.0の場合、必ずセットアップガイドの手順に従ってプリンタドライバをインストールしてから、ネットワークプリンタに接続してください。**
  ☞セットアップガイド「Windowsプリンタソフトウェアのセットアップ」41ページ

1. **スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2. **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。**
   画面はWindows98のものを使用しています。

- Windows95/98をお使いの場合は、93ページの 3 へ進みます。
- WindowsNT4.0をお使いの場合は、94ページの 3 へ進みます。
- Windows2000をお使いの場合は、95ページの 3 へ進みます。

Windows95/98

次へ ボタンをクリックします。

クリックします

「ネットワークプリンタ」を選択してから、次へ ボタンをクリックします。

①クリックして　②クリックします

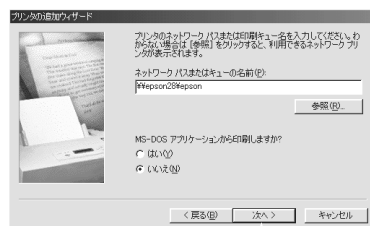
5 接続するネットワークプリンタを選択します。

ポイント

- 入力欄に以下の書式を半角文字で直接入力しても次の手順に進むことができます。
  \\目的のプリンタが接続されているコンピュータ名\共有プリンタ名
- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

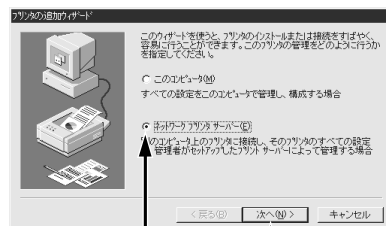
①クリックし

②プリンタを接続しているコンピュータ（サーバ）の＋をクリックしてから

③プリンタをクリックして　④クリックします

⑤クリックします

この後は 96 ページの 6 に進みます。

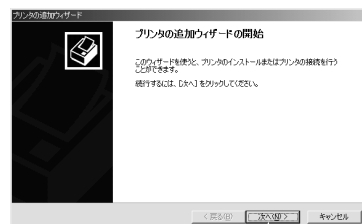
WindowsNT4.0

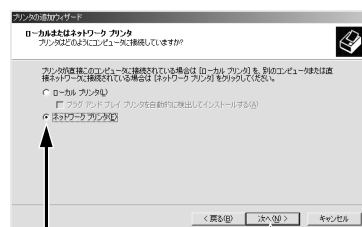
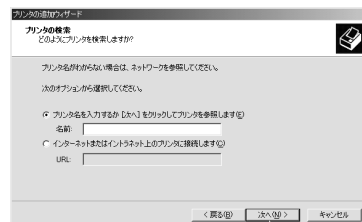
［ネットワークプリンタサーバー］をクリックし、次へ ボタンをクリックします。

4 接続するネットワークプリンタを選択します。

ポイント

- 入力欄に以下の書式を半角文字で直接入力しても次の手順に進むことができます。
  \\目的のプリンタが接続されているコンピュータ名\共有プリンタ名
- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

この後は 96 ページの 6 に進みます。

Windows2000

 次へ ボタンをクリックします。

4 「ネットワークプリンタ」を選択してから、次へ ボタンをクリックします。

5 接続するネットワークプリンタを選択します。

- 入力欄に以下の書式を半角文字で直接入力しても次の手順に進むことができます。
  \\目的のプリンタが接続されているコンピュータ名\共有プリンタ名
- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

この後は 96 ページの 6 に進みます。

Win

6 OKボタンをクリックします。

クリックします

ポイント

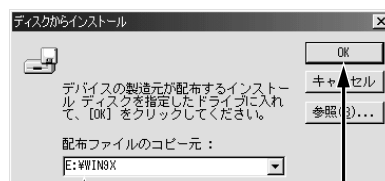
プリンタを直接接続しているコンピュータにプリンタドライバがインストールされていて、そのコンピュータとお使いのコンピュータのOSが同じ場合、プリンタドライバは自動的にインストールされ、上の画面は表示されません。また、以降の手順も必要ありません。

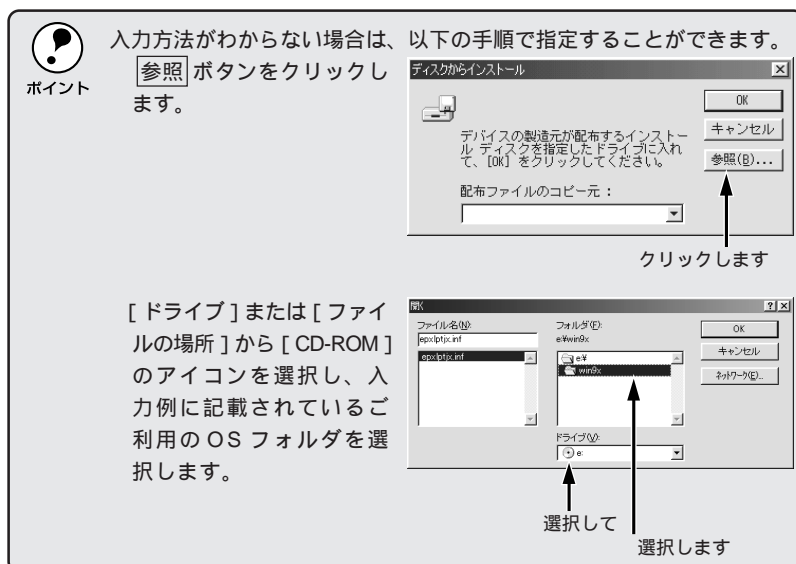
7 ディスク使用ボタンをクリックします。

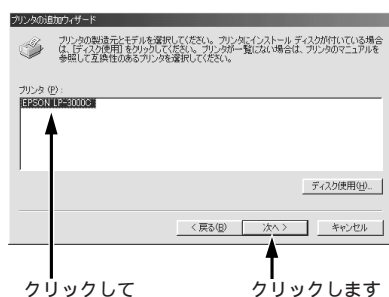
同梱のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMからプリンタドライバをインストールします。

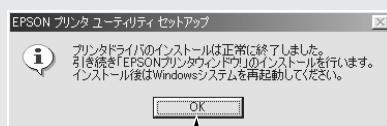
クリックします

8 EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。

9 プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、OKボタンをクリックします。

①半角で入力して　②クリックします

	Windows95/98	WindowsNT4.0	Windows2000
セット先ドライブ例	Dドライブ Eドライブ		
入力例	D:\WIN9X E:\WIN9X ：	D:\WINNT40 E:\WINNT40 ：	D:\WIN2000 E:\WIN2000 ：

10 ［EPSON LP-3000C］をクリックして、次へ ボタンをクリックします。

Win

11 **この後は、画面の指示に従って設定してください。**

- **Windows95/98をご利用の場合は、以下の画面が表示されます。OKボタンをクリックすると、EPSON プリンタウィンドウ!3 のインストールが始まります。**

- **WindowsNT4.0/2000をご利用で、EPSON プリンタウィンドウ!3をインストールされる方は、以下の手順に従ってください。**
  ① **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**
  ② **下の画面が表示されたら「EPSONプリンタウィンドウ!3のインストール」を選択して次へボタンをクリックします。**

プリンタ接続先の設定（Windows95/98）

*1 ポート：プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

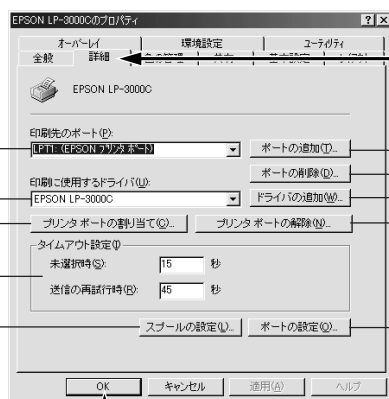
プリンタを接続しているコンピュータ側のポート*1の設定を必要に応じて変更します。プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。コンピュータにローカル接続している場合は、特に設定の必要はありません。

Win

ポイント **プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。**

1 **スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2 **［EPSON LP-3000C］アイコンをクリックして選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

3 **［詳細］タブをクリックし、設定を変更して、 OK ボタンをクリックします。**

これで接続先の設定は終了です。

各項目の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

Win

①印刷先のポート

プリンタを接続したポート(インターフェイス)を選択します。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのプリンタポートに接続した場合は、LPT1のままでお使いください。

PRN　：EPSON PCシリーズ/NEC PC-9800シリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。このPRNが表示されない場合は、LPT1を選択します。

LPT　：プリンタポートです。DOS/Vシリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1を選択します。

COM　：オプションのシリアルインターフェイスカードを使用して、シリアル接続する場合に選択します。

FILE　：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

② ポートの追加 ボタン

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

ポイント
ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上のプリンタに接続することができます。参照ボタンをクリックしてネットワーク構成図からプリンタを選択してください。

③ ポートの削除 ボタン

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

④印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種のプリンタドライバが選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

⑤ ドライバの追加 ボタン

プリンタドライバを追加するときにクリックします。

⑥ プリンタポートの割り当て ボタン

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

⑦ プリンタポートの解除 ボタン

ネットワークドライブに割り当てたポートを削除するときにクリックします。

⑧タイムアウト設定

タイムアウトの［未選択時］、［送信の再試行時］の時間を設定します。通常は、変更する必要はありません。

未選択時：
プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

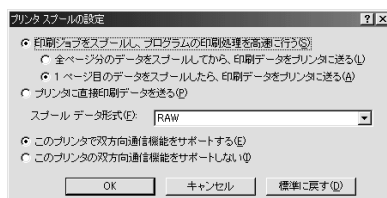
送信の再試行時：
プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。

ポイント

- **ポートによっては、タイムアウト時間が変更できない場合があります。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合などに、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［送信の再試行時］を長く設定してください。**

⑨ スプールの設定 ボタン

印刷データのスプール[*1]方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。

*1 スプール：データを一時的にディスクに保存し、そこからプリンタへデータを送るデータ転送の方法。これにより印刷中もコンピュータは別の作業をすることができる。

印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：
印刷データのスプール方法には、２つの方法がありますが、どちらを選択しても印刷速度は変わりません。

プリンタに直接印刷データを送る：
印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。

スプールデータ形式：
印刷データをスプールする場合のデータ形式を選択します。

RAW	プリンタに固有のスプールデータ形式に変換するため、印刷処理に時間がかかります。
EMF	プリンタに依存しないスプールデータ形式のため、印刷処理から解放される時間が短くすみます。印刷エラーが発生する場合は、［RAW］を選択してください。

このプリンタで双方向通信機能をサポートする：（ローカル接続時）
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように設定します。本機を使用する場合は必ずこの設定にしてください。

このプリンタで双方向通信機能をサポートしない：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように設定します。本機を使用する場合は設定しないでください。

⑩ ポートの設定 ボタン

通常は変更する必要はありません。

MS-DOS の印刷ジョブをスプール：
MS-DOS アプリケーションの印刷データを Windows でスプールします。

印刷前にポートの状態をチェック：
印刷先のポートが印刷可能な状態なのかどうかを、印刷を行う前にチェックします。

プリンタソフトウェアの削除

Win

ドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。ここでは、Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ、EPSONプリンタウィンドウ!3）を削除します。

ポイント

EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

1 **起動しているアプリケーションソフトを全て終了します。**

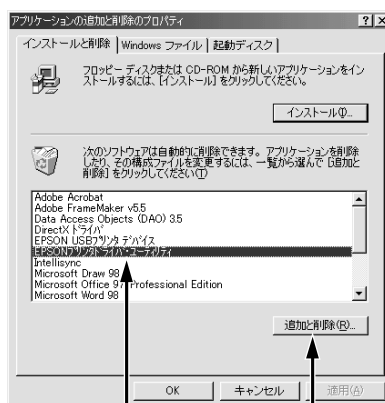
2 **スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。**

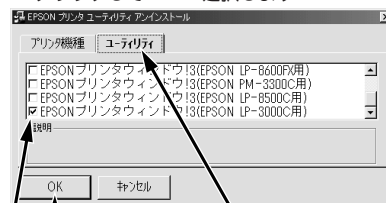
3 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

ダブルクリックします

4 **［EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックしてから、追加と削除 ボタンをクリックします。**

①クリックして　②クリックします

Win

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、［EPSON LP-3000C］アイコンを選択します。

6 ［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSONプリンタウィンドウ!3（EPSON LP-3000C用）にチェックマークが付いていることを確認して OK ボタンをクリックします。

7 EPSONプリンタウィンドウ!3の削除確認のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ!3（EPSON LP-3000C 用）の削除が始まります。

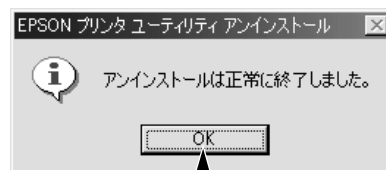
8 削除確認のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。

プリンタドライバの削除が始まります。

ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。

終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。

これでプリンタソフトウェアの削除は終了です。

ポイント

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

EPSONバーコードフォント

バーコードフォントについて

EPSONバーコードフォントは、各種のバーコードを簡単に作成、印刷するためのものです。
通常の場合、バーコードを作成するにはデータキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかにさまざまなコードやキャラクタを指定したり、OCR-B[*1]（バーコード下部の文字）を指定する必要がありますが、EPSONバーコードフォントの場合はこれらのコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを作成、印刷します。このためEPSONバーコードフォントでは、データキャラクタとして必要な文字のみを入力することでバーコードシンボルの作成を簡単に行うことができます。
EPSONバーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。

*1 OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発されJISX9001に規定されたフォントの名称。

*2 チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	ﾁｪｯｸﾞ[*2]ﾃﾞｼﾞｯﾄ	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-Aのバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-Eのバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7 (CODABAR)	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷する際は、プリンタドライバ上で次のように設定してください。

色	黒
印刷モード	標準
解像度	高品質（600dpi）
トナーセーブ機能	OFF
拡大 / 縮小印刷	OFF

文字の装飾/配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーラインなど）、網掛けは行わないでください。
- 色刷色、背景色について、黒と白のみ指定してください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更を行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみの拡大 / 縮小機能の禁止
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能禁止（例＜＝＞ ⇨⬄ ）

入力時の注意について

- バーコードに変換する文字は、半角文字で入力してください。
- Code39、Code128 において、1 つの行に 2 つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間は TAB で区切ってください。スペース（空白）で区切る場合はバーコードフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。
  バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトで改行を示すマークの表示／非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。
  バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

- Code39、Code128、Interleaved 2of5、NW-7 は、バーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるようにサイズを自動調整します。
  このため印刷されるバーコードの高さが入力時よりも下方向に大きくなる場合があるため、バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- Code128において、アプリケーションソフトが行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数のスペースをタブに置き換えるなどの処理を自動的に行うと、スペースを含むCode128のバーコードは正しく出力されないことがあります。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  ☞本書「各バーコードについて」111 ページ

印刷されたバーコードは、トナーの濃度や紙質によって全ての読み取り機では読み取れない場合があります。ご利用の際は、読み取り機でのご確認をお勧めします。

システム条件

EPSONバーコードフォントをご利用いただくには、プリンタドライバをご利用いただくためのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。
☞セットアップガイド「システム条件の確認」42 ページ

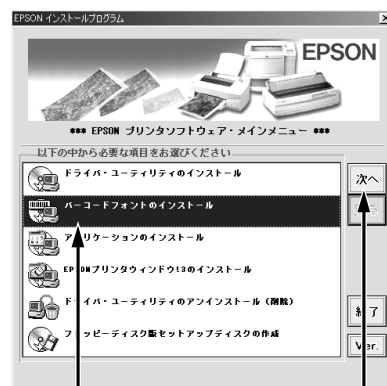
ハードディスク	15 ～ 30KB の空き容量 （書体ごとに異なります）
プリンタの動作モード	ESC/Page モード

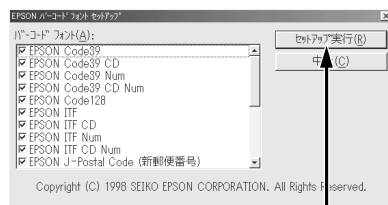
バーコードフォントは、プリンタドライバでモノクロ印刷に設定して印刷してください。カラー印刷に設定している場合、バーコードを黒で印刷しても正しく読み取られない場合があります。

EPSONバーコードフォントのインストール

コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

EPSONプリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。

バーコードフォントのインストールを選択して次へボタンをクリックします。

ポイント
上記の画面が自動的に表示されない場合は、[マイコンピュータ] をダブルクリックして、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

インストールするバーコードフォントをクリックしてチェックし、セットアップ実行 ボタンをクリックします。

これで、EPSON バーコードフォントが、Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここではWindowsに添付の「ワードパッド」を例に、EPSONバーコードフォントを使用して、バーコードの印刷の手順を説明します。

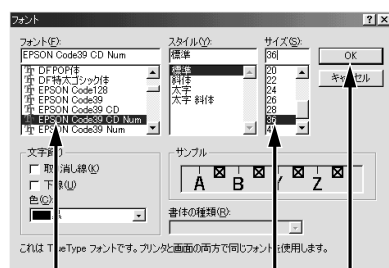
1 **「ワードパッド」を起動し、バーコード変換する文字を入力します。**

ポイント **文字は全て半角（1Byte）で入力してください。**

2 **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**
選択した範囲が反転表示になります。

3 **「書式」メニューをクリックし、「フォント」をクリックします。**

Win

4 **［フォント］の一覧から印刷したいEPSONバーコードフォントを選択し、［サイズ］でフォントのサイズを設定し、OKボタンをクリックします。**

WindowsNT4.0/2000では96pt以上のフォントは使用できません。

ポイント

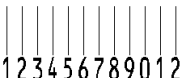
5 **入力した文字がバーコードフォントに置き換わり、画面上で次のように表示されます。**

6 **印刷を実行します。**

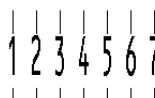
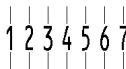
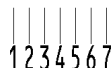
入力したデータがバーコードとして印刷されます。

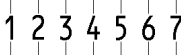
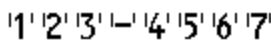
ポイント

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードについて

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細／構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 • EPSONバーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	52 ～ 130pt（WindowsNT/2000 は 96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • センターバー　• チェックキャラクタ • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
• JAN-8 Short は JAN-8 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-8 と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	36 ～ 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • センターバー　• チェックキャラクタ • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。
• EPSONバーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（WindowsNT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• センターバー　• チェックキャラクタ
• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 Short は JAN-13 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-13 と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">36 ～ 90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• センターバー　• チェックキャラクタ
• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）
• Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">11 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（WindowsNT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• センターバー　• チェックデジット
• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">6 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（WindowsNT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット　• OCR-B
• ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Code39ではスペースを“ __ ”(アンダーライン) に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“ __ ”（アンダーライン）を入力してください。
• Code39 で 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">英数字（A ～ Z、0 ～ 9）
記号（－　.　スペース　$　／　＋　%）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B なしの場合 ： 26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
(WindowsNT/2000 は 96pt まで)
OCR-B ありの場合 ： 26pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt(WindowsNT/2000 は 96pt まで)</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code128は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
• EPSONバーコードフォントはコードセットA、B、Cをサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode128の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
• Code128で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">すべてのASCII文字（95文字）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">26～104pt(WindowsNT/2000は96ptまで)
保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット　• コードセットの変更キャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-Bの有無により異なります。（WindowsNT/2000は96ptまで）
OCR-Bなし：26pt以上　保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-Bあり：36pt以上　保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　　• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット　　• 文字列先頭への 0 の挿入
（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7(CODABAR)</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、記号（－　$　:　/　.　+）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-Bの有無により異なります。(WindowsNT/2000は96ptまで)
OCR-Bなし:26pt以上　保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt
CR-Bあり:36pt以上　保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン
• スタート/ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON W-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）－新郵便番号（4 桁）－住所表示番号（ﾊﾞｰｺｰﾄﾞに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）、記号（－）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後 13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">8 ～ 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時の－（ハイフォン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 － 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

第3章

Macintoshからの印刷

Mac

LP-300C
Printing on Macintosh

ここでは、Macintoshからの印刷方法とユーティリティについて説明します。

印刷までの流れ

Mac

セレクタでプリンタドライバを選択します

1

☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」53ページ

用紙を設定して印刷データを作成します

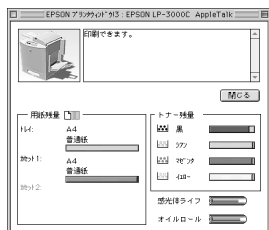
2

アプリケーションソフトを起動してから用紙サイズを設定します。その後、印刷データを作成します。

☞本書「用紙設定の手順」121 ページ
「用紙の設定」124 ページ

※ 操作パネルで設定できる項目と重複するもの（トレイ紙サイズを除く）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

プリンタの状態を確認します

3

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、プリンタが印刷可能な状態であるか確認します。EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウを開くと、給紙装置にセットした用紙の残量やトナー残量などもチェックできます。

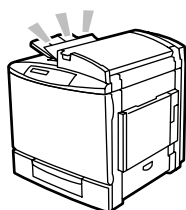
☞本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」147 ページ

プリンタドライバで印刷条件を設定します

4

☞本書「印刷設定の手順」122 ページ
「印刷の設定」129 ページ

※ 操作パネルで設定できる項目と重複するもの（トレイ紙サイズを除く）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

印刷を実行します

5

☞本書「印刷の中止方法」123 ページ

印刷の手順

ここでは、Macintoshアプリケーションソフトでの、基本的な印刷手順について説明します。

用紙設定の手順

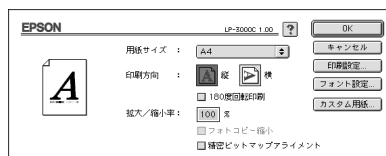
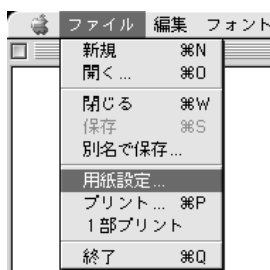
Mac

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

ポイント

- **用紙設定をする前にセレクタでLP-3000C用のプリンタドライバを選択してください。**
  ☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」53 ページ
- **アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。**

［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

2 **［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。**

3 **必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞本書「［用紙設定］ダイアログ」124 ページ
本書「フォント設定の手順」126 ページ
本書「用紙サイズ（カスタム用紙）の設定 / 変更」128 ページ

OK ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

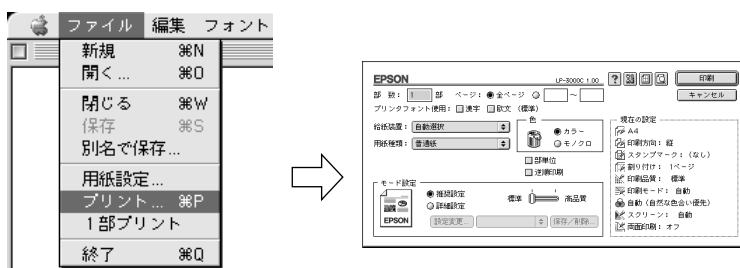
印刷設定の手順

Mac

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

ポイント

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**

2 **印刷に必要な項目を設定します。OHPシート、厚紙、ラベル紙に印刷する場合は、［用紙種類］から印刷する用紙を選択します。**

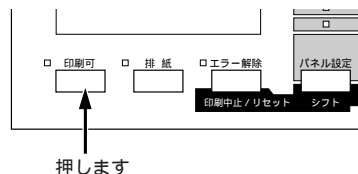
通常は、［プリント］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞本書「［プリント］ダイアログ」129 ページ

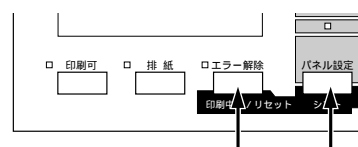
3 **印刷 ボタンをクリックして、印刷を実行します。**

印刷の中止方法

プリンタの 印刷可 スイッチを押します。

印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

Macintoshが印刷処理を続行しているときは、コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（ . ）キーを押して、印刷を中止します。

シフト スイッチと エラー解除 スイッチを同時に押します（リセット）。

受信データが消去されます。

シフト（パネル設定）スイッチを押したまま エラー解除 スイッチを押します。

シフト スイッチと エラー解除 スイッチを5秒以上押し続けると、電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。

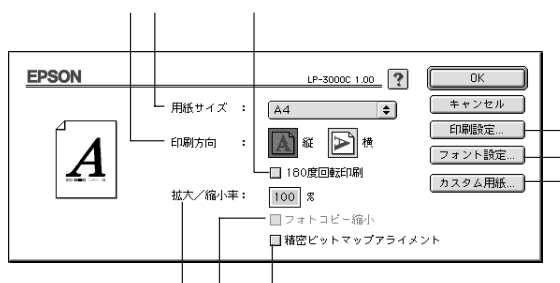
☞本書「リセットオール」194ページ

Mac

用紙の設定

Mac

[用紙設定]ダイアログ

[用紙設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニューから選択します。

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、[縦]・[横] のいずれかクリックして選択します。

③180度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。

④拡大／縮小率

印刷データを拡大／縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。

⑤フォトコピー縮小

[拡大／縮小率] が100%未満の場合に有効になります。クリックしてチェックマークを付けると、指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、[精密ビットマップアライメント] は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

クリックしてチェックマークを付けると、印刷領域を約4%縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、[フォトコピー縮小] を選択している場合は、選択できません。

⑦ 印刷設定 ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

☞本書「［プリント］ダイアログ」129 ページ

⑧ フォント設定 ボタン

Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントに置き換えるための設定を行います。設定方法については、以下のページを参照してください。

☞本書「フォント設定の手順」126 ページ

［180 度回転印刷］や印刷モードが［CRT 優先］/［標準（Mac）］に設定されている場合、フォントの置き換えはできません。

⑨ カスタム用紙 ボタン

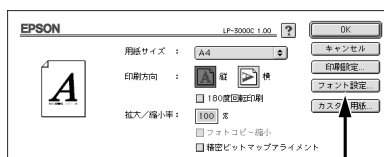
クリックすると［カスタム用紙］ダイアログが表示され、用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

☞本書「用紙サイズ（カスタム用紙）の設定 / 変更」128 ページ

Mac

フォント設定の手順

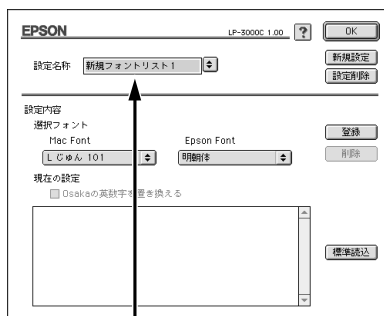
Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントを、プリンタに内蔵されているフォントに置き換えて印刷するための設定を行います。ここで設定した内容は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。プリンタフォントを使用すると、印刷速度が速くなります。

1 **［用紙設定］ダイアログで フォント設定 ボタンをクリックします。**

クリックします

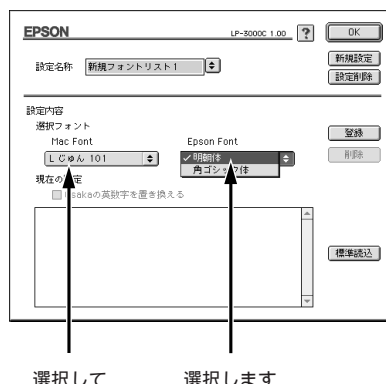
2 **新規設定 ボタンをクリックします。**

- すでに登録されているファイルを変更する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し へ進みます。
- すでに登録されているファイルを削除するには、設定名称のポップアップメニューから選択し、設定削除 ボタンをクリックします。

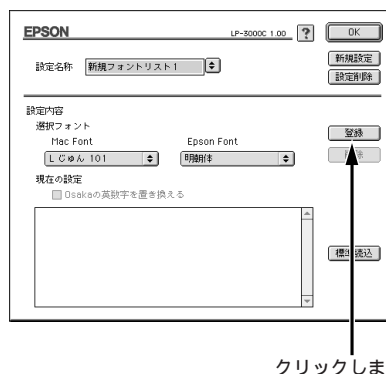
クリックします

3 **［設定名称］ボックスに、登録名を入力します。**

入力します

［Mac Font］ポップアップメニューから置き換え対象となるフォントを選択し、［Epson Font］ポップアップメニューから置き換えるプリンタフォントを選択します。

標準読込 ボタンをクリックすると、標準で用意している置き換えフォントの設定を読み込むことができます。

［標準］以外の置き換えフォント登録では、Osaka フォントに限り漢字フォントと英数字フォントを別々に置き換え設定できます。
①［Mac Font］ポップアップメニューからOsakaフォントを選択します。
②Osaka の英数フォントを置き換えるには、［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを付けます。Osaka の漢字フォントを置き換えるには、［Osakaの英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを外します。
③［Epson Font］ポップアップメニューから置き換える英数フォントを選択します。

登録 ボタンをクリックします。

- ［現在の設定］に、登録されます。
- ［現在の設定］に登録された置き換えの設定を削除する場合は、［現在の設定］の一覧から選択し、削除 ボタンをクリックします。

6 ほかに置き換えたいフォントがある場合は、上記 4 と 5 をくりかえします。

OK ボタンをクリックします。

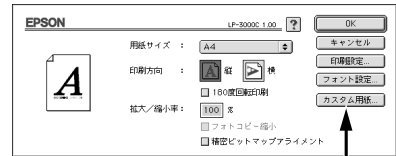
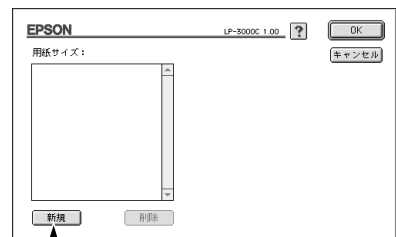
以上で、置き換えフォントの登録が保存されました。

- 保存した置換方法を使用する場合は、［設定名称］のポップアップメニューから設定した名称を選択してください。
- 登録したフォント置換の設定は、［プリント］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。

Mac

用紙サイズ(カスタム用紙)の設定/変更

不定形の用紙サイズを設定/登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

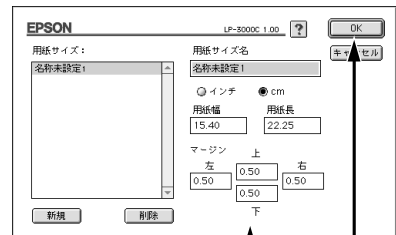
[用紙設定] ダイアログを開き、カスタム用紙 ボタンをクリックします。

新規 ボタンをクリックします。

- 登録できる用紙サイズは、64までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ]一覧から変更したい用紙サイズを選択します。
- 用紙サイズ名をクリックしてから 削除 ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。

用紙サイズ名、単位(インチまたはcm)、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、OK ボタンをクリックします。

設定できるサイズの範囲は次の通りです。

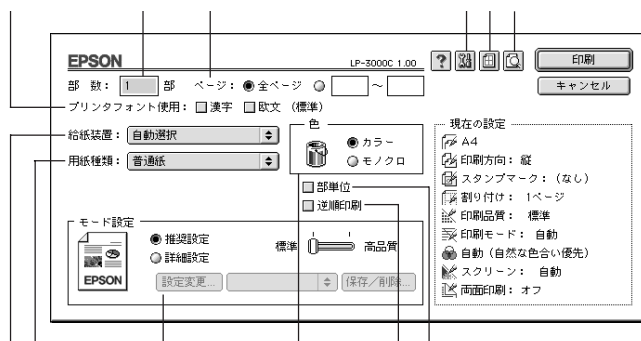
用紙幅: 9.20 〜 21.60cm
(3.62 〜 8.50 インチ)

用紙長: 14.80 〜 29.70cm
(5.83〜11.69インチ)

- [用紙長] の最大値は、[プリント](または [詳細設定])ダイアログの [モード設定](または [印刷品質])の設定によって異なります。
- 登録したカスタム用紙サイズは、[用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] のポップアップメニューから選択します。
- 不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞本書「不定形紙への印刷」38ページ

印刷の設定

Mac

[プリント]ダイアログ

印刷する際、[プリント] ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

①部数

1〜999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑦の［部単位］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

全てのページを印刷する場合は[全ページ]をクリックしてチェックマークを付けます。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 〜 9999 の範囲で入力します。

③プリンタフォント使用

[フォント設定]ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

☞本書「フォント設定の手順」126 ページ

漢字	：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文（標準）	：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

［詳細設定］-［印刷モード］で［CRT優先］または［標準（Mac）］を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

Mac

④給紙装置

給紙装置を選択します。

自動選択　：印刷実行時に、[用紙サイズ] で選択したサイズおよび［用紙種類］で選択した用紙種類の用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。

用紙トレイ　：用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ] を選択します。

用紙カセット 1　：標準の用紙カセットから給紙する場合は、［用紙カセット 1］を選択します。

用紙カセット 2　：オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。

- **［自動選択］を選択して拡大／縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**
- **用紙トレイにセットされた用紙の用紙サイズは自動的に検知できませんので、必ず「操作パネル」で用紙サイズを設定してください。**
  ☞本書「ワンタッチ設定モード 2 での設定方法」165 ページ

⑤用紙種類

特殊紙（OHP シート、厚紙、ラベル紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。
☞本書「用紙タイプ選択機能」31 ページ

項目	説明
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。給紙装置には［自動選択］を選択します。
OHP シート、ラベル、厚紙	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。[給紙装置] には［用紙トレイ］が選択されます。

- **ハガキ、封筒へ印刷する場合は、設定の必要はありません。**
- **操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。特殊紙へ印刷しない場合は、［指定しない］を選択してください。**

Mac

⑥色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。［色］の設定によって、⑨の［モード設定］の設定が異なります。

⑦部単位

クリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

ポイント

オプションのハードディスクユニットをプリンタに装着している場合またはメモリを128MB以上に増設している場合に、ハードディスクまたはメモリにデータを一時保存して部単位印刷を行います。

⑧逆順印刷

クリックしてチェックマークを付けると、先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑨モード設定

印刷条件として［推奨設定］または［詳細設定］のどちらかを選択できます。

推奨設定　：一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）どちらかを選択できます。通常は［標準］の設定で十分な印刷品質が得られます。［高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。

詳細設定　：［詳細設定］をクリックすると、プリセットメニュー[*1]のポップアップメニューと 設定変更 / 保存 / 削除 ボタンが有効になります。
設定変更 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。
保存 / 削除 ボタンをクリックすると、設定した内容の保存または削除ができます。
詳細については、以下のページを参照してください。
☞本書「［詳細設定］ダイアログ」136 ページ

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている用途別の選択肢。ポップアップメニューの中に、一覧で表示される。

Mac

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン!4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ColorSync	ColorSyncによるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

⑩ （拡張設定アイコン）

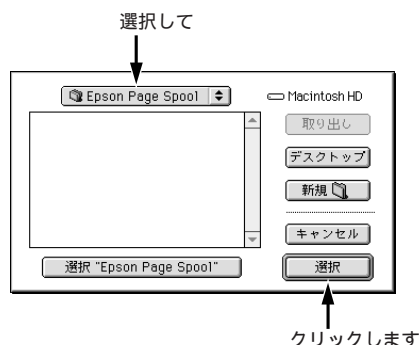
アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。

オフセット	：上下・左右方向の印刷開始位置（垂直位置・水平位置）のオフセット値を設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。 -9mm（上方向）～ 10mm（下方向） -9mm（左方向）～ 10mm（右方向）
カラー／モノクロの自動判別を行う	：クリックしてチェックマークを付けると、印刷データがカラーまたはモノクロのどちらかを自動的に判別して印刷します。

［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［CRT 優先］が選択されている場合は、カラー / モノクロの自動判別は行いません。

用紙サイズのチェックをしない	：クリックしてチェックマークを付けると、選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても、用紙サイズエラーにはなりません。
白紙節約する	：白紙ページを印刷するかしないかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。
線幅を調整する	：図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

Mac

スプールファイル保存フォルダ：印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。選択 ボタンをクリックして、フォルダの選択ダイアログを表示させます。

スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから、選択 ボタンをクリックします。

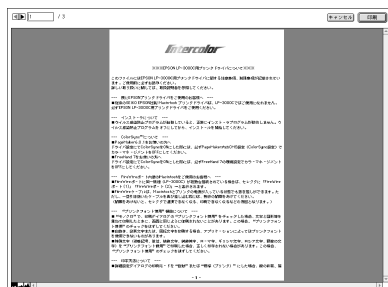
スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻すには、初期状態に戻す ボタンをクリックします。

⑪ （レイアウトアイコン）

アイコンをクリックすると［レイアウト］ダイアログが表示され、レイアウトに関する設定ができます。詳細については、以下のページを参照してください。

☞本書「［レイアウト］ダイアログ」142 ページ

⑫ （プレビューアイコン）

アイコンをクリックすると 印刷 ボタンが プレビュー ボタンに変わります。 プレビュー ボタンをクリックすると、［プレビュー］ウィンドウが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。

ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。
- ［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［自動］を選択している場合、［標準（Mac）/ 標準（プリンタ）］のどちらで印刷されているかが表示されます。

◀▶ ：表示するページを1ページごとに切り替えるボタンです。

1 / 3 ：表示させるページ番号を直接入力します。

キャンセル ：［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。

印刷 ：印刷を開始するボタンです。

：印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。

：印刷結果と同等のサイズで表示します。

：印刷データを拡大して表示します。

Mac

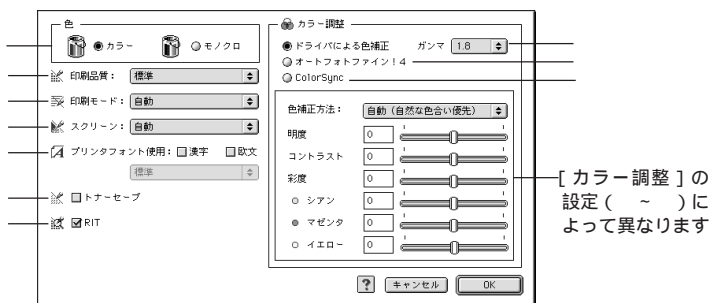
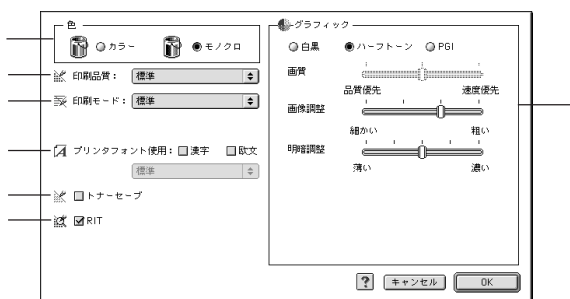
Mac

[詳細設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード設定］で［詳細設定］をクリックして 設定変更 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラー印刷の場合

モノクロ印刷の場合

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。［色］の設定によって、③の［印刷モード］とその調整方法が異なります。

②印刷品質

印刷品質とは印刷解像度のことで、［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］に設定してください。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、［印刷品質］を［標準］（解像度 300dpi）に設定してください。

③印刷モード

［印刷モード］は、［色］の設定によって異なります。

■カラー印刷の場合

［色］を［カラー］に設定した場合は、以下の印刷モードが選択できます。

Mac

自動　：お使いの環境によって［標準（Mac）］モードか、［標準（プリンタ）］モードかを自動で設定します。

標準（Mac）
標準（プリンタ）　：EPSON独自のCPGI（Color Photo & Graphics Improvement）機能により3原色の各色を最大256階調で再現することができ、写真やグラフィックスの微妙な色調やグラデーションを再現して印刷することができます。

印刷データをコンピュータまたはプリンタのどちらで主に処理するかを選択します。

ポイント

- **お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は、［標準（Mac）］を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。**
- **お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は、［標準（プリンタ）］を選択してください。コンピュータ側の負荷を軽くすることができます。**

CRT優先　：印刷データを全てイメージデータとしてプリンタへ送ります。ほかの印刷モードで印刷しても、画面（CRT）通りの印刷結果が得られない場合や印刷が非常に遅い場合に選択します。

ポイント

［標準（Mac）］または［CRT優先］を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

■モノクロ印刷の場合

［色］を［モノクロ］に設定した場合は、以下の印刷モードが選択できます。

標準　：モノクロ印刷の場合は、通常［標準］を選択してください。プリンタドライバの標準モードでモノクロ印刷します。

CRT優先　：印刷データを全てイメージデータとしてプリンタへ送ります。ほかの印刷モードで印刷しても、画面（CRT）通りの印刷結果が得られない場合に選択します。通常、このモードを選択する必要はありません。

*1 lpi：
ハーフトーンスクリーンを再現するためのセルの密度。
1インチあたりのセルの数を線数として表わします(Lines Per Inch)。

Mac

④スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi[*1]）を選択します。ほかに設定した印刷条件によっては、グレー表示して設定できない場合があります。

自動　：スクリーン線数を自動的に設定します。

解像度優先　：スクリーン線数を268lpiに設定し、解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

階調優先　：スクリーン線数を165lpiに設定し、階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。

ポイント

⑧の［色補正方法］で［色補正なし］を選択している場合、［自動］は選択できません。

⑤プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。
☞本書「フォント設定の手順」126ページ

漢字　：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。

欧文（標準）　：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

登録した置き換えフォント設定は、ポップアップメニューから選択できます。

ポイント

③の［印刷モード］で［標準（Mac）］または［CRT優先］を選択した場合、フォントの置き換えはできません。

⑥トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。カラー印刷時は、色の表現力を低く抑えて印刷し、モノクロ印刷時は輪郭部分のみを濃く印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

⑦ RIT

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。

クリックしてチェックマークを付けると、RIT[*1](Resolution Improvement Technology)機能が有効になり、大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。.

ポイント

RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。

Mac

⑧ ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

クリックしてチェックマークを付けると、プリンタドライバで以下のカラー調整ができます。

ガンマ　：ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。この設定は、[ドライバによる色補正]を選択した場合にのみ有効です。

[1.5]	従来のEPSONカラーレーザープリンタ（LP-8000C/8200C）と同様の色合いで印刷します。
[1.8]	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値1.5に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。
[2.2]	sRGB対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

色補正方法　：色の補正方法を選択できます。（モノクロ印刷では、設定できません。）

*2 プロファイル：色補正データが記録されているファイル。

[自動（自然な色合い優先）]	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
[自動（鮮やかさ優先）]	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
[自然な色合い]	より自然な発色になるようにカラー調整します。
[鮮やかな色合い]	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
[色補正なし]	カラー調整しません。ColorSync用プロファイル[*2]を作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度　：画像全体の明るさを調整します。

コントラスト　：画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度　：画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン
マゼンタ
イエロー　：各色の強さを調整します

	-25 ←0→ +25	
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑨オートフォトファイン!4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン!4 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン!4］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。

色調　：印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。色調を補正しない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。

効果　：印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。効果を加えない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。

デジタルカメラ用補正　：デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

⑩ ColorSync(カラー印刷のみ)

クリックしてチェックマークを付けると、ColorSyncによるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「ColorSync について」154 ページ

⑪ グラフィック（モノクロ印刷のみ）

［色］を［モノクロ］に設定した場合は、さらにダイアログ右側の［グラフィック］を設定できます。

モノクロ印刷時のグラフィックの処理方法を選択します。

白黒 ：モノクロ印刷を行います。グレイスケールや中間色は再現しません。

ハーフトーン ：グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷します。イメージと図形などを重ねて印刷して、モニタ表示と同じように印刷されない場合、［ハーフトーン］を選択してください。

*1 PGI：階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSON独自の機能。

PGI ：PGI[*1](Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGI を有効にすると、よりきれいに印刷できます。

ポイント

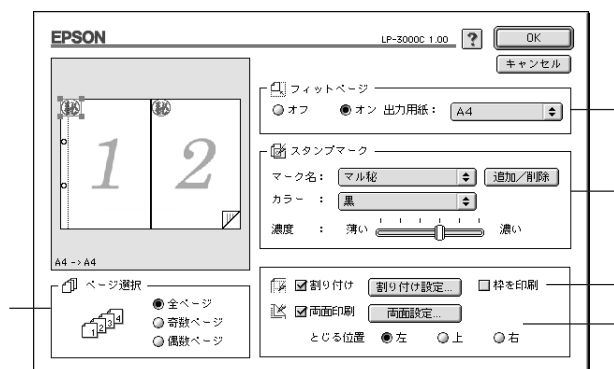
- **プリンタのメモリが少ないと、PGI で印刷できない場合があります。PGI処理で印刷するには、メモリを増設するか、［印刷品質］を［標準］に設定してください。**
- **アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、［ハーフトーン］や［PGI］を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は［白黒］に設定して印刷してください。**

画 質 ：［PGI］を選択したときのみ、［画質］を 3 段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は［速度優先］に、印刷品質を上げたい場合は［品質優先］に設定します。

画像調整 ：［ハーフトーン］または［PGI］どちらかに設定した場合は、画像の粗密を、［細かい］から［粗い］の間で 4 段階に調整できます。

明暗調整 ：［ハーフトーン］または［PGI］どちらかに設定した場合は、画像の明暗を、［薄い］から［濃い］の間で 5 段階に調整できます。

[レイアウト]ダイアログ

［プリント］ダイアログで （レイアウトアイコン）をクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定をすることができます。

①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか､奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大/縮小する機能です。フィットページ印刷をするには［オン］を選択し、［出力用紙］ポップアップメニューからプリンタにセットした用紙サイズを選択します｡印刷を実行すると自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

- **拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。**
- **［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。**

③スタンプマーク

印刷データに ㊙ などの画像を重ね合わせて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

プレビュー部	：ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると､スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。
マーク名	：印刷するスタンプマークをポップアップメニューから選択します。

カラー　：マークの印刷カラーをポップアップメニューから選択します。ただし、新規に登録したマークの色指定はできません。

濃度　：スタンプマークの印刷濃度を、スライドバーで調整します。

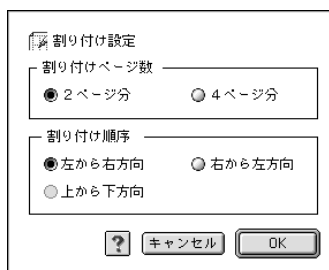
Mac

*1 PICT：Macintoshの標準グラフィックファイル形式。

追加 / 削除 ボタン　：オリジナルのピクチャ(PICT[*1]画像)マークを登録したり削除するには、追加 / 削除 ボタンをクリックして[追加/削除]ダイアログを開きます。登録/削除の手順については、以下のページを参照してください。
☞本書「オリジナルスタンプマークの登録方法」145ページ

④割り付け

2ページまたは4ページ分の連続した印刷データを、1ページに納まるように縮小して印刷する機能を割り付け印刷といいます。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

割り付け設定 ボタン　：クリックすると、[割り付け設定]ダイアログが開きます。以下の項目を設定することができます。

割り付けページ数　：1ページに割り付けるページ数を選択します。

割り付け順序　：割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。ページ数、用紙の向き(縦・横)によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

[枠を印刷]　：クリックしてチェックマークを付けると、割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

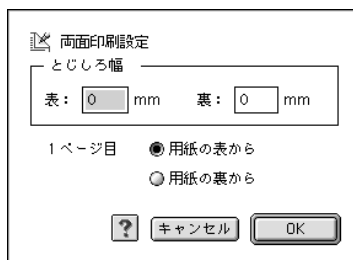
Mac

⑤両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択できます。クリックしてチェックマークを付けると、両面印刷を行います。
両面印刷時の［とじる位置］は、［左］、［上］、［右］いずれかをクリックしてチェックマークを付けます。

両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。

- **両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できるのは、A4およびLetter（LT）サイズの普通紙だけです。それ以外のサイズの用紙、および特殊紙には自動両面印刷できません。**
- **用紙トレイや用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。用紙ガイドが正しい位置に合っていないと、用紙サイズが正しく検知されないため、両面印刷ができない場合があります。**

両面設定 ボタン　：クリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、両面印刷に関する設定が行えます。

とじしろ幅　：用紙の表と裏について、とじしろの幅を設定します。

1ページ目　：印刷データの1ページ目を、用紙の表から印刷するか、裏から印刷するかを選択します。

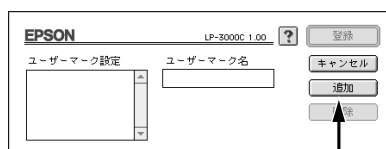
オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録してある既存のスタンプマークのほかに、ピクチャ（画像）マークを登録できます。

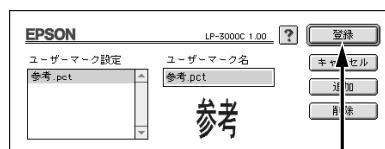
ピクチャマークの登録

1 **アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT形式で保存します。**

2 **［レイアウト］ダイアログを開いて、追加/削除ボタンをクリックします。**

3 **追加ボタンをクリックします。**

4 **1でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、開くボタンをクリックします。**

5 **登録 ボタンをクリックします。**

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのピクチャマークが登録されました。

ポイント

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで 削除 ボタンをクリックします。削除 ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

［スタンプマーク］ダイアログで OK ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

EPSONプリンタウィンドウ!3

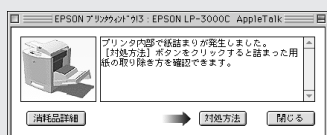
EPSONプリンタウィンドウ!3とは

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。

Mac

プリンタの状態を表示します

ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。消耗品詳細ボタンをクリックすると、用紙やトナーの残量や感光体ライフを確認できます。

[プリンタ詳細] ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

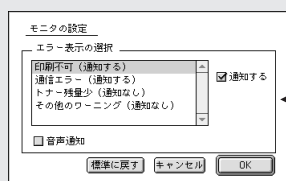
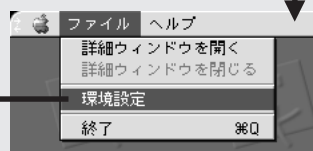
EPSONプリンタウィンドウ!3の画面を開きます

[アップル] メニューから起動

[アップル] メニューから [EPSON プリンタウィンドウ!3] を選択して、[プリンタ詳細] ウィンドウを開くことができます。

動作環境を設定します

[モニタの設定] ダイアログ

どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなど EPSON プリンタウィンドウ!3 の動作環境を設定できます。

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、[ファイル] メニューから [環境設定] をクリックすると、[モニタの設定] ダイアログが表示されます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確認するために、2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」149 ページ

ポイント

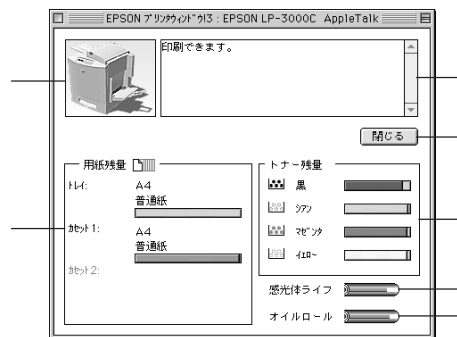
EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

［方法 1］

［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ!3］をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ!3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

［方法 2］

アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞本書「対処が必要な場合は」150 ページ

③ 閉じる ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（給紙タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤トナー残量

ET カートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

⑥感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

⑦オイルロール

定着オイルロールがあとどれくらい残っているかの目安を表示します。

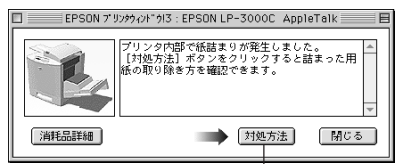
対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

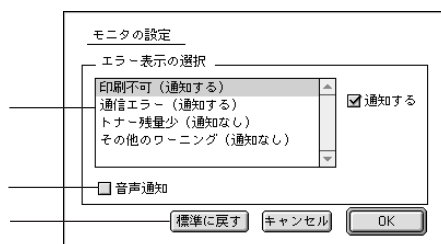
ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

① 消耗品詳細 ボタン ：クリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
☞本書「[プリンタ詳細] ウィンドウ」149ページ

② 閉じる ボタン ：クリックできる場合は、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

③ 対処方法 ボタン ：クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。

[モニタの設定]ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、[ファイル] メニューから [環境設定] をクリックすると、[モニタの設定] ダイアログが表示されます。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなど EPSON プリンタウィンドウ!3 の動作環境を設定できます。

Mac

①エラー表示の選択

どのようなエラー状態のときに通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択して、[通知する] のチェックボックスをクリックします。

②音声通知

クリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す ボタン

[エラー表示の選択] を標準（初期）設定に戻すときにクリックします。

EPSONプリントモニタ!3

EPSONプリントモニタ!3は、Macintoshでバックグラウンドプリントを行うためのユーティリティです。このユーティリティは、プリンタドライバと同時にインストールされ、バックグラウンドプリントを実行すると自動的に起動します。

Mac

バックグラウンドプリントを行うには

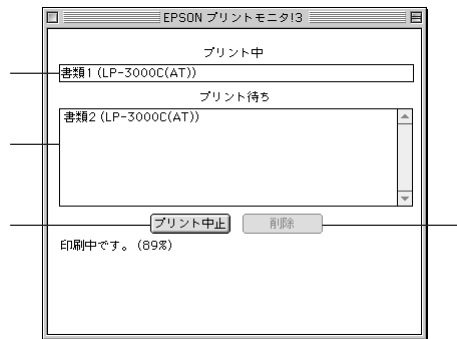
バックグラウンドプリントとは、Macintoshがほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。プリンタドライバの選択時に［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

クリックします

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中もMacintoshでほかの作業ができますが、Macintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が延びることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況の表示

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［オン］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ!3 が使用できます。

EPSON プリントモニタ!3は、印刷中にツールバー一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③ プリント中止 ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止するときにクリックします。

ポイント

印刷を一時停止したり再開するには、EPSONプリントモニタ!3の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④ 削除 ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、削除 ボタンをクリックします。

ColorSyncについて

ColorSyncとは

Mac

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとして Macintosh では ColorSync があります。本機は、この ColorSync 2.0/2.5 に対応しています。

ポイント

- **この ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。**
- **巻頭のカラーページで、カラーマッチングについて説明していますので、詳しくはそちらを参照してください。**
  ☞本書「より高度な色合わせについて」12 ページ

ColorSyncを使用して印刷するには

本機で ColorSync を使用する場合は、次の基本手順に従ってください。

正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。
ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

お使いのディスプレイの特性を Macintosh で設定します。
使用しているディスプレイで再現できる色の特性を定義したColorSync プロファイルを、［コントロールパネル］の［ColorSync］から選択してください。ColorSync のバージョンによって、設定方法は異なります。

ColorSync2.0 の場合	ColorSync2.5 の場合
① コントロールパネルから［ColorSync システム特性］を選択します。 ② お使いのディスプレイが選択されているか確認します。選択されていない場合は、特性の設定ボタンをクリックします。 ③ お使いのディスプレイをリストの中から選択し、選ぶボタンをクリックします。 お使いのディスプレイがリストにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください。	① コントロールパネルから［ColorSync］を選択します。 ②お使いのディスプレイが［システム特性］の項目で選択されているか確認します。選択されていない場合は、お使いのディスプレイをポップアップメニューから選択します。お使いのディスプレイがポップアップメニューにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください（そのほかの項目は、設定する必要はありません）。

印刷実行時に、ColorSync を設定します。
［プリント］ダイアログから［詳細設定］ダイアログを開き、［カラー調整］で［ColorSync］をクリックします。
☞本書「［詳細設定］ダイアログ」136 ページ

ポイント

- **ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON TWAIN）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。**
- **ColorSyncを使用する場合は、アプリケーションソフトをRGBモードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。**
- **一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 6.5J、Photoshop 4.0J、Illustrator 7.0J など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの［カラー調整］ダイアログで［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。**

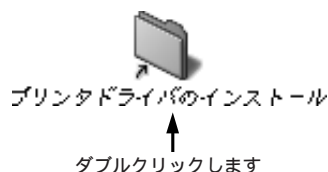
プリンタドライバの削除

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

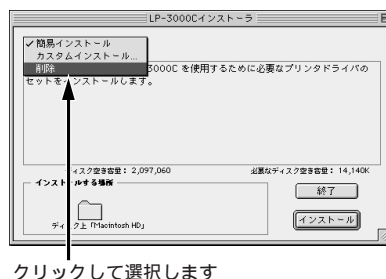
Mac

1 **起動しているアプリケーションソフトを終了して、Macintoshを再起動します。**

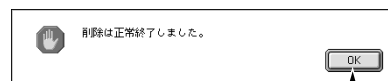
2 **EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをMacintoshにセットします。**

3 **［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックして開きます。**

4 **［LP-3000Cインストーラ］アイコンをダブルクリックします。**

5 **続行 ボタンをクリックします。**

6 **インストーラの画面左上にあるメニューから［削除］を選択します。**

7 削除 ボタンをクリックします。

クリックします

8 OK ボタンをクリックします。

クリックします

9 終了 ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除は終了です。

クリックします

第4章

操作パネルでの設定

LP-300C Control Panel

ここでは、操作パネルの設定方法について説明しています。

プリンタの設定方法について

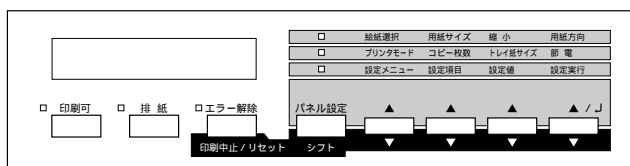
プリンタの設定は、以下の方法で実行できます。通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバまたはアプリケーションソフト上で設定できますが、それ以外の設定は操作パネル上から実行する必要があります。

プリンタドライバと操作パネルで重複する設定項目（トレイ紙サイズは除く）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

プリンタドライバからの設定

通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバ上から実行できます。

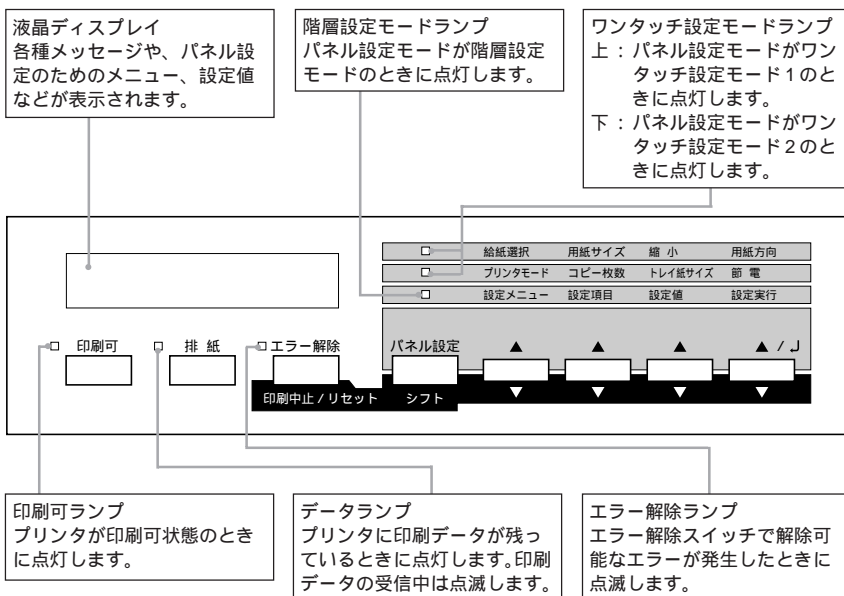
☞本書「Windows からの印刷」43 ページ
「Macintoshからの印刷」119ページ

操作パネルからの設定

- 本機に用意された全ての設定は、操作パネルから実行できます。
- 通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバ上から実行できますが、ドライバにない項目については、操作パネル から設定する必要があります。
☞本書「操作パネルでの設定方法」162 ページ

操作パネルについて

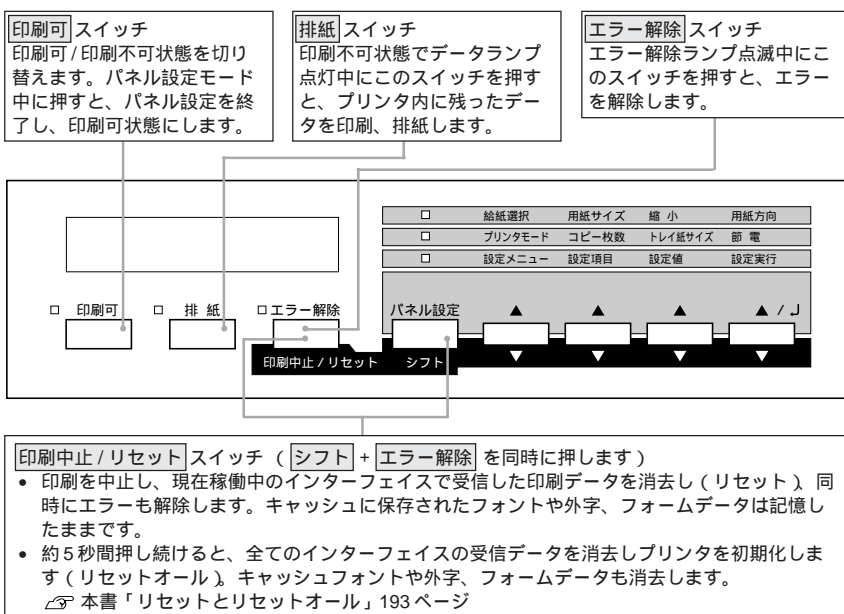
操作パネル上のランプ、スイッチの名前と機能を説明します。

ランプ/ディスプレイ

操作パネル上のランプ、ディスプレイで現在のプリンタの状態がわかります。

スイッチ

操作パネルのよく使うスイッチと、各スイッチの機能は以下の通りです。

印刷中止 / リセット スイッチ　（シフト＋エラー解除 を同時に押します）

- 印刷を中止し、現在稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去し（リセット）、同時にエラーも解除します。キャッシュに保存されたフォントや外字、フォームデータは記憶したままです。
- 約5秒間押し続けると、全てのインターフェイスの受信データを消去しプリンタを初期化します（リセットオール）。キャッシュフォントや外字、フォームデータも消去します。
  ☞ 本書「リセットとリセットオール」193ページ

操作パネルでの設定方法

ここでは操作パネルでの設定変更の方法について説明します。

操作パネルでの設定変更の注意事項

操作パネルで設定変更を行う場合、次の点に注意してください。
下記のメニューは、プリンタの持つ機能を実行するためのものです。設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
テストインサツメニュー	ステータスシート I/F カードジョウホウ ROM モジュール A ジョウホウ ROM モジュール B ジョウホウ
キョウツウメニュー	セッテイショキカ

下記のメニューは、プリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
キョウツウメニュー	カセット 1 ヨウシサイズ カセット 2 ヨウシサイズ
キョウツウメニュー 2	C トナーザンリョウ M トナーザンリョウ Y トナーザンリョウ K トナーザンリョウ カンコウタイライフ ノベインサツマイスウ カラーインサツマイスウ B/W インサツマイスウ

操作パネルの設定において、一部の項目および設定値はそれに関するオプションが装着されているときのみ表示されます。

パネル設定モードの種類

操作パネルでの設定変更には、次の 3 つのモードがあります。

- ワンタッチ設定モード 1/2 は、使用頻度の高い項目の設定変更を簡単に行うためのモードです。
- 階層設定モードは、全ての項目の設定変更を行うためのモードです。

モード	設定項目
ワンタッチ設定モード 1	①給紙選択②用紙サイズ③縮小④用紙方向
ワンタッチ設定モード 2	①プリンタモード②コピー枚数③トレイ紙サイズ④節電
階層設定モード	全ての設定項目 本書「設定項目の説明」135 ページ

ワンタッチ設定モード1での設定方法

設定項目	設定項目の説明と注意事項
給紙選択	• 印刷時にどの給紙装置から給紙するか選択します。 • 「ジドウ」に設定すると、アプリケーションソフト側で指定している用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
用紙サイズ	• アプリケーションソフトで作成した印刷データの用紙サイズを選択します。 • 「ジドウ」に設定すると、「給紙装置」で設定した給紙装置にセットされている用紙のサイズが指定されたことになります。 • 「給紙装置」と「用紙サイズ」の両方を「ジドウ」に設定すると、アプリケーションソフト側の設定に従って給紙されます。アプリケーションソフト側で設定していない場合は、用紙カセット 1 にセットされている用紙が給紙されます。
縮小	• 印刷データを約 80%に縮小して印刷します。
用紙方向	• 「用紙方向」は、用紙に対して縦方向、横方向のどちらで印刷するかを指定する項目です。用紙を縦にセットするか、横にセットするかを指定する項目ではありません。

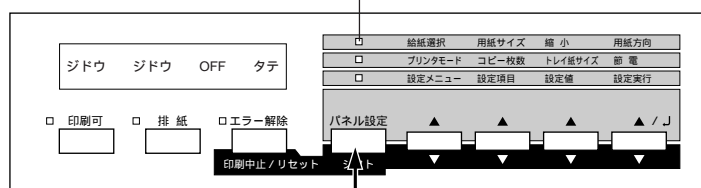
ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

パネル設定 スイッチを 1 回押します。

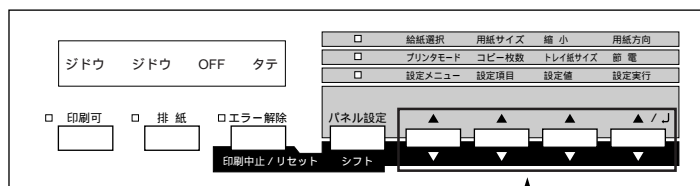
②ワンタッチ設定モード 1 ランプが点灯します

ジドウ　ジドウ　OFF　タテ

給紙選択　用紙サイズ　縮 小　用紙方向
プリンタモード　コピー枚数　トレイ紙サイズ　節 電
設定メニュー　設定項目　設定値　設定実行

印刷可　排 紙　エラー解除　パネル設定
印刷中止／リセット　シフト

① 1 回押します

設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。
各スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。

いずれかのスイッチを押して設定を変更します

スイッチ（割り当てられている設定項目）	設定値
設定メニュー スイッチ（給紙選択）	ジドウ→トレイ→カセット 1→カセット 2*
設定項目 スイッチ（用紙サイズ）	ジドウ→ A4 → A5 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → GLT → EXE →ヨウ 0 →ヨウ 4 →ヨウ 6
設定値 スイッチ（縮小）	OFF → 80%
設定実行 スイッチ（用紙方向）	タテ→ヨコ

*「給紙装置」の「カセット 2」は、オプションの増設カセットユニットを装着している場合のみ表示されます。

ポイント

シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

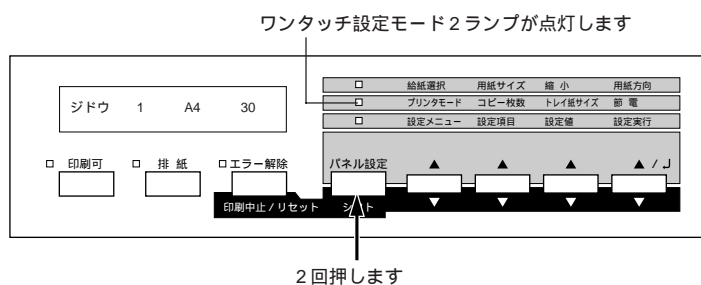
設定を変更したら、印刷可 スイッチを押します。
ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

ワンタッチ設定モード2での設定方法

設定項目	設定項目の説明と注意事項
プリンタモード *	• プリンタが動作するモードを設定します。詳細は以下のページを参照してください。 本書「プリンタモードメニュー」175 ページ •「プリンタモード」の初期設定はパラレルインターフェイスの「ジドウ」です。コントロールコードを自動判別するため、基本的には変更する必要はありません。
コピー枚数	• 印刷する枚数を設定します。（1 〜 999）
トレイ紙サイズ	• 用紙トレイにセットした用紙サイズに合わせて設定します。 A 4、A 5、B 5、はがき、L T、H L T、G L T、E X E、洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号
節電	• 印刷待機中に、プリンタの消費電力を節約できます。プリンタが節電状態になるまでの時間を設定します。 30 分、60 分、120 分、180 分、OFF

* プリンタモードメニューの［ワンタッチ］で選択したインターフェイスに対して動作モードを設定します（初期設定は［パラレル］）。

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

パネル設定 スイッチを 2 回押します。

設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。
スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。

スイッチ（割り当てられている設定項目）	設定値
設定メニュー スイッチ（プリンタモード）*	ジドウ→ESC/PS→ESC/P→ESC/Page
設定項目 スイッチ（コピー枚数）	1～999
設定値 スイッチ（トレイ紙サイズ）	A4→A5→B5→ハガキ→LT→HLT→GLT→EXE→ヨウ0→ヨウ4→ヨウ6
設定実行 スイッチ（節電）	30→60→120→180→OFF

*［プリンタモード］に割り当てるインターフェイスは、階層設定モードの［プリンタモードメニュー］で選択します。
☞本書「プリンタモードメニュー」175 ページ

ポイント

シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

設定の変更が終了したら、印刷可 スイッチを押します。
ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

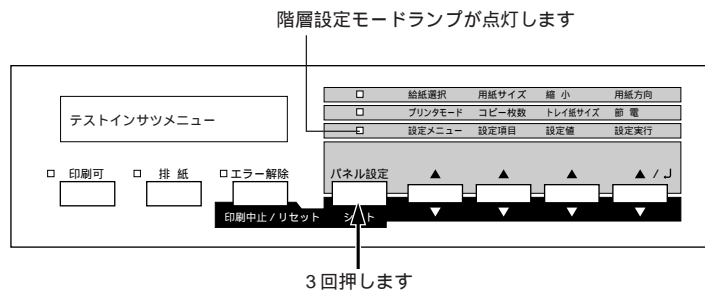
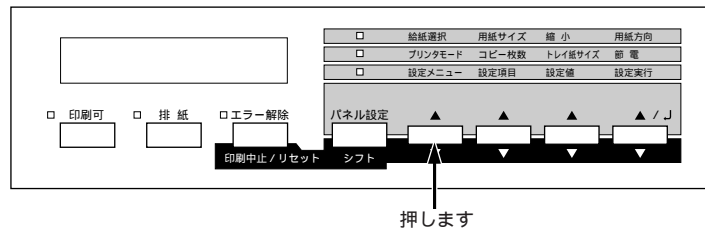
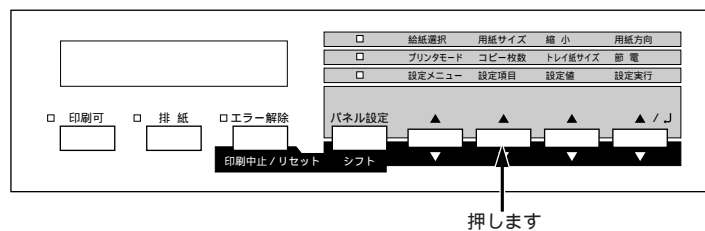
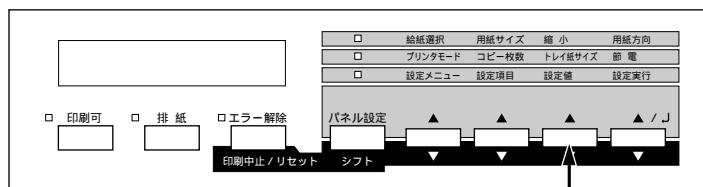
階層設定モードでの設定方法

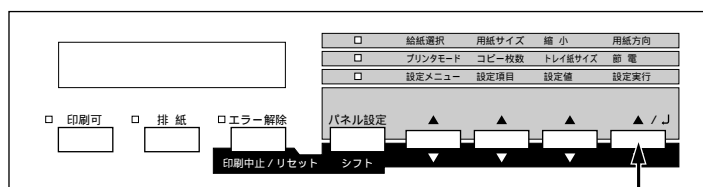
ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 **本書169ページ「設定項目の説明」を参照して、変更したい設定項目がどの設定メニューにあるかを確認します。**

本書169ページ「設定項目の説明」

2 **パネル設定 スイッチを3回押します。**

このときディスプレイには「テストインサツメニュー」と表示されます。

3 ***1*で確認した設定メニューの名前が表示されるまで、設定メニュー スイッチを押します。**

***1*で確認した設定項目の名前が表示されるまで、設定項目 スイッチを押します。**

変更したい設定値が表示されるまで、[設定値]スイッチを押します。

[シフト]スイッチを押しながらスイッチを押すと、逆の順番に設定が切り替わります。

[設定実行]スイッチを押します。

変更した設定値が有効になります。

[設定実行]スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。

[印刷可]スイッチを押します。

ディスプレイの表示が「インサツカノウ」になり、階層設定モードが終了します。

設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定変更できる項目と、各項目の内容について説明します。

ポイント

操作パネルのディスプレイ上では、漢字やひらがなはすべてカタカナで表示されます。

［　　］で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
テストインサツメニュー	ステータスシート	171
	I/F カード情報 *1	171
	ROM モジュール A 情報 *2	171
	ROM モジュール B 情報 *2	171
キョウツウメニュー	I/F タイムアウト	172
	節電	172
	トレイ用紙サイズ	172
	カセット 1 用紙サイズ	173
	カセット 2 用紙サイズ *3	173
	トレイタイプ	173
	カセット 1 タイプ	173
	カセット 2 タイプ *3	173
	表示言語	173
	設定初期化	173
キョウツウメニュー 2	C トナー残量	174
	M トナー残量	174
	Y トナー残量	174
	K トナー残量	174
	トナー交換エラー表示	174
	感光体ライフ	174
	のべ印刷枚数	174
	カラー印刷枚数	174
	B/W 印刷枚数	174
プリンタモードメニュー	パラレル	175
	I/F カード *1	175
	ワンタッチ	175
インサツメニュー	給紙	176
	用紙サイズ	176
	用紙方向	176
	コピー枚数	176
	縮小	177
	解像度	177
	イメージ補正	177
	白紙節約	177
	自動排紙	177
	両面印刷 *4	178
	綴じ方向 *4	178
デバイスメニュー	RIT	179
	トナーセーブ	179
	上オフセット	179
	左オフセット	179
	上オフセット B *4	179
	左オフセット B *4	180
	紙種	181
	用紙サイズフリー	181
	自動エラー解除	181
	ページエラー回避	182

設定メニュー	設定項目	参照ページ
パラレル I/F セッテイメニュー	パラレル I/F ACK 幅 双方向 受信バッファ	183 183 183 183
I/F カードセッテイメニュー*1	I/F カード I/F カード設定 IP アドレス設定 IP Byte 1 IP Byte 2 IP Byte 3 IP Byte 4 SM Byte 1 SM Byte 2 SM Byte 3 SM Byte 4 GW Byte 1 GW Byte 2 GW Byte 3 GW Byte 4 NetWare AppleTalk NetBEUI I/F カード初期化 受信バッファ	184 184 184 184 184 184 184 184 184 184 184 185 185 185 185 185 185 185 185 185
ESC/PS カンキョウメニュー	連続紙 文字コード 給紙位置 各国文字 ゼロ 用紙位置 右マージン 漢字書体	186 186 186 186 187 187 187 187
ESC/Page カンキョウメニュー	復帰改行 改ページ CR LF FF エラーコード フォントタイプ フォームオーバーレイ*5 フォーム番号*5	188 188 188 188 188 188 188 189 189

*1 オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示され、選択できます。

*2 オプションの ROM モジュールが装着されていて、ROM モジュール内に情報があるときに表示され、印刷できます。フォント ROM モジュール装着時は表示されません。

*3 オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示されます（表示のみ）。

*4 オプションの両面印刷ユニット装着時のみ表示され、選択できます。

*5 オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。

テストインサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	I/F カードジョウホウ	オプションのインターフェイスカードがインターフェイスカードの設定値などの一覧を印刷する機能をサポートしている場合、装着したときに表示され、オプションインターフェイスカードの情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	ROM モジュール A ジョウホウ（ROM モジュール B ジョウホウ）	ROM モジュール用ソケット A/B に装着されているオプションのROMモジュールにROMモジュール情報が存在するときだけ表示され、ROMモジュール情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

キョウツウメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れた後、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 〜 600 ビョウ	10 秒単位で設定可能。（初期設定 60 ビョウ）

設定項目	セツデン	頻繁に印刷をしない場合などに、印刷待機中のプリンタの消費電力を節約するための機能です。最後の印刷の終了から指定した時間が経過すると節電状態になります。 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。
設定値	30 プン（初期設定）	節電状態になるまでの時間を指定します。 「OFF」にすると、節電機能を使用しません。
	60 プン	
	120 プン	
	180 プン	
	OFF	

設定項目	トレイヨウシサイズ	用紙トレイにセットした用紙サイズを指定または表示します。
設定値	A4（初期設定）、A5、B5、ハガキ、LT(Letter)、HLT（Half Letter）、GLT（Government Letter）EXE（Executive）、ヨウ 0（洋形 0 号）、ヨウ 4（洋形 4 号）、ヨウ 6（洋形 6 号）	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カセット 1 ヨウシサイズ	カセット 1 （標準装備のカセットユニット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可 スイッチを押して終了します。

設定項目	カセット 2 ヨウシサイズ	増設カセットユニットの用紙カセットにセットされている用紙のサイズを液晶ディスプレイに表示します。 （オプションの増設カセットユニット装着時のみ）
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可 スイッチを押して終了します。

ポイント

用紙カセットにセットされた用紙のサイズは、プリンタが自動的に認識するため［カセット＊ヨウシサイズ］は表示のみになります。

設定項目	トレイタイプ	用紙トレイにセットする用紙の種類を選択します。
設定値	フツウシ（初期設定）、レターヘッド、サイセイシ、イロツキ、OHP シート、ラベル	

設定項目	カセット 1 タイプ	カセット 1（標準装備のカセットユニット）にセットする用紙の種類を選択します。
設定値	フツウシ（初期設定）、サイセイシ、イロツキ	

設定項目	カセット 2 タイプ	増設カセットユニットの用紙カセットにセットする用紙の種類を選択します。 （オプションの増設カセットユニット装着時のみ）
設定値	フツウシ（初期設定）、サイセイシ、イロツキ	

設定項目	ヒョウジゲンゴ	ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ（初期設定）	日本語で表示します。
	ENGLISH	英語で表示します。

設定項目	セッテイショキカ	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定および印刷枚数は除く[*1]）を全て初期化します。（工場出荷時の設定に戻します。）
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

*1 ：インターフェイスの設定を含めた全てのパネル設定値を初期化するには、エラー解除 スイッチを押しながらプリンタの電源をオンにします。

キョウツウメニュー2

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	C トナーザンリョウ M トナーザンリョウ Y トナーザンリョウ K トナーザンリョウ	各ETカートリッジのトナーの残量を表示します。 表示 E＊＊＊＊F ：100% ≧トナー残量＞ 75% E＊＊＊　F ：75% ≧トナー残量＞ 50% E＊＊　　F ：50% ≧トナー残量＞ 25% E＊　　　F ：25% ≧トナー残量＞ 0% E　　　　F ：トナー残量 ＝ 0% C/M/Y/Kは、次のようにトナーの色を示します。 • C:シアン • M:マゼンタ •Y:イエロー • K:黒
設定値		表示のみでは変更できません。印刷可スイッチを押して終了します。

ポイント

トナーの消費量は印刷の状態により異なるため、液晶ディスプレイの表示と実際の残量の間に誤差が生じる場合があります。液晶ディスプレイ上の表示はトナー残量の目安としてご覧ください。

設定項目	トナーコウカンエラーヒョウジ	ETカートリッジ交換エラーが発生した場合に、エラーを表示するかどうかを選択します。
設定値	シナイ	エラーを表示しない。
	スル（初期設定）	エラーを表示する。

設定項目	カンコウタイライフ	感光体のライフ（寿命）を表示します（0～100%）。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可スイッチを押して終了します。

設定項目	ノベインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数をディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可スイッチを押して終了します。

設定項目	カラーインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでにカラー印刷した累計枚数を表示します。
	B/W インサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでにモノクロ印刷した累計枚数を表示します。
設定値		表示のみで変更できません。印刷可スイッチを押して終了します。

プリンタモードメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル I/F カード	インターフェイスごとにプリンタが動作するモード（エミュレーション）を設定します。パラレルインターフェイス、オプションのインターフェイスに分けて、プリンタモードを設定します。
設定値	ジドウ（初期設定）	受信したコマンドに合わせて、自動的にプリンタモードを選択します。通常は、この設定で使用してください。
	ESC/PS	ESC/P スーパーモードになります。DOS アプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド（コントロールコード）がESC/Pであるか、PC-PR201Hであるかを自動判別します。たいていのDOSアプリケーションソフトでは、ESC/Pageモードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P（VP-100）エミュレーションモードになります。海外版DOSアプリケーションソフトを使用する場合や、国内版DOSアプリケーションソフトで画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Pageモードになります。通常は設定する必要はありません。

設定項目	ワンタッチ	ワンタッチ設定モード 2 の［プリンタモード］に割り当てるインターフェイスを選択します。
設定値	パラレル（初期設定）	パラレルインターフェイスに設定します。
	I/F カード	オプションのインターフェイスに設定します。（オプションは、オプションのインターフェイスカード装着時のみ）

インサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	キュウシ	給紙方法を選択します。
設定値	ジドウ（初期設定）	印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置から自動的に給紙します。
	トレイ	用紙トレイから給紙します。
	カセット 1	標準カセットユニットの用紙カセットから給紙します。
	カセット 2	増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。（オプションの増設カセットユニット装着時のみ）

ポイント

- **［キュウシ］［ヨウシサイズ］ともに［ジドウ］を選択している場合は、アプリケーションソフトの給紙装置選択に従って給紙します。ソフトウェア上で指定されない場合は、カセット 1 から給紙します。**
- **［キュウシ］に［トレイ］を選択した場合は、［トレイヨウシサイズ］をセットしてある用紙のサイズに設定してください。**
- **［ヨウシサイズ］を封筒に設定した場合は、常に用紙トレイより給紙します。**
- **［カミシュ］を［アツガミ］または［OHP シート］に設定した場合は、常に用紙トレイより給紙します。**

設定項目	ヨウシサイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
設定値	ジドウ（初期設定）、A4、A5、B5、ハガキ、LT(Letter)、HLT (Half Letter)、GLT(Government Letter)、EXE（Executive）、ヨウ 0（洋形 0 号）、ヨウ 4（洋形 4 号）、ヨウ 6（洋形 6 号）	

設定項目	ヨウシホウコウ	用紙方向を選択します。「タテ」のとき、用紙の長辺を縦方向として印刷します。「ヨコ」のとき、用紙の長辺を横方向として印刷します。
設定値	タテ（初期設定）	印刷結果が縦長になる用紙方向で印刷します。（ポートレート）
	ヨコ	印刷結果が横長になる用紙方向で印刷します。（ランドスケープ）

ポイント

［ヨウシホウコウ］の選択は、プリンタにセットする用紙の向きを変更・指定することではありません。用紙に対する印刷の向きを指定するものです。用紙のセット方向については、以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「用紙のセット」30 ページ

設定項目	コピーマイスウ	同じデータを複数枚印刷する場合に、印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷したあと、次のページのデータを印刷します。
設定値	1 ～ 999	（初期設定：1）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	シュクショウ	印刷データを約 80% に縮小して印刷します。
設定値	80%	80% 縮小で印刷します。
	OFF（初期設定）	100% で印刷します。

設定項目	カイゾウド	印刷の解像度の選択をします。
設定値	ハヤイ（初期設定）	300dpi で印刷します。
	キレイ	600dpi で印刷します。

ポイント

設定を［キレイ］にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリの不足で印刷ができないことがあります。このときは、［ハヤイ］で印刷してください。［キレイ］で印刷するためには、プリンタのメモリ増設が必要です。

設定項目	イメージホセイ	イメージデータ補正方式を選択します。
設定値	1（初期設定）	標準の補正方式。
	2	ESC/P または ESC/PS モードのとき： 罫線が途切れるときに設定します。 ESC/Page モードのとき： 本機に対応していないドライバを使用していて、グラフィックに問題があるときに設定します。

設定項目	ハクシセツヤク	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	スル（初期設定）	白紙ページを印刷しません。
	シナイ	そのまま白紙ページを印刷（排紙）します。

設定項目	ジドウハイシ	印刷データによっては、最後に排紙コマンドを送らないものがあります。そのような場合、この自動排紙を行う設定にしておくことにより、I/F タイムアウトで設定した時間、プリンタが次のデータを受信しなかった場合に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
設定値	スル（初期設定）	プリンタ内にデータがある場合、タイムアウト時間経過後、自動排紙します。
	シナイ	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	リョウメンインサツ	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。 両面印刷ユニットを使用するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	両面印刷ユニットを使用しません。
	ON	両面印刷ユニットを使用します。

設定項目	トジホウコウ	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。 両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。とじしろは、[デバイスメニュー] の各オフセットで設定します。
設定値	ロングエッジ（初期設定）	用紙の長辺側を綴じる位置にします。
	ショートエッジ	用紙の短辺側を綴じる位置にします。

デバイスメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	RIT (Resolution Improvement Technology)	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能（RIT）の ON/OFF を選択します。
設定値	ON（初期設定）	輪郭を補正します。
	OFF	輪郭を補正しません。

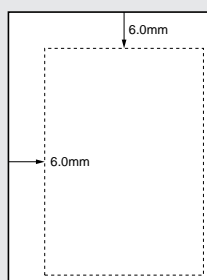
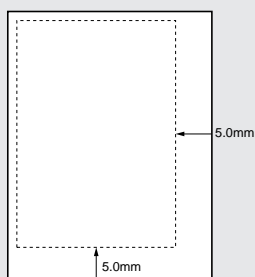
設定項目	トナーセーブ	トナーの消費量を削減します
設定値	シナイ（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	スル	トナーセーブ機能を使用します。

ポイント **［トナーセーブ］を［スル］にすると、カラー印刷時は色の表現能力を低く押さえて印刷し、トナー使用量を約30%削減します。モノクロ印刷時は輪郭部分のみを濃く印刷してトナー使用量を約 50% 削減します。**

設定項目	ウエオフセット	用紙の上端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から+30.0mmの範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0 ～ +30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

設定項目	ヒダリオフセット	用紙の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から+30.0mmの範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0 ～ +30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

設定項目	ウエオフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。 用紙裏面の上端に対して、印刷の開始位置を -30.0mmから+30.0mmの範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0 ～ +30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヒダリオフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。 用紙裏面の左端に対して、印刷の開始位置を-30.0mmから+30.0mmの範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。また、0mm以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0 ～ +30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カミシュ	紙の種類を選択します。
設定値	フツウ（初期設定）	普通紙、EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙を使用するときに選択します。
	アツガミ	ハガキ、封筒、ラベル紙などの特殊紙や厚紙を使用する場合に選択します。 なお、用紙サイズをハガキか封筒サイズにした場合は、自動的にアツガミに切り替ります（表示は変わりません）。
	OHP シート	EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシートを使用するときに選択します。

設定項目	ヨウシサイズフリー	「ヨウシコウカン xxxxx yyyy」と「ヨウシサイズエラー」のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	上記 2 つのエラーと警告を検出した場合、ディスプレイにメッセージを表示します。
	ON	上記 2 つのエラーと警告を表示しません。

［ヨウシサイズフリー］を［ON］にすると、印刷速度は［OFF］の場合の半分以下になります。

設定項目	ジドウエラーカイジョ	エラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	「ページエラーオーバーラン」､「ヨウシコウカン」､「メモリオーバー　メモリガタリマセン」のエラーが発生したときに、エラー解除スイッチを押してエラー状態を解除しないかぎりプリンタの動作は停止し、処理を再開しません。
	スル	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約 5 秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ページエラーカイヒ	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷するとき、印刷動作に対し画像データ作成が追いつかないため、ページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷の所要時間が長くなりますので、通常の使用では［OFF］に設定し、ページエラーが発生するときだけ［ON］に設定します。
設定値	ON	ページエラー回避機能を使用します。
	OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。

ポイント

［ページエラー回避］を［ON］にすると、「メモリオーバー メモリガタリマセン」エラーも回避できる場合があります。なお、［ON］にしても「メモリオーバー メモリガタリマセン」エラーが発生した場合は、メモリを増設してください（［ジュシンバッファ］の設定を［サイショウ］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

パラレルI/Fセッテイメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレルI/F	パラレルインターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	パラレルインターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	パラレルインターフェイスを使用しません。

設定項目	ACK ハバ	パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。
設定値	ヒョウジュン	約 10 μ S に設定します。
	ミジカイ（初期設定）	約 1 μ S に設定します。

設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。
設定値	ニブル	双方向通信について、ニブルモードに対応します。
	ECP（初期設定）	双方向通信について、ECP モードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。

［ニブル］［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
［ECP］に設定して使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトがECPモードに対応している必要があります。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用、データ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。コンピュータ側の印刷処理は早く終わりますが、印刷時にメモリ不足になる可能性があります。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。大きいサイズのデータが印刷できますがコンピュータ側での印刷処理の時間が長くなります。

［ジュシンバッファ］の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。
☞本書「リセットオール」194 ページ

I/Fカードセッテイメニュー

オプションのインターフェイスカードを装着した場合のみ設定できる項目です。装着したインターフェイスによって、設定できる項目や初期設定は異なります。（設定する必要のない項目は表示されません。）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F カード	I/F カードスロットに装着したインターフェイスを使用するかしないか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
設定値	ツカウ（初期設定）	I/F カードのインターフェイスを使用します。
	ツカワナイ	I/F カードのインターフェイスを使用しません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F カードセッテイ	オプションのインターフェイスカードの設定を、操作パネルで行うか、行わないかを選択します。
設定値	シナイ（初期設定）	設定は行えません。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的にこの［しない］に設定されてネットワークの設定項目は表示されなくなりますので、不用意に設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。［I/F カードセッテイ］を［スル］に設定した場合に、選択できます。
設定値	パネル（初期設定）	［I/F カードセッテイメニュー］で設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワークからDHCPでIPアドレスを自動的に取得します。取得したIPアドレスは、プリンタに記憶されないため、電源をオフにすると無効になります。
	PING	ネットワークから PING コマンドで IP アドレスを設定します。設定した IP アドレスは、プリンタに記憶され、プリンタ電源のオン・オフまたはリセットオール後から有効となります。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	IP Byte 1 ～ IP Byte 4	TCP/IP の IP アドレスを、0 ～ 255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットオールした後から有効となります。
設定値	0 ～ 255	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	SM Byte 1 ～ SM Byte 4	TCP/IP の Subnet Maskを、0 ～ 255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットオールした後から有効となります。
設定値	0 ～ 255	

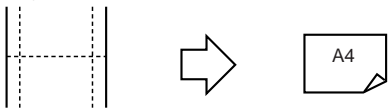
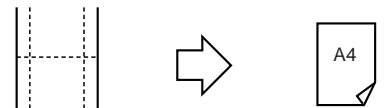
スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	GW Byte 1 〜 GW Byte 4	TCP/IP の Gateway アドレスを、0 〜 255 の範囲で設定します。[IP アドレスセッテイ] を [パネル] に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットオールした後から有効となります。
設定値	0 〜 255	

設定項目	NetWare	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタがNetWare環境で使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	プリンタは NetWare 環境で使用できます。
	OFF	プリンタは NetWare 環境で使用できません。

設定項目	AppleTalk	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	プリンタは AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	プリンタは AppleTalk ネットワークで使用できません。

設定項目	NetBEUI	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタがNetBEUIを使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	プリンタは NetBEUI を使用できます。
	OFF	プリンタは NetBEUI を使用できません。

設定項目	I/F カードショキカ	オプションのインターフェイスカードの設定を初期化します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

ポイント

［I/F セッテイメニュー］の各項目を設定変更した場合は、必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

本書「リセットオール」194 ページ

ESC/PSカンキョウメニュー

ESC/PS、またはESC/Pモードで選択できる設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	レンゾクシ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	縮小しません。
	F15→A4ヨコ	381×279.4mm（15インチ×11インチ）の連続紙へのデータをA4横長の用紙に縮小して印刷します。
	F10→A4タテ	254×279.4mm（10インチ×11インチ）の連続紙へのデータをA4縦長の用紙に縮小して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	モジコード	• ESC/P用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コードを切り替えます。
設定値	カタカナ（初期設定）	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	キュウシイチ	• ESC/P用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 用紙の印刷開始位置を選択します。
設定値	8.5mm（初期設定）	8.5mmにします。
	22mm	22mmにします。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カッコクモジ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
設定値	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ゼロ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
設定値	0（初期設定）	「0」を選択します。
	ø	「ø」を選択します。

設定項目	ヨウシイチ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 横方向の印字範囲（136桁）の幅のなかで、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定でPC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、「チュウオウ」を選択してください。なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
設定値	ヒダリ（初期設定）	左合わせに設定します。
	チュウオウ	中央合わせに設定します。
	チュウオウ -5	中央合わせで、オフセット量を -5mm にします。
	チュウオウ +5	中央合わせで、オフセット量を +5mm にします。

設定項目	ミギマージン	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 右マージンを選択します。
設定値	ヨウシハバ（初期設定）	使用する用紙の印刷可能領域いっぱいにします。
	136 ケタ	用紙サイズに関係なく136桁（13.6インチ）にします。136桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。

設定項目	カンジショタイ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 漢字に使用する書体を選択します。
設定値	ミンチョウ（初期設定）	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。
	セイカイショ *	正階書体を選択します。
	マルゴシック *	丸ゴシック体を選択します。
	キョウカショ *	教科書体を選択します。
	ギョウショ *	行書体を選択します。

* オプションのフォントROMモジュールを装着すると、「セイカイショ」「マルゴシック」「キョウカショ」「ギョウショ」の4種類が表示されます。装着したフォントROMモジュール名を選択してください。

ESC/Pageカンキョウメニュー

ESC/Page モードで選択できる設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フッキカイギョウ	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動復帰改行動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。
設定項目	カイページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動改ページ動作をします。
	シナイ	自動改ページ動作をしません。
設定項目	CR	CR の動作を選択します。
設定値	CR ノミ（初期設定）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR+LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。
設定項目	LF	LF（改行）の動作を選択します。
設定値	CR+LF（初期設定）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF ノミ	LF（改行）動作のみを行います。
設定項目	FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
設定値	CR+FF（初期設定）	FF（改ページ）と同時に CR （復帰）動作も行います。
	FF ノミ	FF（改ページ）動作のみを行います。
設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	無視します。
	ON	スペースに置き換えます。
設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1（初期設定）	15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォームオーバーレイ *	フォームオーバーレイを実行するかを選択します。オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。
設定値	OFF（初期設定）	フォームオーバーレイを実行しません。
	ON	フォームオーバーレイを実行します。ここで設定すると、ESC/P モードでも実行されます。

設定項目	フォームバンゴウ *	実行するフォームオーバーレイの番号を選択します。フォームデータが書き込まれたフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着されている場合に表示されます（オプション装着時）。
設定値	1（初期設定）～ 512	フォームオーバーレイROMモジュールをROMモジュール用ソケット A/B 両方に装着している場合、フォームデータの番号はソケット A→ソケット B の順番で設定されます。

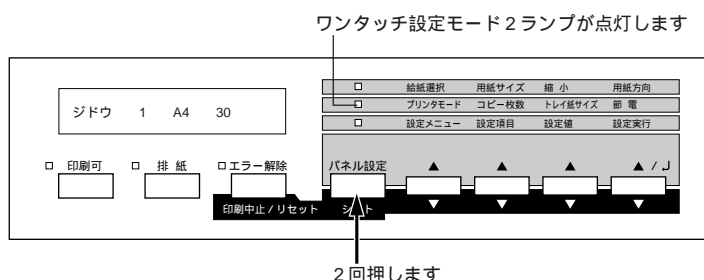
* フォームデータの作成/使用方法や、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法については、「EPSON Form!4」、「フォームオーバーレイ ROM モジュール」に添付の取扱説明書を参照してください。

節電の設定方法

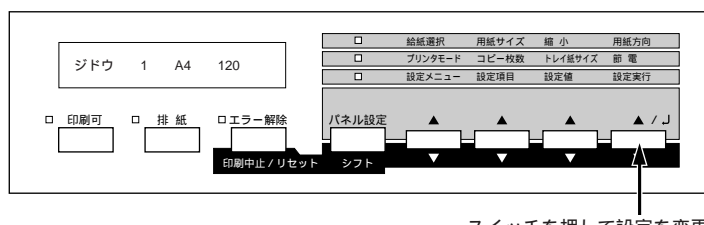
節電機能を使用すると、印刷待機時の消費電力を節約することができます。節電機能の設定は、節電状態になるまでの時間を指定することで行います。ワンタッチ設定モード2または階層設定モードのどちらでも設定できます。ここでは、操作の簡単なワンタッチ設定モード 2 での設定手順を説明します。

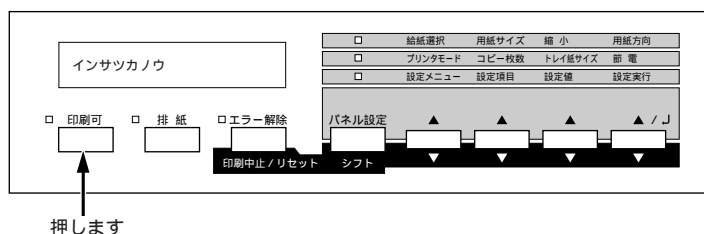
ポイント

- **節電状態に入るまでの初期設定時間は 30 分に設定されています。**
- **節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始までしばらく時間がかかります。**

パネル設定 スイッチを 2 回押します。

右端のスイッチを押して、設定を切り替えます。

スイッチを押すごとに、以下の順序で設定が切り替わります。

→ 30 プン→ 60 プン→ 120 プン→ 180 プン→ OFF

印刷可 スイッチを押します。

ワンタッチ設定モード 2 が終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

ステータスシートの印刷

ステータスシートは、プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものです。ステータスシートを印刷することにより、プリンタの現在の情報を知ることができます。

ステータスシートは、プリンタドライバがインストールされているコンピュータからも印刷できます。

☞セットアップガイド「ステータスシートの印刷」Windows 48 ページ
Macintosh 56 ページ

ポイント

ステータスシートの印刷は、次の場合に行います。

- **プリンタの動作に異常がないかを確認する場合**
- **プリンタの現在の設定状態を確認したい場合**
- **プリンタにオプションを装着した場合（装着したオプションが正しく認識されていれば、ステータスシートの印刷内容に、そのオプションが追加されます。）**

電源 スイッチをオンにし、印刷可状態にします。

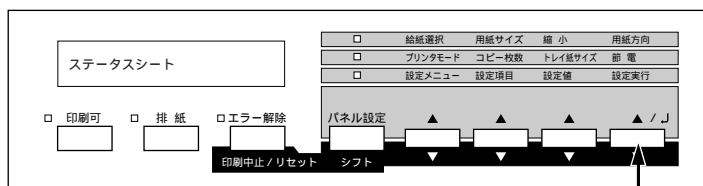
印刷可ランプが点灯します。
プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙トレイか用紙カセットに A4 サイズの用紙をセットしてください。

ポイント

パネル設定で、設定した給紙装置に用紙がセットされているか確認してください。セットされていない場合は用紙をセットするか給紙装置を変更してください。

☞本書「ワンタッチ設定モード 1 での設定方法」163 ページ

設定実行 スイッチを押します。

ディスプレイに「ステータスシート」と表示されます。

もう一度 設定実行 スイッチを押し、ステータスシートを印刷します。

- ディスプレイの表示が点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を始めるまで十数秒かかります）。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯します。

ポイント

ステータスシートがきれいに印刷されないときは、「困ったときは」を参照してください。

16進ダンプ印刷

16進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字で印刷する機能です。コンピュータからプリンタへ正しくデータが送られているかどうか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに使うと便利です。

1 **電源 スイッチがオフであることを確認します。**
プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙トレイか用紙カセットに A4 サイズの用紙をセットしてください。

2 **排紙 スイッチを押しながら、電源 スイッチをオンにします。**
ディスプレイに「ヘキサダンプモード」と表示されるまで 排紙 スイッチを押し続けます。
スイッチから手を離すとディスプレイに以下のように表示され、16進ダンプモードに入ります。

ヘキサダンプ

3 **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**
プリンタは送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字などで印刷します。

ポイント

印刷中は電源をオフにしないでください。用紙詰まりの原因になります。

4 **印刷が終了したら、データランプが消灯していることを確認します。**
データランプが点灯している場合、プリンタ内に印刷されていないデータが残っています。この場合は 印刷可 スイッチを押して印刷不可状態にした後、排紙 スイッチを押すと、プリンタ内のデータが印刷されて排紙されます。

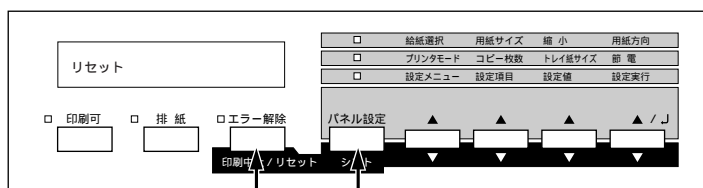
5 **16 進ダンプの印刷が終了したら、16 進ダンプモードを解除します。**
電源 スイッチをオフにする、またはリセットオールすると、次の電源オンからは通常のモードで起動します。

リセットとリセットオール

リセット

リセットは、ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたときや、印刷を中止するときに行います。現在、稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄とエラーの解除を行います。

リセットの仕方

[シフト] スイッチ（[パネル設定]スイッチ兼用）を押したまま [エラー解除] スイッチを押します。スイッチを5秒以上押したままにするとリセットオールされてしまいますので注意してください。

[シフト] （[パネル設定]）スイッチを押したまま
[エラー解除] スイッチを押します

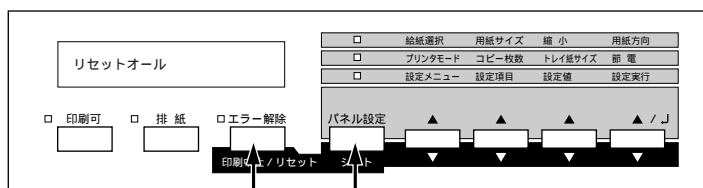
ポイント

プリンタが印刷データの処理をしているときにパネル設定を変更すると、[リセットシテクダサイ] と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

リセットオール

リセットオールを行うと、プリンタは印刷を中止します。
プリンタは電源スイッチをオンにした直後の状態まで初期化され､全てのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。

リセットオールの仕方

シフト スイッチ(パネル設定スイッチ兼用)を押したまま、ディスプレイに「リセットオール」と表示されるまで（約5秒間）エラー解除スイッチを押したままにします。

シフト（パネル設定）スイッチを押したまま液晶ディスプレイに「リセットオール」と表示されるまで（5秒間）エラー解除スイッチを押したままにします

第5章

オプションについて

LP-3000C Options

ここでは、オプションについて説明しています。

オプションの紹介

オプションの入手方法

本機のオプションを購入される場合は、本機を購入された販売店にお問い合わせください。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

	メーカー	機種	接続ケーブル	備考
DOS/V系	EPSON IBM、富士通、 東芝、他各社	DOS/V仕様機	PRCB4N	ー
	NEC	PC-98NXシリーズ		
PC98系	EPSON	EPSON PCシリーズデスクトップ	＃8238	*1*2
		EPSON PCシリーズNOTE	市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください。	*1*2
	NEC	PC-9821シリーズ （ハーフピッチ36ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801シリーズデスクトップ （14ピン）	＃8238	*1*2*3
		PC-9801シリーズNOTE （ハーフピッチ20ピン）	市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください。	*1*2*3

*1 ：拡張漢字（表示専用7921～7C7E）は印刷できません。

*2 ：Windows95/98の双方向通信機能およびEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。

*3 ：ハーフピッチ36ピンのコンピュータにはPRCB5Nをご使用ください。

ポイント

- **NEC PC-98LT/DOシリーズとは接続できません。**
- **NEC PC-9801LV/LX/LS/Nシリーズは NEC製の専用ケーブルを使用してください。**
- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **ECPモード対応コンピュータをECPモードで接続する場合、PRCB4Nをご使用ください。**

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。
設定などについてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型　番	名称	解説
PRIF4	シリアル I/F カード	本機をシリアルで接続するためのオプションです。 （バッファ：32KB）
PRIF5E	IEEE-1284 双方向パラレルI/Fカード	本機に IEEE-1284 規格準拠の双方向パラレルインターフェイスを増設するためのオプションです。
PRIF13	IBM5577 プリンタ エミュレーションカード	本機に装着することで、IBM5577-H02 プリンタのエミュレーションを実現するオプションです。モノクロ印刷のみに対応しています。
PRIFNW3	100Base-TX/10Base-T マルチプロトコル Ethernet I/F カード	本機を Ethernet で接続するための増設オプションです。IPX/SPX、TCP/IP、NetBEU I、AppleTalk に対応しています。 接続には次のいずれかのケーブルが必要です。 • Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル • Ethernet 100Base-TX ツイストペアケーブル（カテゴリー 5）
PRIF14	IEEE1394 対応 I/F カード	本機に IEEE-1394 規格（FireWire）のインターフェイスを増設するためのオプションです。

増設カセットユニット

用紙カセットが1基装備されたユニットです。プリンタ下部に装着することにより、標準で装着されているものも含めて2段にすることができます。

型番	商品名	備考
LP30CWC1	増設カセットユニット 用紙カセット（容量500枚）×1段	使用できる用紙サイズ：A4、LT 用紙カセット容量：最大500枚

両面印刷ユニット

用紙の両面に印刷するための装置です。
取り付け方および使い方は以下のページを参照してください。
☞ 本書「両面印刷ユニットの取り付け」212ページ
本書「両面印刷ユニット（オプション）について」33ページ

型番	商品名	備考
LPCDSP2	両面印刷ユニット	使用できる用紙サイズ：A4、LT 紙種　：普通紙/EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙 用紙厚：60～90g/m^2

ハードディスクユニット

プリンタにハードディスクユニットを装着すると、プリンタ側での部単位印刷ができるようになります。

型番	商品名
LPHD2	ハードディスクユニット（5.5GB）

増設メモリ

*1 DIMM：
複数個のメモリチップを搭載した基板。
モジュール。

本機は、市販のDIMM[*1] を使用することにより、最大512MB まで内部メモリを増設することができます。メモリを増設することにより、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります。また、コンピュータを早く解放したり、アウトラインフォント使用時の処理の高速化、部単位印刷が可能になります。
使用できる DIMM の種類は以下の通りです。詳しくはFAX インフォメーションをご利用ください。FAXインフォメーションの問い合わせ先は本書裏表紙をご覧ください。

DRAM タイプ	SDRAM（シンクロナス DRAM）
容量	32、64、128、256MB
形状	168 ピン DIMM（デュアルインラインパッケージ）
データバス幅	64bit
アクセスタイム	66.66MHz 以上
電源	3.3V
SPD[*2]	使用
バッファ	なし
JEDEC 準拠	パリティ機能のないものも使用できます

*2 SPD：
メモリの持つパフォーマンスやメモリのタイプ容量などの情報をメモリ内に格納しておく機能。BIOS によってはこの情報に従ってパラメータを自動設定することができます。

ポイント

- 増設できる DIMM は2枚です。
- 使用できる SDRAM については、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。インフォメーションセンターのお問い合わせ先は本書裏表紙をご覧ください。

フォントROMモジュール

オプションのフォント ROM モジュールです。
オプションの ROM モジュールを2枚装着することができます。

LPFR1	正楷書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR2	行書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR3	教科書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR4	丸ゴシック体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR5	太角ゴシック体・太明朝体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR6	太丸ゴシック体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR7	太行書体アウトラインフォント ROM モジュール

フォームオーバーレイユーティリティ

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを別々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷された用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。
フォームオーバーレイユーティリティ「EPSON Form!4」は、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷はWindowsプリンタドライバ上で行います。

型　番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（カラーのフォームデータを作成できます。Windows95/98/NT4.0上で使用可能です。）

オーバーレイROMモジュール

オプションの専用フォームエディタEPSON Form!（3以降のバージョン）で作成したフォームデータ（書式のデータ）を登録するためのROMモジュールです。
モノクロのフォームデータのみ登録できます。
フォームオーバーレイROMモジュールに登録したフォームデータは、Windowsプリンタドライバ上で呼び出して使用できます。
フォームオーバーレイROMモジュールからフォームデータを呼び出す場合、ROMモジュールソケットA/Bどちらに装着してもかまいません。
フォームオーバーレイROMモジュールにフォームデータを登録する場合は、ROMモジュール用ソケットAに装着したフォームオーバーレイROMモジュールに対してのみ可能です。

型　番	商品名
LPFOLR1M	フォームオーバーレイROMモジュール（1MB）
LPFOLR4M	フォームオーバーレイROMモジュール（4MB）

ポイント

- **フォームオーバーレイROMモジュールには、モノクロのフォームデータのみ登録可能です。**
- **フォームデータの登録は、ROMモジュール用ソケットAに装着したフォームオーバーレイROMモジュールに対してのみ可能です。**
- **モノクロのフォームデータはモノクロ印刷でのみ使用できます。Windowsでモノクロのフォームデータを使用する場合は、プリンタドライバでモノクロ印刷の設定にしてください。（[基本設定］画面で［色］を［黒］に設定）**

メモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットの取り付け

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

取り付け手順

注意

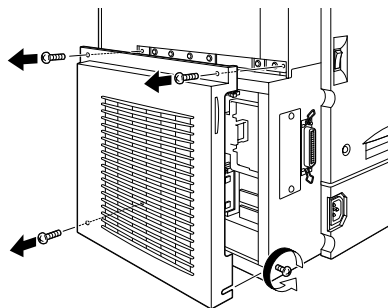
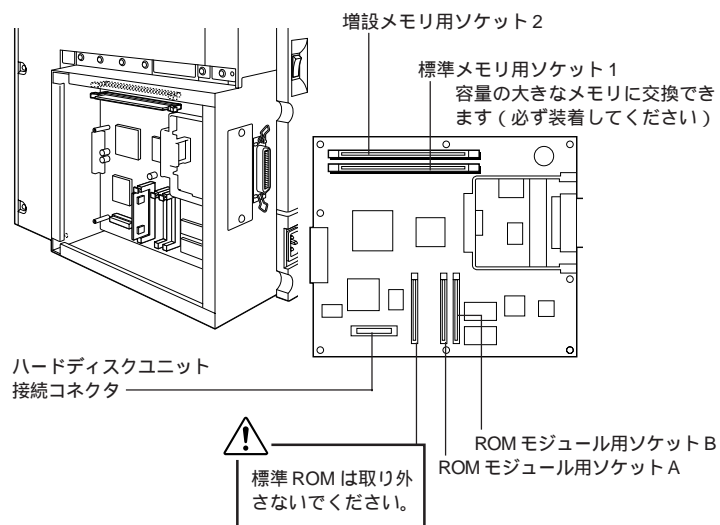
カバーの内側や内部のバネなどで、手などを傷付けないように注意しながら作業を行ってください。

- **作業の前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態でメモリ /ROM モジュール / ハードディスクユニットにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。**
- **必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。**

1 **プリンタの電源をオフにします。**

2 **電源コードとインターフェイスケーブルを取り外します。**

3 **プリンタ後ろ側のカバーを取り外します。**

カバーのネジ（4本）を外して、カバーを取り外します。

4 **増設メモリ用ソケット、ROM モジュール用ソケット、ハードディスクユニット接続コネクタの位置を確認します。**

増設メモリを装着する場合　203ページの **5** へ進みます。
ROM モジュールを装着する場合　204ページの **5** へ進みます。
ハードディスクユニットを装着する場合　205ページの **5** へ進みます。

増設メモリを装着する場合

注 意

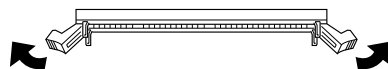
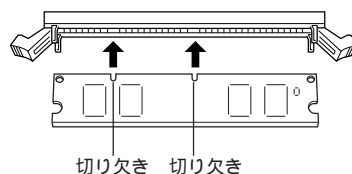
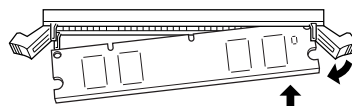
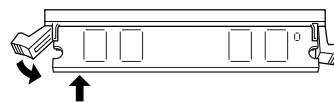
- 装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。
- 標準メモリ用ソケット1に装着されているメモリも大容量のものに交換することができます。ただし、ソケット1には必ずメモリを装着しておいてください。プリンタが動作しなくなります。

ポイント

本機に装着できる増設メモリの仕様は、以下の通りです。

- DRAM タイプ ： SDRAM（シンクロナス DRAM）
- 容量 ： 32、64、128、256MB
- 形状 ： 168 ピン DIMM

標準搭載のメモリ（32MB）も容量の大きなメモリに交換できますので、最大 512MB まで増設できます。使用できる SDRAM については、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。インフォメーションセンターについては本書裏表紙をご覧ください。

5 増設メモリ用ソケット両側のクリップを外側に開きます。

6 増設メモリ底部の 2 つの切り欠きが、ソケット内側の凸部分（左側）に合うように、取り付け位置を決めます。

7 増設メモリを右側からソケットに差し込み、クリップが起きあがるまで押し込みます。

8 増設メモリの左側をソケットに差し込み、クリップが起きあがるまで押し込みます。

ポイント

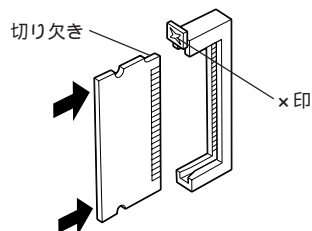
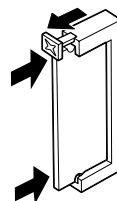
両側のクリップがしっかり閉じていることを確認してください。増設メモリが正しく差し込まれると、ソケット左右のツメが増設メモリの左右の切り欠きにかみ合い、固定されます。

206 ページの 9 に進みます。

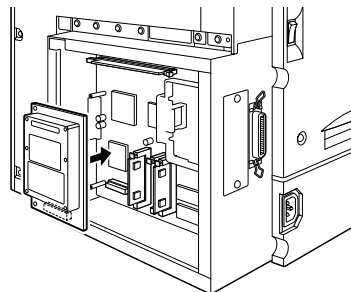
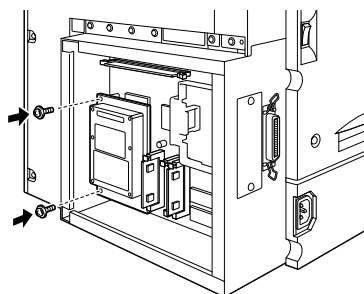
ROMモジュールを装着する場合

ポイント

- フォームオーバーレイROMモジュールにフォームを登録する場合は、ソケットAに装置します。登録したフォームを利用するには、ソケットAまたはBどちらに装着してもかまいません。
- フォントROMモジュールは、ソケットAまたはBどちらに装着してもかまいません。
- ソケットAとBには、フォームオーバーレイROMモジュールとフォントROMモジュールを混在させてもかまいません。

5 ROMモジュールの切り欠きのある側を、ソケット端の×印のある側に向け、図のようにまっすぐソケットに差し込みます。

6 ROMモジュールが正しく装着されると、ソケット端の×印の部分が飛び出した状態になります。

206ページの 9 に進みます。

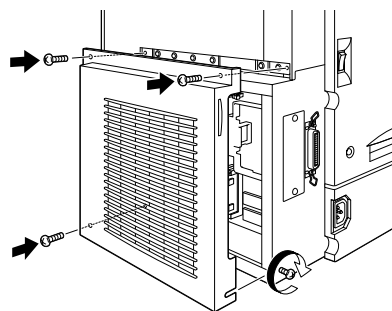
ハードディスクユニットを装着する場合

ハードディスクユニットの接続コネクタを、プリンタの基盤上の接続コネクタに差し込みます。

6 付属のネジ（2 本）でハードディスクユニットを固定します。

ポイント

オプションのハードディスクユニットは、装着して初めてプリンタの電源をオンにすると自動的に初期化されます。
何らかの理由でハードディスクユニットを初期化する場合は、以下のページを参照してください。
☞本書「ハードディスクユニットの初期化」207 ページ

206 ページの に進みます。

プリンタ後ろ側のカバーを取り付けます。

カバーのネジ（4本）を締めて、カバーを取り付けます。

電源コードとインターフェイスケーブルを接続します。

ポイント

メモリを増設したり、ROMモジュールやハードディスクユニットを取り付けた場合、Windowsでは、プリンタドライバでオプション設定をする必要があります。

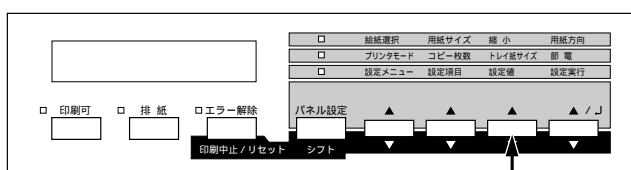
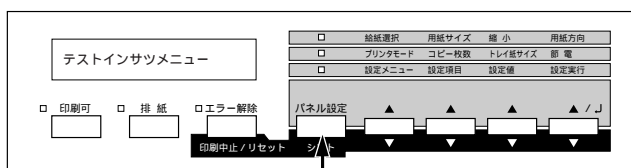
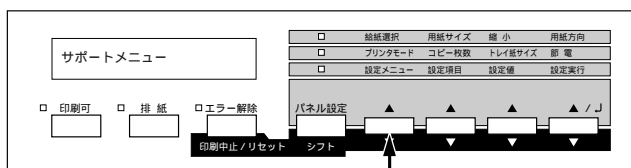
☞セットアップガイド「オプションの設定」46ページ

ハードディスクユニットの初期化

ハードディスクユニットは、装着して初めてプリンタの電源をオンにすると、自動的に初期化されます。ハードディスクに関連するエラーが発生し、正常に動作しない場合のみ、以下の手順で初期化してください。

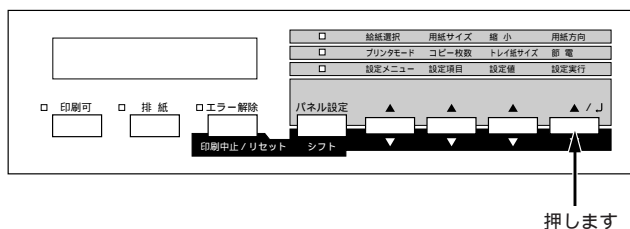
ポイント

初期化を行うと、ハードディスクに保存した内容は消去されます。

1 **設定値 スイッチを押しながら、電源をオンにします。**

パネル設定 スイッチを 3 回押します。
このときディスプレイには「テストインサツメニュー」と表示されます。
階層設定モードランプが点灯します

3 **[サポートメニュー] がディスプレイに表示されるまで、設定メニュー スイッチを押します。**

設定項目 スイッチを押して、設定項目を選択します。

設定項目	説明
HDD ショキカ	ハードディスクユニットの初期化（フォーマット）を行います。保存していたデータは全て消去されます。

設定実行 スイッチを押します。

選択した初期化作業が開始され、終了すると自動的にプリンタが再起動して印刷可状態に復帰します。

以上でハードディスクユニットの初期化は終了です。

インターフェイスカードの取り付け

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

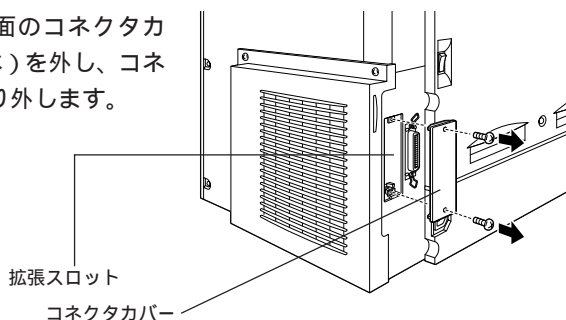
注意

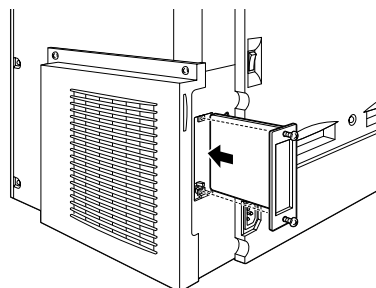
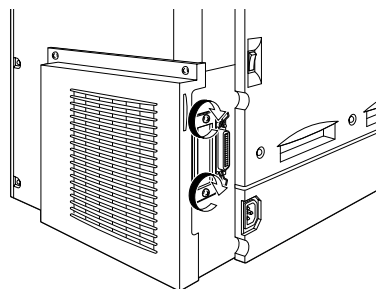
- インターフェイスカードの取り付けの前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態で作業を行うと、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。
- 必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。

プリンタの電源をオフにします。

必要に応じて、カード上のスイッチ類などの設定を行います。
インターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

3 プリンタ本体背面のコネクタカバーのネジ（2本）を外し、コネクタカバーを取り外します。

ポイント

取り外したコネクタカバーは、インターフェイスカードを取り外した際に必要になりますので大切に保管しておいてください。

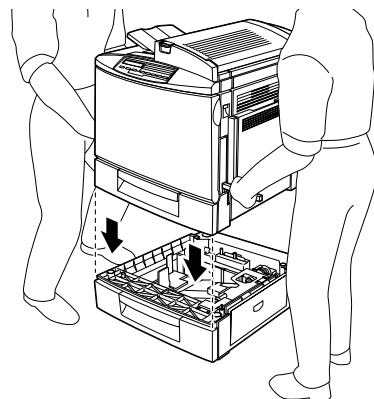
インターフェイスカードの上面を外側に向け、スロット内部の溝に合わせてまっすぐに差し込みます。

5 インターフェイスカードを、ネジ（2本）で固定します。

増設カセットユニットの取り付け

取り付け作業には10円玉などのコインが必要です。

以下の作業は、プリンタの電源をオフにして行ってください。また、プリンタに接続されているケーブル類（電源コード、インターフェイスケーブル）は全て取り外してください。用紙カセットと用紙トレイの用紙も取り除いてください。

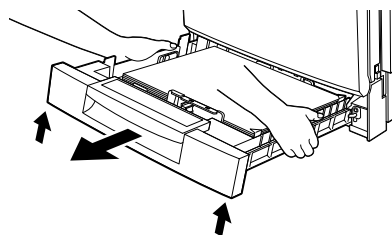
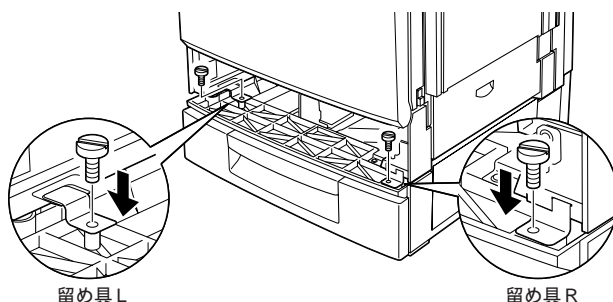
1 **プリンタ本体の電源をオフにして、ケーブル類（電源コード、インターフェイスケーブル）を取り外します。**

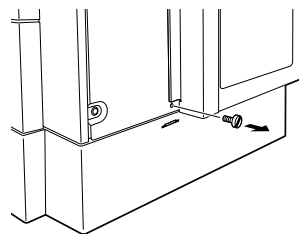
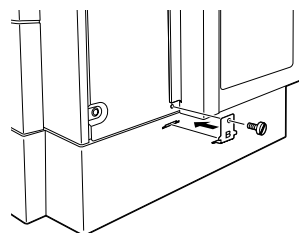
2 **プリンタを持ち上げて水平に保ち、増設カセットユニット上面の突起（2本）が、プリンタ底面の穴に入るように静かに降ろします。**

プリンタ右側の用紙トレイは折り畳んでください。

プリンタを持ち上げる際は、必ず2人以上で所定の位置を持ってください。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書「近くへの移動」281ページ

プリンタと本機の前面および両側面が同一面になるように位置を合わせると、突起と穴を合わせやすくなります。

3 **プリンタに標準装備している用紙カセットを引き出し、カセットの先端を持ち上げるようにして取り外します。**

付属の留め具L、R（LとRの刻印がある金属プレート）を右図のように左側（L）と右側 （R）に取り付け、付属のネジで固定します。
付属のネジは10円玉などのコインを使用して回します。

5 **固定したら、3 で取り外した標準用紙カセットを取り付けます。**
装着口の左右のガイドから少し浮かせて差し込んで取り付けます。

6 **プリンタ背面のネジを取り外します。**

7 **付属の留め具B（Bの刻印がある金属プレート）を右図のように取り付け、先程取り外したネジで固定します。**

以上で、プリンタへの取り付けは完了です。

本機の用紙カセットへの用紙のセット方法は、プリンタに標準装備の用紙カセットと同じです。詳細については、以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「用紙カセットへの用紙のセット」30ページ

ポイント

- **Windowsでは、プリンタドライバでオプションの設定をする必要があります。**
  ☞セットアップガイド「オプションの設定」46ページ
- **用紙をセットする際は、印刷面を上に向けてセットしてください。**

両面印刷ユニットの取り付け

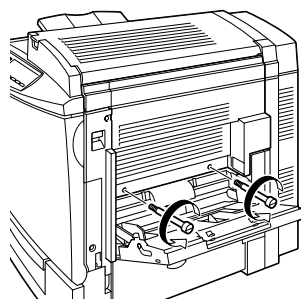
ネジの取り外し、取り付けには 10 円玉などのコインが必要です。

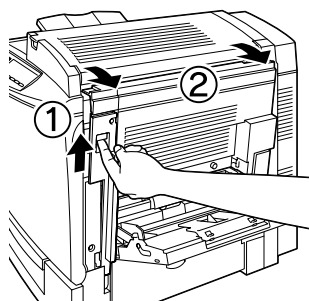
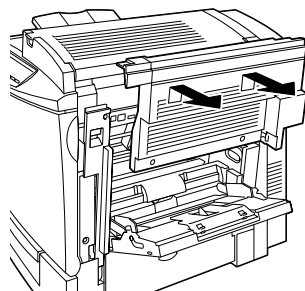
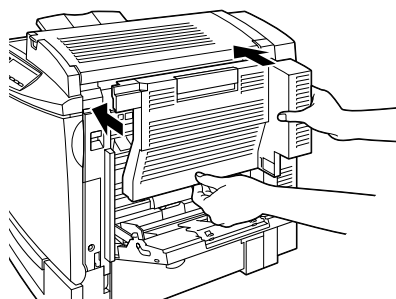
注 意

以下の作業は、プリンタの電源をオフにして行ってください。また、プリンタに接続されているケーブル類（電源コード、インターフェイスケーブル）は全て取り外してください。用紙トレイの用紙も取り除いてください。

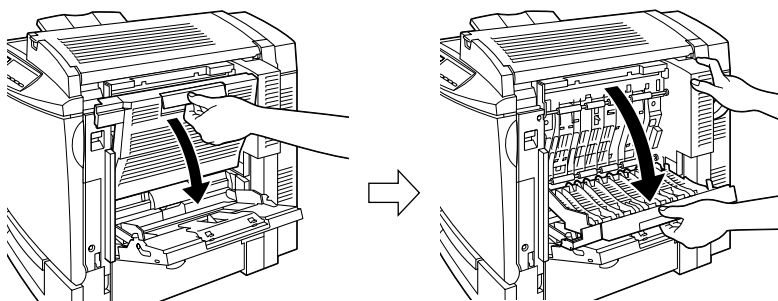
1 **プリンタ本体の電源をオフにして、ケーブル類（電源コード、インターフェイスケーブル）を取り外します。**

2 **用紙トレイを開き、右図のようにネジ（2 本）を取り外します。**

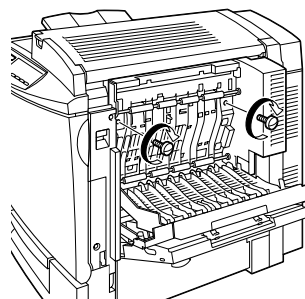
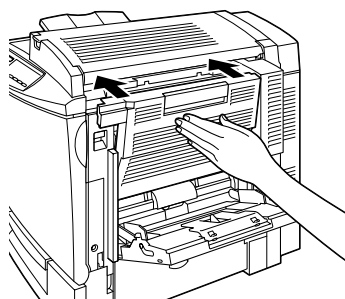
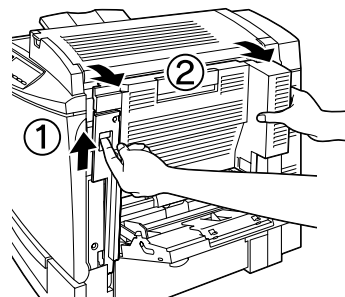
ポイント

取り外したネジは、両面印刷ユニットを取り外した際に必要になりますので、大切に保管してください。

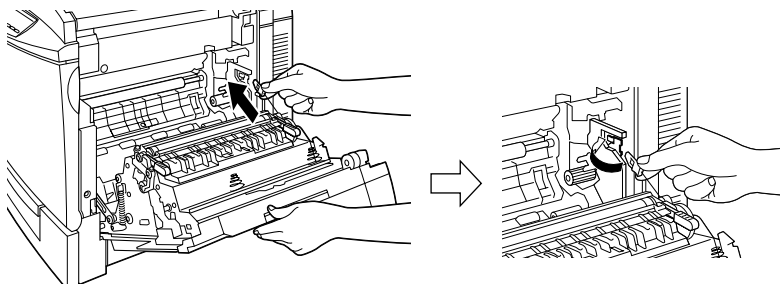
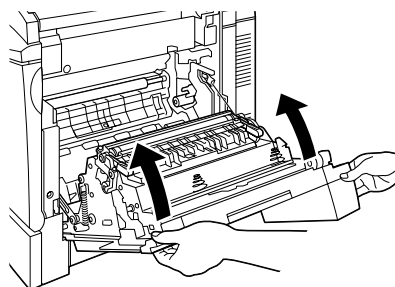
3 **ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体の右カバー B を少し開きます。**

4 **両面印刷ユニット取り付け位置のカバーを取り外して、右カバー B を閉じます。**
両面印刷ユニット取り付け位置のカバーは、持ち上げるようにして取り外します。

両面印刷ユニットを両手でささえて取り付け位置に合わせてから、プリンタに押し付けて取り付けます。

両面印刷ユニットを取り付ける際は、以下の点に注意してください。
- **両面印刷ユニットとプリンタのコネクタが合うように取り付け位置を合わせてから押し込んでください。無理に押し込まないでください。**
- **両面印刷ユニットの右側にある緑色の取り付け具をプリンタとの隙間に挟まないように注意してください。挟んだまま両面印刷ユニットを押し付けると、取り付け具が破損することがあります。**
- **両面印刷ユニットが確実にプリンタの所定位置にはまっていることを確認してください。以降の手順で両面印刷ユニットを固定するまで、落下しないように手で支えてください。**

両面印刷ユニットを片手で支えたまま、両面印刷ユニットのカバーを開けます。

- 両面印刷ユニットの上端にある取っ手を上げると、カバーのロックが解除します。
- 両面印刷ユニットを片方の手で支えたまま、カバーをゆっくりと開けます。

用紙トレイが開いていないと、両面印刷ユニットのカバーは開けることができません。

7 **付属のネジ（2本）で両面印刷ユニットをプリンタに固定します。**

付属のネジは10円玉などのコインを使用して回します。

8 **両面印刷ユニットのカバーを閉じます。**

9 **ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体の右カバー B を片手で支えながらゆっくりと開けます。**

10 **両面印刷ユニットの緑色の取り付け具をプリンタに取り付けます。**

取り付け具を持ってワイヤーを引き出し、プリンタ内部のフックに引っかけます。

プリンタ本体の右カバーBを、両面印刷ユニットごと閉じます。

以上で両面印刷ユニットの取り付けは完了です。

両面印刷ユニットの使用方法については、以下のページを参照してください。
☞本書「両面印刷ユニット（オプション）について」33 ページ

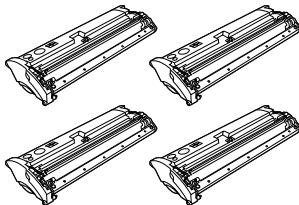
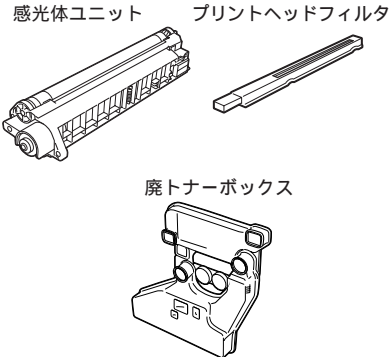
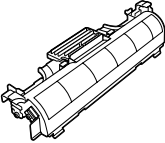
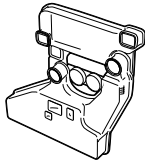
ポイント

Windowsでは、プリンタドライバでオプションの設定をする必要があります。
☞セットアップガイド「オプションの設定」46 ページ

第6章

消耗品の交換と定期交換部品について

LP-300C Consumables

ここでは、消耗品の交換手順と、どのようなときに交換すれば良いかについて説明しています。

消耗品のご案内

消耗品

次の消耗品は、各消耗品の寿命が近付くと本機の液晶ディスプレイやEPSON プリンタウィンドウ!3 に交換を促すメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合、早めの交換をお勧めします。

いくつかの消耗品をまとめて交換する必要があるものは､キットとしてまとめてご購入いただけます。型番を確認の上､本機をお買い求めいただいた販売店でお買い求めください。

型番	商品名	商品図
LPCA4ETC1C	ET カートリッジ シアン（C）	
LPCA4ETC1M	ET カートリッジ マゼンタ（M）	
LPCA4ETC1Y	ET カートリッジ イエロー（Y）	
LPCA4ETC1K	ET カートリッジ ブラック（Bk）	
LPCA4KUK1	感光体ユニットキット	感光体ユニット プリントヘッドフィルタ 廃トナーボックス
LPCA4TOR1	定着オイルロール	
LPCA4HTB1	廃トナーボックス	

次の消耗品は、最良の印刷結果を得るための専用の用紙です。
印刷の目的に応じてご使用ください。

型番	商品名
LPCPPA4	EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙（A4 サイズ）
LPCOHPS1	EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シート（A4 サイズ）

上記以外の EPSON 製専用紙、および EPSON 製 OHP シートは本機で使用しないでください。また、他社製プリンタ用の専用紙は本機で使用しないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

消耗品の入手方法

本機の消耗品を購入される場合は、本機を購入された販売店にお問い合わせください。

ETカートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

ETカートリッジについて

本機で使用可能な ET カートリッジは次の通りです。
ET カートリッジは、トナーの色によって 4 種類あります。

●ET カートリッジ（シアン＜ C ＞）　　：型番 LPCA4ETC1C
●ET カートリッジ（マゼンタ＜ M ＞）　：型番 LPCA4ETC1M
●ET カートリッジ（イエロー＜ Y ＞）　：型番 LPCA4ETC1Y
●ET カートリッジ（ブラック＜ Bk ＞）：型番 LPCA4ETC1K

取り扱い上の注意

⚠ 警告

使用済みの ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- ET カートリッジ装着部の色を確認して、同じ色の ET カートリッジを装着してください。
- ETカートリッジのトナーが付いているローラ表面には手を触れないでください。印刷品質が低下します。
- 一度プリンタに取り付けた ET カートリッジは再利用しないでください。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、ET カートリッジを室温に慣らすため 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

保管上の注意

- ET カートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35℃
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みETカートリッジの回収方法については、新しいETカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済みETカートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

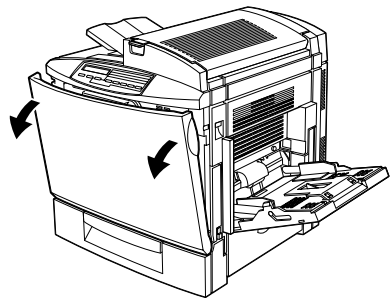
ETカートリッジの交換手順

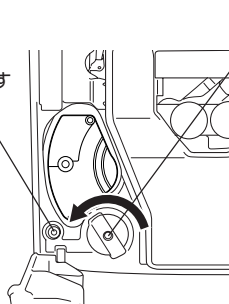
操作パネルの液晶ディスプレイのメッセージを参照して、交換するETカートリッジの色を確認します。

交換が必要なETカートリッジを知らせるメッセージが表示されます。

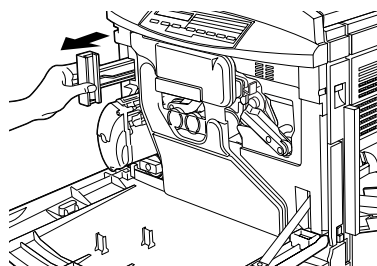
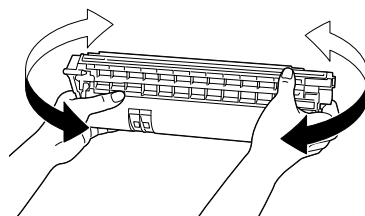
ポイント

ETカートリッジの交換は、電源をオフにしなくても行えます。

2 プリンタ本体の前カバーを開けます。

ETカートリッジの装着口のETカートリッジの色を確認します。

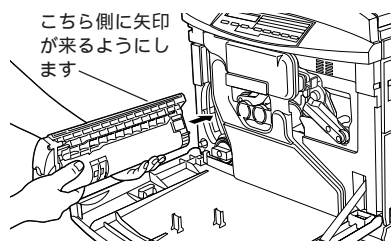
- 交換する色のETカートリッジが装着口の位置にある場合は 4 に進みます。
- 交換する色のETカートリッジが装着口の位置にない場合は、下図の①、②を繰り返して、交換する色のETカートリッジが装着口に来るようにします。

- **ボタンを押さないとノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、ボタンを押してから回してください。**
- **ETカートリッジの取り付け位置が正しい位置で停止しているか必ず確認してください。正規の位置にない場合には、ETカートリッジを抜き差ししないでください。**

左上の取っ手を手前に引き、ETカートリッジを引き出します。

取っ手を手前に引くと、ETカートリッジが装着口から引き出されます。ETカートリッジをまっすぐ引き出します。

新しいETカートリッジを梱包から取り出したら、図のように左右に傾けて7〜8回振り、中のトナーを均一にします。

ETカートリッジのトナーが付いているローラ表面には手を触れないでください。印刷品質が低下します。

6 **ETカートリッジを差込口の形状に合わせて差し込み、奥に当たるまで押し込みます。**

ET カートリッジ側面の矢印の方向に差し込みます。

注 意

ETカートリッジは、しっかり奥まで差し込んでください。装着が不完全な場合は、トナー供給不足やトナー漏れの原因となります。

7 **ほかの色のETカートリッジも交換する場合は、3～6の手順を繰り返して交換を行います。**

プリンタの前カバーを閉じます。

交換が必要なET カートリッジをすべて交換して、前カバーを閉じると自動的に印刷可能な状態に戻ります。またトナー残量のカウンタがリセットされます。

感光体ユニットキットの交換

ここでは、感光体ユニットキットの交換方法を説明しています。

感光体ユニットキットについて

本機で使用可能な感光体ユニットキットは次の通りです。
●感光体ユニットキット：型番 LPCA4KUK1

感光体ユニットキットをご購入いただくと、次の消耗品が含まれています。同時に全て交換してください。

- 感光体ユニット（感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置）
- 廃トナーボックス（印刷時に出る余分なトナーを回収するボックス）
- プリントヘッドフィルタ（こぼれ落ちるトナーからプリントヘッドを守るフィルタ）

取り扱い上の注意

⚠警告

- **使用済みの感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。**
- **使用済みの廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。**

- 感光体（青い円筒部分）の表面は手で触らないでください。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも、感光体ユニットを 5 分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタの外に置く場合は、布などで覆い、光が当たらないようにしてください。
- 感光体表面に傷が付かないよう、作業は平らな机の上で行ってください。
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- プリントヘッドフィルタのガラス面には手を触れないでください。ガラス表面に手の脂が付着すると、印刷品質が低下します。

保管上の注意

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で感光体ユニットを保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35℃
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 感光体ユニットは、高温多湿になる場所には置かないでください。
- 感光体ユニットは、幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

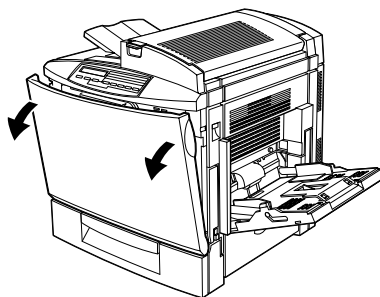
資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。回収方法については、新しい感光体ユニットキットに添付されておりますご案内シートを参照してください。

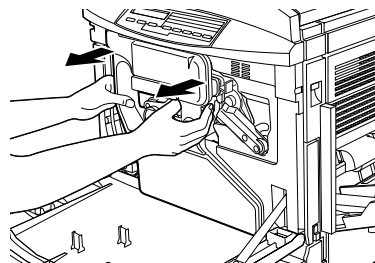
やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

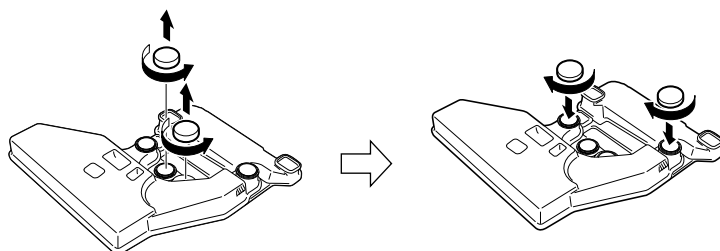
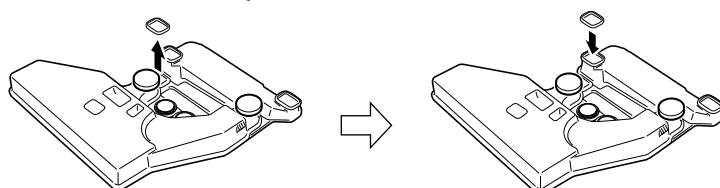
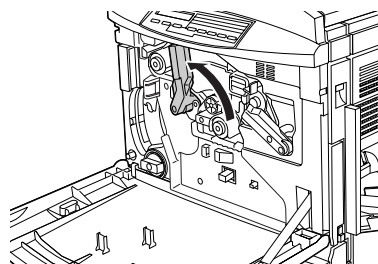
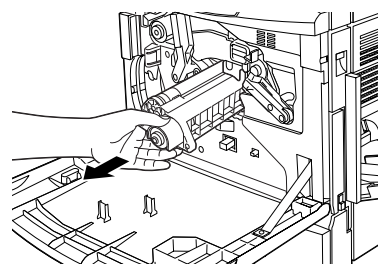
感光体ユニット、廃トナーボックス、プリントヘッドフィルタの交換

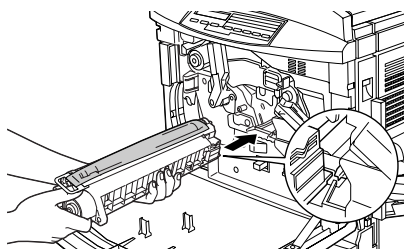
感光体ユニットを交換する際は、廃トナーボックスとプリントヘッドフィルタも同時に交換します。

1. **操作パネルの液晶ディスプレイまたはEPSONプリンタウィンドウ !3のメッセージを確認します。**
   感光体ユニットの交換を促すメッセージが表示されます。

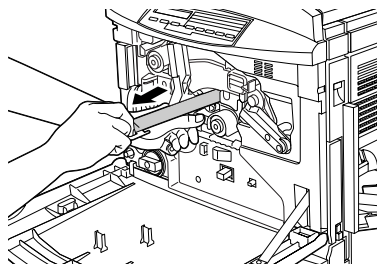
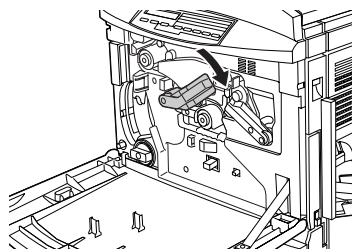
> ポイント
> **感光体ユニットの交換は、電源をオフにしなくても行えます。**

2. **プリンタ本体の前カバーを開けます。**

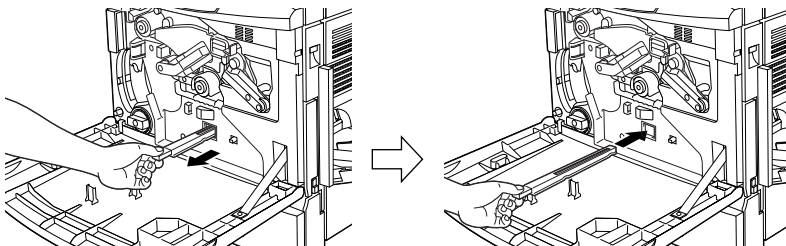
3. **廃トナーボックスを手前に引いて取り外します。**
   真ん中の取っ手または図の位置を持って、廃トナーがこぼれないようにゆっくりと取り外します。

廃トナーがこぼれないようにふたをします。

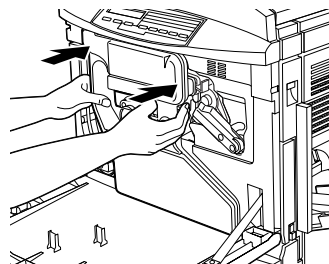
- 取り外した廃トナーボックスは使用しません。
- 廃トナーボックス裏側に付いている丸いふた2個を回して取り外し、それぞれ図の位置に取り付けます。

- 廃トナーボックス裏側に付いている四角いふたを引き抜いて、図の位置にはめ込みます。

正面真ん中の緑のレバーを矢印の方向へ押し上げます。

6 感光体ユニットを手前に引き抜きます。

7 **新しい感光体ユニットを梱包から取り出し、下部のガイドをプリンタのレールに合わせてからまっすぐに押し込みます。**

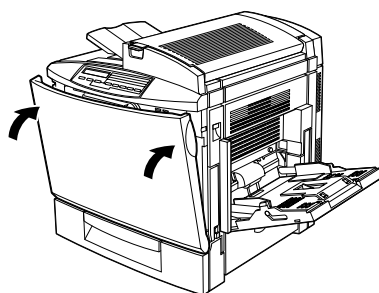
黒い保護シートは、はがさないまましっかりと奥まで押し込んでください。

注意

- 黒い保護シートを外して、感光体（青い円筒形の部分）の表面に手を触れないでください。また物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり傷が付くと、印刷品質が悪くなります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 5 分以上放置しないでください。
- 感光体ユニットのガイドをプリンタ内のレールに正しく合わせて、プリンタの奥までしっかり押し込んでください。その際、保護シートをかぶせた部分を他の部品に強く接触させないよう十分注意してください。

8 **感光体ユニットをプリンタ内部に入れた状態のまま、黄色の取っ手を持って黒い保護シートをゆっくり引き抜きます。**

9 **正面真ん中の緑のレバーを矢印の向きに倒します。**

10 プリントヘッドフィルタを交換します。

- 先端部分を少し押し下げてから、ゆっくり引き抜きます。
- 新しいプリントヘッドフィルタをプリンタの奥までゆっくり差し込みます。

- **プリントヘッドフィルタのガラス面には手を触れないでください。ガラス表面に手の脂が付着すると、印刷品質が低下します。**
- **プリントヘッドフィルタは感光体ユニットの交換が終わってから交換してください。先に交換すると、フィルタ上にトナーが落ち印刷品質が低下するおそれがあります。**

11 新しい廃トナーボックスを取り付けます。

12 プリンタの前カバーを閉じます。

前カバーを閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。また感光体ユニットの寿命算出用カウンタもリセットされます。

前カバーが閉じない場合は、廃トナーボックスがしっかり装着されているか確認してください。

定着オイルロールの交換

ここでは、定着オイルロールの交換方法を説明しています。

定着オイルロールについて

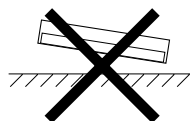
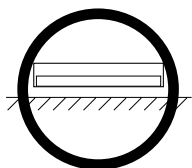
定着オイルロールは、トナーなどの汚れが定着ユニットに付着しないように、定着ユニットにオイルを供給する装置です。本機で使用可能な定着オイルロールは次の通りです。

●定着オイルロール：型番 LPCA4TOR1

取り扱い上の注意

⚠警告

定着オイルロールを交換する場合は、定着器やその周辺部分が十分に冷えてから作業を行ってください。高温のため、火傷の原因となることがあります。

- 定着オイルロールの白いロール部分には直接触れないようにしてください。白いロール部分にはオイルが塗布されています。オイルは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなるため、オイルが手や衣服に付いた場合はすぐに水で洗い流してください。
- 定着オイルロールの白いロール部分に触れたり、傷を付けないように注意してください。オイル漏れの原因となります。また、印刷品質低下の原因となります。
- 定着オイルロールは、常に水平の状態で扱ってください。立てかけたり、斜めにすると、オイルが漏れて印刷品質などに影響が出ます。

保管上の注意

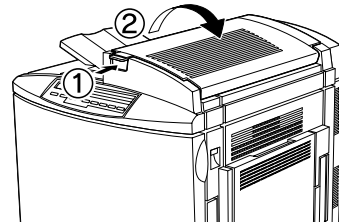
- 定着オイルロールは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で定着オイルロールを保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35℃
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 定着オイルロールは、高温多湿になる場所には置かないでください。
- 定着オイルロールは立てかけた状態で保管しないでください。平らな場所で保管してください。
- 定着オイルロールは、幼児の手の届かないところに保管してください。

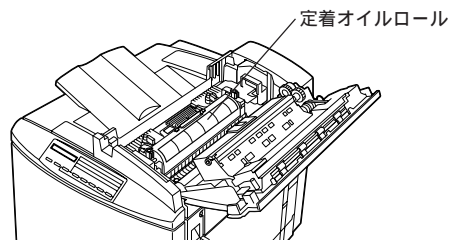
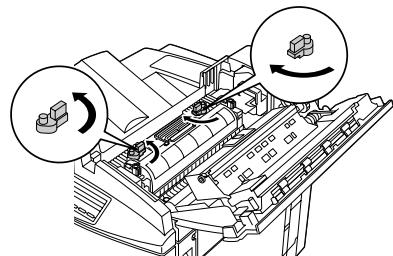
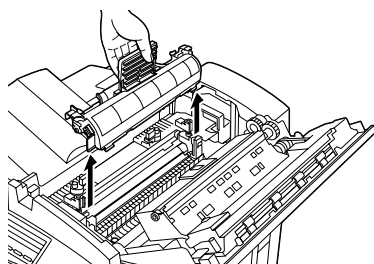
使用済みの消耗品のお取り扱いについて

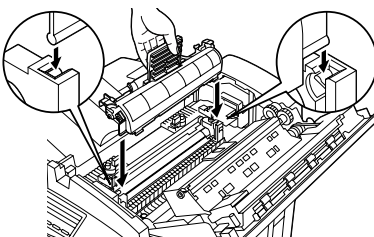
処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

定着オイルロールの交換手順

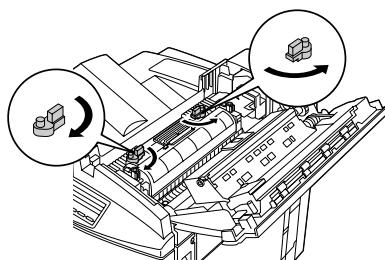
1 **操作パネルの液晶ディスプレイまたはEPSONプリンタウィンドウ !3のメッセージを確認します。**
定着オイルロールの交換を促すメッセージが表示されます。

2 **ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体の上カバー A を開けます。**

⚠注意

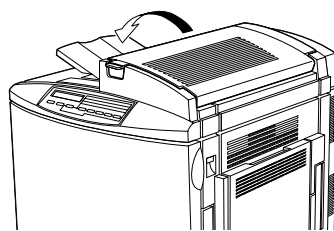
定着オイルロールを交換する場合は、その周辺部分（定着ユニットを含む）が十分に冷えてから作業を行ってください。高温のため、火傷の原因となることがあります。

3 **定着オイルロールを固定している 2 個の緑色のレバーを図の方向に回します。**

定着オイルロールの緑色の取っ手を持って引き上げ、取り外します。

定着オイルロールの表面に手を触れないでください。ロールには、シリコンオイルがしみこんでいます。オイルは人体には無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなるため、オイルが手や衣服に付いた場合はすぐに水で洗い流してください。

新しい定着オイルロールのガイドをプリンタ側の溝に合わせてからゆっくり差し込みます。

6

定着オイルロールを固定する 2 個の緑色のレバーを図の方向に回します。

定着オイルロール側の溝にレバーが合うようにします。

7

プリンタ本体の上カバー A を閉じます。

カバーAを閉じると、定着オイルロール寿命算出用のカウンタがリセットされ自動的に印刷可能な状態に戻ります。

廃トナーボックスの交換

ここでは、廃トナーボックスの交換方法を説明しています。

廃トナーボックスについて

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。本機で使用可能な廃トナーボックスは次の通りです。

●廃トナーボックス：型番 LPCA4HTB1

廃トナーボックスは、感光体ユニットキット（型番 LPCA4KUK1）にも含まれています。感光体ユニットの寿命よりも廃トナーボックスの寿命が先に終わった場合は、廃トナーボックスのみを交換してください。

取り扱い上の注意

⚠警告

使用済みの廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

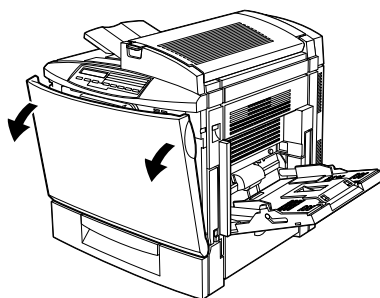
使用済みの廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。

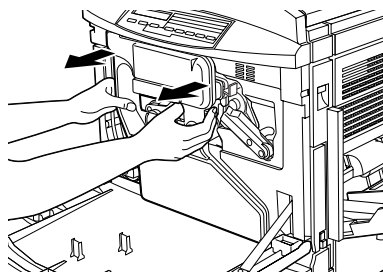
使用済みの消耗品のお取り扱いについて

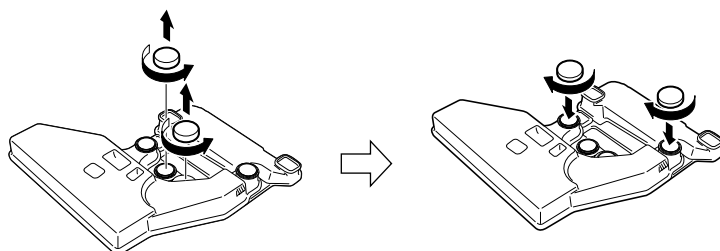
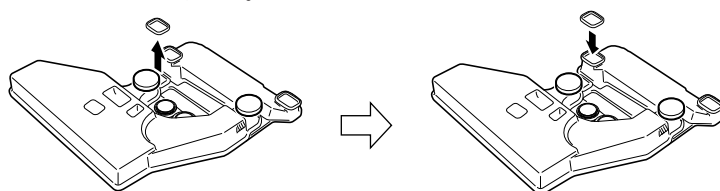
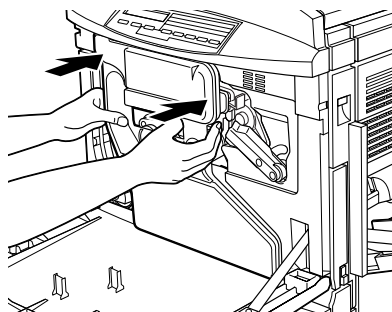
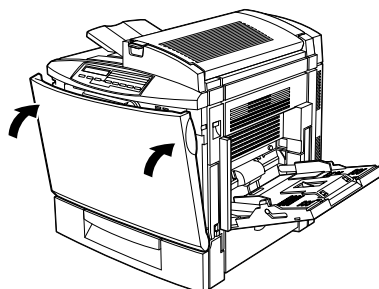
処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

廃トナーボックスの交換手順

1 **操作パネルの液晶ディスプレイまたはEPSONプリンタウィンドウ !3のメッセージを確認します。**
廃トナーボックスの交換を促すメッセージが表示されます。

> ポイント
> **廃トナーボックスの交換は、電源をオフにしなくても行えます。**

2 **プリンタ本体の前カバーを開けます。**

3 **廃トナーボックスを手前に引いて取り外します。**
真ん中の取っ手または図の位置を持って、廃トナーがこぼれないようにゆっくりと取り外します。

廃トナーがこぼれないようにふたをします。

- 廃トナーボックス裏側に付いている丸いふた 2 個を回して取り外し、それぞれ図の位置に取り付けます。

- 廃トナーボックス裏側に付いている四角いふたを引き抜いて、図の位置にはめ込みます。

新しい廃トナーボックスを取り付けます。

プリンタの前カバーを閉じます。
前カバーを閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。

前カバーが閉じない場合は、廃トナーボックスがしっかり装着されているか確認してください。

定期交換部品について

定期的に交換が必要な部品です。各部品の交換時期が近づくと操作パネルの液晶ディスプレイや EPSON プリンタウィンドウ!3 上でお知らせします。

転写ベルトユニット

転写ベルトユニットは、用紙に転写する画像データをトナーで形成する装置です。液晶ディスプレイなどで転写ベルトユニットの交換を促すメッセージが表示されましたら、本機をお買い上げいただいた販売店で転写ベルトユニットをお買い求めください。交換方法につきましては、お買い求めいただいた転写ベルトユニットに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

型番	商品名
LPCA4TBU1	転写ベルトユニット

転写ベルトユニットの交換については、サービスエンジニアによる有償交換サービスも承けたまっています。派遣費用・交換作業費用など詳細につきましては、本機をお買い求めいただいた販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。サービスセンターのお問い合わせ先は、裏表紙をご覧ください。

定着ユニットキット

定着ユニットキットは、用紙にトナーを定着させるための定着ユニットと用紙にトナーを転写するための二次転写ロールがセットになった商品です。液晶ディスプレイなどで定着ユニットの交換を促すメッセージが表示されましたら、保守契約実施店（保守契約されている場合）または本機をお買い上げいただいた販売店にご連絡いただき、定着ユニットキットの交換をご依頼ください。

定着ユニットキットの交換は、弊社の指定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施いたします。お客様による交換や取り外しはしないでください。

第7章

困ったときは

LP-300C Troubleshooting

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらまず、以下の項目をチェックしてください。それでも症状が改善されない場合は、「どうしても解決しないときは」(277ページ)をご覧になりそれぞれのお問い合せ先へご連絡ください。

チェック項目

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選びそれぞれのページをご覧ください。

操作パネルのメッセージ

ステータスメッセージ

プリンタが正常に動作している場合に、現在の状態を表示します。
メッセージはアイウエオ順に記載してあります。

表示・説明	処置
ROM モジュール A　カキコミチュウ	ソケット A の ROM モジュールにデータを書き込み中です。
インサツカノウ	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
エンジン　チョウセイチュウ	良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。 印刷実行中に本メッセージが表示された場合、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了するとメッセージが消え、自動的に印刷を再開します。
エンジン　レイキャクチュウ	OHPシート印刷時にプリンタ内部温度が高すぎると、プリンタの内部機構を冷却します。冷却が完了するとメッセージが消え、自動的に印刷を開始します。
オフライン	印刷データの作成やデータ受信は行いますが、印刷動作を開始しない状態です。 印刷可 スイッチまたは エラー解除 スイッチを押すことにより、現在の状態を表示します。
システムチェック	自己診断と初期化を行っています。
セツデン	操作パネルの階層設定モードで指定した時間が経過し、節電状態になっています。 データの受信、またはリセットで解除されます。
ヨウシハイシチュウ	プリンタ内に残っている印刷データを、排紙 スイッチによって印刷・排紙中です。 （テスト印刷中の表示）
リセット（オール）	リセット（オール）処理中です。
リセットシテクダサイ	印刷実行中にパネル設定を変更しました。以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) リセットまたはリセットオールを行います。直後に変更が反映されますが、印刷データは全て削除されます。 (2) 印刷可 スイッチを押します。印刷実行後に変更が反映されます。

ワーニングメッセージ

何らかの注意、警告を表示します。メッセージが表示された状態でも印刷は可能ですが、以下の説明を参照して、できるだけ早く必要な処置を行ってください。

エラー解除 スイッチを押すことにより、一時的にワーニングメッセージを消すことができますが、電源をオフ / オンすると再度表示されます。

ワーニングメッセージが複数発生している場合は、エラー解除 スイッチを一回押すと次のワーニングメッセージが操作パネルに表示されます。

表示・説明	処置
＊＊＊＊ トナーガ　スクナクナリマシタ 「＊＊＊＊」に表示される色のETカートリッジのトナー残量が少なくなりました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷結果を保つために早めに交換されることをお勧めします。「＊＊＊＊」に表示される色のETカートリッジを新しいものに交換するとメッセージが消えます。
ROMモジュールx フォーマットエラー 書き込み可能で未フォーマットのROMモジュールがソケットxに装着されています。	はじめて書き込むROMモジュールであれば問題ありません。エラー解除 スイッチを押して表示を消してください。書き込み終了後のROMモジュールの場合は、以下の操作を行ってください。 ① エラー解除 スイッチを押して表示を消し、再度書き込みを行います。 ② 再度このメッセージが表示された場合は、ROMモジュールが破損している可能性があります。プリンタの電源をオフにした後、ROMモジュールを取り外します。
オイルロール　コウカン　マヂカ 定着オイルロールの残量が少なくなりました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷結果を保つために早めに交換されることをお勧めします。定着オイルロールを新しいものに交換するとメッセージが消えます。
カイゾウドヲ　オトシマシタ メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。印刷後に表示を消すには、エラー解除 スイッチを押します。 再度印刷するときは、解像度が300dpiになるようプリンタドライバで設定してください。解像度が600dpiで印刷するには、メモリの増設が必要です。
カンコウタイユニット　コウカン　マヂカ 感光体ユニットの寿命が近づきました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷結果を保つために早めに交換されることをお勧めします。感光体ユニット（廃トナーボックス、プリントヘッドフィルタ）を新しいものに交換するとメッセージが消えます。

表示・説明	処置
テイチャクユニット　コウカン　マヂカ 定着ユニットの寿命が近づきました。	定着ユニットの交換時期が近づいています。保守契約店（保守契約されている場合）または販売店に定着ユニットの交換を依頼してください。このままの状態で印刷することができますが、早めに交換されることをお勧めします。
テンシャベルト　コウカン　マヂカ 転写ベルトの寿命が近づきました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷結果を保つために早めに交換されることをお勧めします。保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。
ハイトナーボックス　コウカン　マヂカ 廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。	このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷結果を保つために早めに交換されることをお勧めします。廃トナーボックスを新しいものに交換するとメッセージが消えます。
ブスウシテイ デキマセンデシタ 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリまたはハードディスクの容量が足りないため、1 部だけ印刷します。	プリンタドライバの印刷品質の設定を［標準］にすることで、プリンタが扱う印刷データの量が少なくなり、複数部の印刷が可能になる場合があります。
メモリノ ゾウセツヲ オススメシマス 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。 プリンタドライバの印刷品質の設定を［標準］にすると正常に印刷できることがあります。
ヨウシサイズエラー 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］がシナイに設定されている場合は、エラー解除 スイッチを押します。 ［デバイスメニュー］の［ヨウシサイズフリー］をON に設定しておくことにより、「ヨウシサイズエラー」のメッセージは表示されなくなります。
ヨウシタイプ エラー 印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	操作パネルの設定で、各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。

エラーメッセージ

トラブルの発生を表示します。同時に印刷を停止します。印刷を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。

用紙が詰まったときの対処については、以下のページを参照してください。
☞本書「用紙が詰まったときは」247 ページ
消耗品の交換と定期交換部品については、以下のページを参照してください。
☞本書「消耗品の交換と定期交換部品について」218 ページ

表示・説明	処置
xxxx カートリッジガ　アリマセン 「xxxx」に表示される色のETカートリッジがセットされていません。 **xxxx トナーカートリッジ　コウカン** 「xxxx」に表示される色のETカートリッジがなくなりました。エラー解除スイッチを押すと印刷できますが、交換されることをお勧めします。	「xxxx」にはC、M、Y、Kのいずれかが表示され、取り付けまたは交換が必要なETカートリッジの色を示します。 C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー K：ブラック 表示される色のETカートリッジの取り付け、または交換を行います。続いて前カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。 ☞本書「ETカートリッジの交換」220ページ
HDD エラー オプションのハードディスクユニットにエラーが発生しました。	プリンタの電源をオフにした後、ハードディスクユニットが正しく装着されているか確認します。エラーの表示が消えない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。
I/F カード　エラー 本プリンタでは使用できないインターフェイスカードが挿入されています。	電源をオフにした後、インターフェイスカードを抜きます。
ROM モジュール A カキコミエラー 書き込み不可のROMモジュールに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケットAにROMモジュールが装着されていません。	プリンタの電源をオフにした後、プリンタ背面のカバーを取り外して、ROMモジュールを確認します。
ROM モジュール x リードエラー 本プリンタでは利用できないＲＯＭモジュールがソケットxに装着されています。	プリンタの電源をオフにした後、ROMモジュールを取り外します。 本プリンタで使用可能なROMモジュールかどうか型番などを確認してください。
Service Req　xxxxx サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。オプション品を装着している場合は、それらのオプションが正しく装着されているか、本機で使用可能なものか確認します。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。

表示・説明	処置
オイルロール　ガ　アリマセン オイルロールがセットされていません。または確実にセットされていません。	プリンタ上部のカバーＡを開けてオイルロールの取り付けまたは交換を行います。カバーＡを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。 本書「定着オイルロールの交換」230ページ
オイルロール　コウカン オイルの残量がなくなりました。	
カバー　ガ　アイテイマス 前カバー、カバーA、カバーB、またはカバーDM（オプション両面印刷ユニット装着時）のいずれかが開いています。または確実に閉じていません。	前カバー、カバーA、カバーB、およびカバーDM（両面印刷ユニット装着時）を確実に閉じます。カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
カバーC1　ガ　アイテイマス プリンタのカバーC1（本体右側給紙カバー）が開いています。または確実に閉じていません。	プリンタのカバーC1（本体右側給紙カバー）を確実に閉じます。右カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
カバーC2　ガ　アイテイマス オプションの増設カセットユニット装着時、カバーC2（増設カセットユニットの右側給紙カバー）が開いています。または確実に閉じていません。	増設カセットユニットのカバーC2を確実に閉じます。カバーC2を閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
カミシュガ　タダシクアリマセン OHPシートでない用紙が給紙されたり、OHPシートを指定していないのにOHPシートが給紙されました。	指定した紙種に合わせて正しい用紙をセットしてください。［エラー解除］スイッチを押すと、印刷を再開します。
カンコウタイユニット　ガ　アリマセン プリンタ内部に感光体ユニットがセットされていません。または感光体ユニットが正しくセットされていません。	感光体ユニットの取り付け、または交換を行います。取り付けまたは交換後、カバーを閉じるとエラー状態は解除されます。 交換時は、プリントヘッドフィルタ、廃トナーボックスも同時に交換します。 本書「感光体ユニットキットの交換」224ページ
カンコウタイユニット　コウカン 感光体ユニットの寿命が終わりました。	
サービスヘレンラクシテクダサイ xxxx サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。
ジャム　xxxxx xxxxxの部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。 用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、xxxxxの部分には最大4箇所まで表示されます。	本書「用紙が詰まったときは」（247ページ）を参照して、xxxxxの部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 詰まった用紙を全て取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
センサ　ガ　ヨゴレテイマス エンジン調整用のセンサが汚れています。	プリンタの前カバーを開けて廃トナーボックスを外し、中央左の緑色のレバーを上に回して元の位置に戻します。廃トナーボックスを再度取り付けて前カバーを閉じると、エラーは自動的に解除されます。

表示・説明	処置
テイチャクユニット　ガ　アリマセン プリンタ内部に定着ユニットがセットされていません。または定着ユニットが正しくセットされていません。	定着ユニットが正しくセットされていない、または寿命が終わりました。保守契約店（保守契約されている場合）または販売店までご連絡ください。 ☞本書「定期交換部品について」236 ページ
テイチャクユニット　コウカン 定着ユニットの寿命が終わりました。	
テンシャベルト　ガ　アリマセン プリンタ内部に転写ベルトがセットされていません。または転写ベルトが正しくセットされていません。	転写ベルトの取り付け、または交換をしてください。取り付けまたは交換後、前カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。 ☞本書「定期交換部品について」236 ページ
テンシャベルト　コウカン 転写ベルトの寿命が終わりました。	
ハイトナーボックス　ガ　アリマセン プリンタ内部に廃トナーボックスがセットされていません。	廃トナーボックスの取り付け、または交換を正しく行います。前カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。 ☞本書「廃トナーボックスの交換」233 ページ
ハイトナーボックス　コウカン 廃トナーボックスの空き容量がなくなりました。	
ページエラー　オーバーラン 印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追いつきません。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押します。 (2) リセットまたはリセットオールを行います。 ［デバイスメニュー］の［ページエラーカイヒ］を［ON］にすると、このエラーは発生しにくくなります。 ［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］［スル］にしておくと、一定時間（5 秒）後に、自動的にエラー状態を解除します。
メモリオーバー　メモリガタリマセン 処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できなくなりました。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押します。 (2) リセットまたはリセットオールを行います。再度印刷するときは、プリンタドライバで解像度を300dpiに設定するか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。 ［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5 秒）後に、自動的にエラー状態を解除します。
ヨウシカクニン xxxx yyyy ESC/Pageコマンドでマニュアルフィードモードが指定されたとき、印刷を開始する前に選択された給紙装置 xxxx と用紙サイズ yyyy を表示します。	給紙装置 xxxx にサイズ yyyy の用紙をセットします。 ☞セットアップガイド「用紙のセット」30 ページ エラー解除 スイッチまたは 印刷可 スイッチを押すと、印刷を開始します。

表示・説明	処置
ヨウシコウカン xxxxx yyyy 給紙を行おうとした給紙装置xxxxxにセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ yyyy が異なっています。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］に設定されている場合は、以下の3つのうち、どれかの操作を行ってください（［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 (1) 給紙装置xxxxxにサイズyyyyの用紙をセットします。 セットアップガイド「用紙のセット」30 ページ エラー解除スイッチを押して印刷します。 (2) 用紙を交換しないでエラー解除スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 (3) リセットまたはリセットオールを行います。
ヨウシナシ xxxxx yyyy 以下のような場合に表示されます。 (1) 印刷のために給紙しようとした給紙装置 xxxxx に、用紙がセットされていません。 (2) 全ての給紙装置に用紙がセットされていません。	(1) の場合 給紙装置xxxxxにサイズyyyyの用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。 セットアップガイド「用紙のセット」30 ページ (2) の場合 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。
リョウメンインサツ　デキマセン 用紙のサイズまたは種類が、両面印刷不可能な設定のため、両面印刷の実行を中止します。	操作パネルの［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合、エラー解除スイッチを押します。エラー解除スイッチを押すと、片面印刷で印刷を再開します。 操作パネルの［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［スル］の場合、一定時間（5 秒）後に、片面印刷で印刷を再開します。
リョウメンインサツ　メモリガ　タリマセン オプションの両面印刷ユニットで両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面側が印刷できません。この場合、表面側のみ印刷して排紙します。	操作パネルの［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合、エラー解除スイッチを押します。エラー解除スイッチを押すと、裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され、排紙されます。 操作パネルの［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［スル］の場合、一定時間（5秒）後に、裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され、排紙されます。
リョウメン　ヨウシサイズ　エラー 両面印刷実行時、両面印刷できないサイズの用紙が給紙されたため、裏面側が印刷できません。	プリンタドライバで指定したA4またはLTサイズの用紙をプリンタにセットしてから両面印刷ユニットのカバー DM を開けて、詰まっている用紙を取り除きます。カバーを閉じるとエラーになったデータから印刷を開始します。

サービスコールエラーが表示された場合

サービスコールエラー（「Service Req xxxxx」または「サービスヘレンラクシテクダサイ xxxx」）は次の場合に表示されるエラーメッセージです。

- エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生した場合

サービスコールエラーが表示された場合、プリンタは自動的に印刷を停止します。次の手順に従ってください。

1 プリンタの電源をオフにします。

2 プリンタにオプションを装着している場合、それらのオプションが正しく装着されているか、また本機で使用可能なものかを確認します。

3 プリンタの電源をオンにして、操作パネルに表示されるメッセージを確認します。

4 プリンタの起動後、再び「Service Req xxxxx」または「サービスヘレンラクシテクダサイ xxxx」と表示される場合は、本機を購入された販売店または保守サービス実施店に連絡してください。

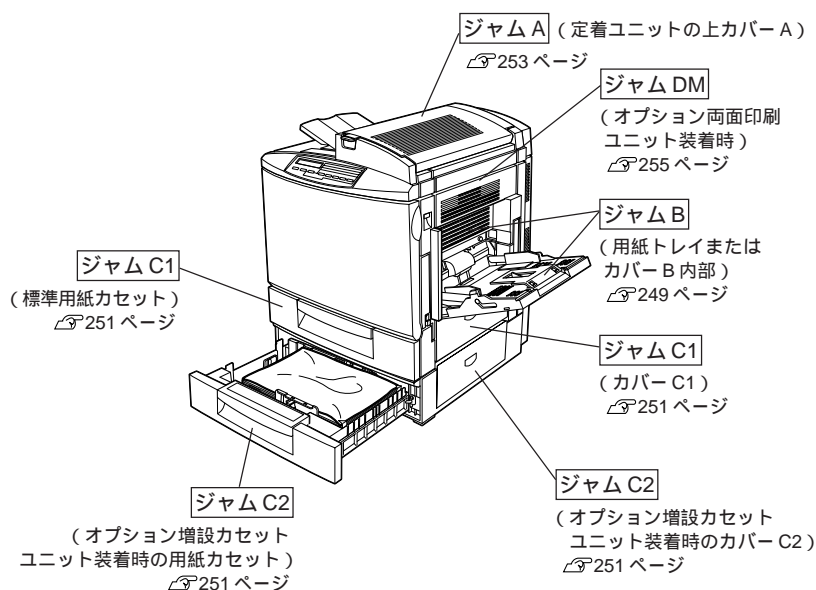
- 「Service Req xxxxx」または「サービスヘレンラクシテクダサイ xxxx」の末尾の英数字は、どんなトラブルが発生したかを示すコードです。サービスコールエラーについて連絡される場合、この数字も必ずお伝えください。
- サービスコールエラーは一度に1つしか表示されません。複数のトラブルが発生している場合、トラブルの対処後にプリンタの電源をオンにすると、次のサービスコールエラーが表示されます。
  トラブルの対処が完了したらプリンタの電源をオンにして、他のサービスコールエラーが表示されていないか確認してください。

用紙が詰まったときは

用紙詰まりのメッセージ

用紙詰まりが発生した場合、どこで用紙が詰まったかを示すメッセージが操作パネルの液晶ディスプレイやEPSONプリンタウィンドウ!3のウィンドウに表示されます。

- ディスプレイメッセージの XXXX の部分には、用紙詰まりが発生した箇所が表示されます。用紙詰まりが複数箇所で発生している場合、XXXXの部分には最大 4 箇所まで表示されます。
- EPSON プリンタウィンドウ!3 の場合は、対処方法 ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順が表示されます。メッセージに従って詰まった用紙を取り除くことができます。

用紙が詰まった場所をメッセージで確認し、詰まった用紙を取り除いてください。詰まった用紙を取り除き、用紙カセットやカバーを閉じると、用紙詰まりの発生したページから、印刷を自動的に再開します。

用紙の取り出しの注意

詰まった用紙を取り除くときは、次の点に注意してください。

- 用紙が破れてプリンタ内部に残らないよう、用紙に無理な力をかけずにゆっくりと引っ張って取り除いてください。
- 用紙を取り除く際に、破れた用紙がプリンタ内部に残ってしまった場合、また本書に記載の方法で取り除くことができない場所に用紙が詰まった場合は、無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約をされている場合）または販売店に連絡してください。
- プリンタ内部には、高温になっている箇所があります。「高温注意」を示すラベルが貼付してあるところには触れないよう注意してください。
- 用紙詰まりのエラー状態は、用紙を取り除いた後、用紙詰まりが発生した箇所のカバーやユニットを開閉することで解除されます。
  用紙カセットや用紙トレイから用紙を引き出して取り除いた場合、エラー状態を解除するために、カバー B を一度開閉してください。
- 排紙口から用紙を引っ張って取り除くことはしないでください。必ずプリンタの上部のカバー A を開けて取り除いてください。

用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、見えない場所で紙詰まりが発生している可能性がありますので、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

ジャムBの場合

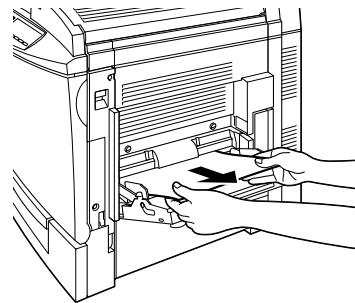
用紙トレイの給紙口またはプリンタの右カバーBの内側で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	ジャム B
EPSON プリンタウィンドウ!3	プリンタ内部で紙詰まりが発生しました。

用紙詰まりの箇所を以下の説明の順番通りに調べ、詰まった用紙を取り除いてください。

用紙トレイの確認

用紙トレイから給紙した場合は、用紙トレイに用紙が詰まっていないか確認してください。

詰まっている用紙を、図のようにゆっくり引き抜きます。

用紙が残っている場合は、セットし直します。

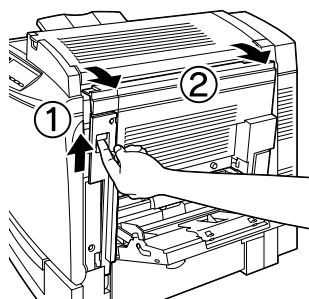
ポイント

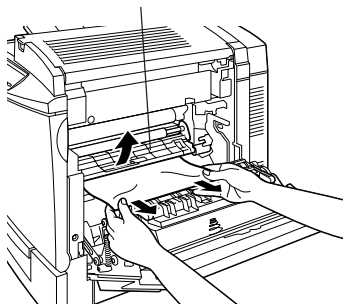
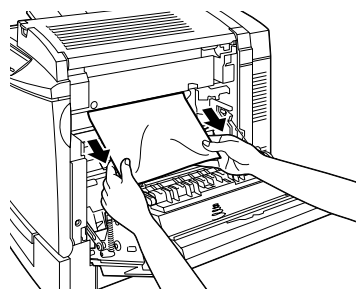
用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、右カバーBを開閉することで解除されます。

詰まった用紙が見つからない場合は、次へ進んでください。

右カバーB内側の確認

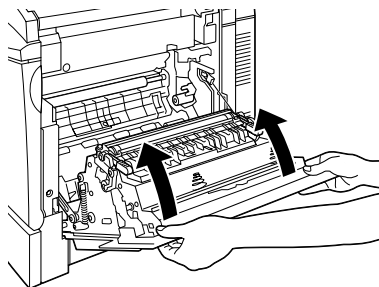
次に、右カバー B 内側を確認します。

ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体の右カバー B を開けます。

詰まっている用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜きます。

内側のパネルを持ち上げてから、
詰まった用紙を引き抜きます

下側で詰まっている場合

上側で詰まっている場合

用紙を取り除く際には、プリンタ内部のローラや転写ベルトに触れないようにしてください。

プリンタ本体の右カバー B を閉じます。

カバーBを閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、右カバーBを閉じることで解除されます。

ジャムC1/C2の場合

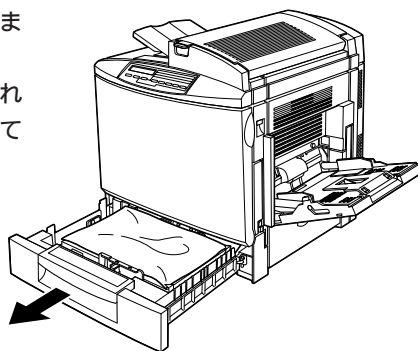
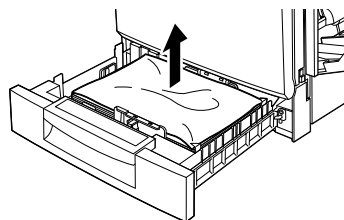
標準用紙カセットやオプションの増設カセットユニットの右側カバーで用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

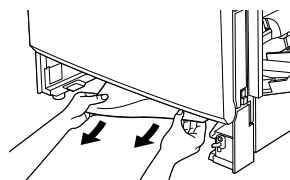
表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ • 標準用紙カセットの右側カバーで詰まった場合	ジャム C1
• 増設カセットユニットの右側カバーで詰まった場合	ジャム C2
EPSON プリンタウィンドウ!3	給紙口で紙詰まりが発生しました。

用紙詰まりの箇所を以下の説明の順番通りに調べ、詰まった用紙を取り除いてください。なお、以下の説明では標準用紙カセットのイラストを使用していますが、オプションの増設カセットユニットの場合も同様の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

用紙カセットの確認

用紙カセットの内部を確認します。

用紙カセットをゆっくり、止まるまで引き出します。
紙詰まりを起こした用紙が破れないように注意して引き出してください。

2 詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。

用紙を取り除く際に用紙が破れてしまった場合、プリンタ内部に紙片が残っていないかを確認して、残っている紙片を取り除いてください。

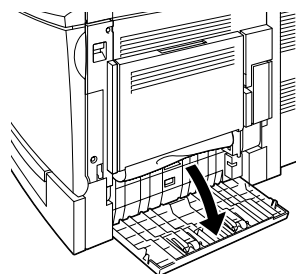
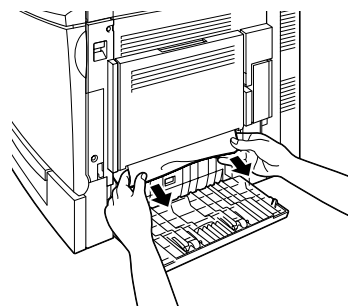
3 **用紙が給紙経路に入り込んでいる場合は、用紙カセットを取り外してから用紙をゆっくり引き抜きます。**

 用紙カセットの用紙をセットし直し、用紙カセットを閉じます。

>
> ポイント
>
> **用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、用紙カセットを閉じることで解除されます。**

詰まった用紙が見つからない場合は、次へ進んでください。

カバーC1/C2の確認

プリンタ本体右側のカバー C1 または増設カセットユニット右側のカバー C2 を確認してください（以下のイラストは標準用紙カセットの場合です）。

 カバー C1 を開けます。

2 **用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

3 **カバー C1 を閉じます。**

>
> ポイント
>
> **用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、カバーC1を閉じることで解除されます。**

用紙詰まりのエラー状態が解除されない場合は、カバーBに用紙が詰まっている場合があります。カバー B を確認してください。

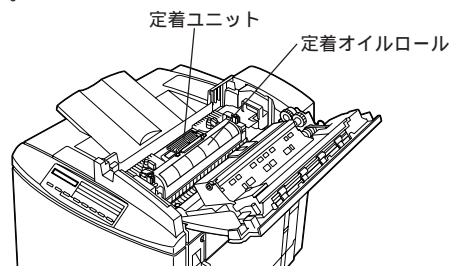
☞本書「右カバー B 内側の確認」250 ページ

ジャムAの場合

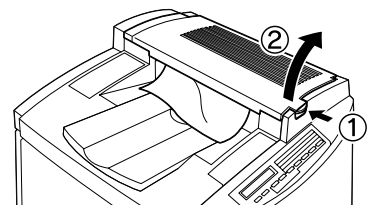
定着ユニット（本体上部）で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

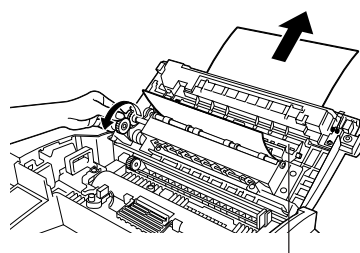
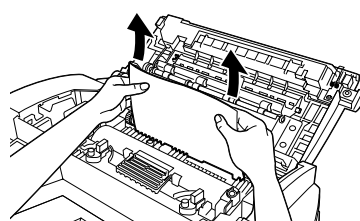
表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	ジャム A
EPSON プリンタウィンドウ!3	排紙部で紙詰まりが発生しました。

⚠ 注意

詰まった用紙を取り除く場合は、定着ユニットの周辺部分（定着オイルロールを含む）が十分に冷えてから作業を行ってください。高温のため、火傷の原因となることがあります。

用紙詰まりの箇所を以下の説明の順番通りに調べ、詰まった用紙を取り除いてください。

排紙される途中で詰まった用紙は、必ず上カバーAを開けて取り除いてください。詰まった用紙を無理に引っ張って取り除かないでください。

1 ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体の上カバー A を開けます。

2 **ギアを回転させて、詰まっている用紙を送り出し、ゆっくりと引き抜きます。**

排紙口に詰まった用紙が見つからない場合は、次へ進んでください。

3 **内部に詰まっている用紙を、矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。**

 上カバー A を閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、上カバーAを閉じることで解除されます。

用紙詰まりのエラー状態が解除されない場合は、カバーBに用紙が詰まっている場合があります。カバー B を確認してください。

☞本書「右カバー B 内側の確認」250 ページ

ジャムDMの場合

オプションの両面印刷ユニットで用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

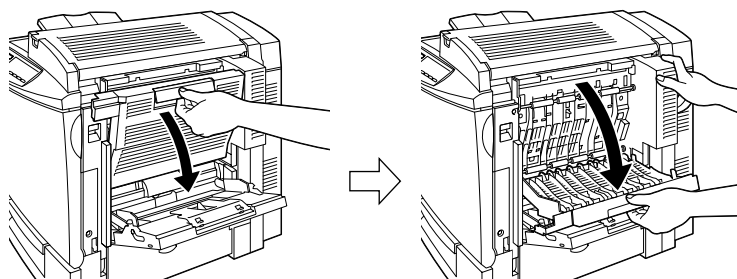
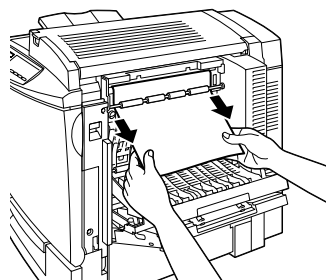
表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	ジャム DM
EPSON プリンタウィンドウ!3	両面印刷ユニット内で紙詰まりが発生しました。

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

用紙トレイを開けます。

両面印刷ユニットのカバーを開けます。

- 両面印刷ユニットの上端にある取っ手を上げると、カバーのロックが解除されます。
- 両面印刷ユニットのカバーをゆっくりと開けます。

ポイント
用紙トレイが開いていないと、両面印刷ユニットのカバーは開けることができません。

詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

両面印刷ユニットのカバーを閉じます。

ポイント
用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、両面印刷ユニットのカバーを閉じることで解除されます。

電源が入らない

プリンタの電源が入らない

電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか?
電源コードをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？
ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか?
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

以上の 3 点を確認の上で 電源 スイッチをオンにしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？
ブレーカの定格が十分であるにも関わらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。
または本機用に専用配線を用意してください。

印刷できない

プリンタとコンピュータの接続を確認します

*1 コネクタ：インターフェイスケーブルの先端と、その先端を差し込むところ。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタ*1とコンピュータのコネクタ側にインターフェイスケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。
（予備のケーブルをお持ちの場合は､差し換えてご確認ください｡）

コネクタのピンが折れたりしていませんか？
コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？
インタフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
☞セットアップガイド「コンピュータとの接続」37 ページ

*2 プリンタバッファ：コンピュータから送られた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

ローカル接続の場合コンピュータとプリンタはケーブルで直結していますか？
プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファ*2および延長ケーブルなどを使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できません。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。

ネットワークの状態を確認します

ほかのコンピュータから印刷できますか？
同じネットワーク上で、本機と接続しているほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。
印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータに問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。
印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。

プリンタの状態を確認します

操作パネルにエラーが表示されていませんか？

プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示を確認します。

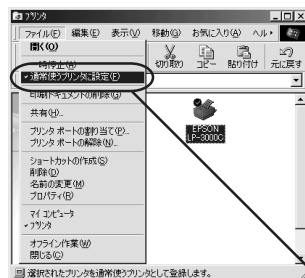
液晶ディスプレイにエラーが表示されている場合は､「操作パネルのメッセージ」の項目を参照し、対処して、印刷可スイッチを押します。

☞本書「操作パネルのメッセージ」239 ページ

プリンタドライバの状態を確認します

LP-3000C用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows

LP-3000C用のWindowsプリンタドライバが､コントロールパネルやアプリケーションソフトで、通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

確認方法

① スタートボタンをクリックしカーソルを［設定］に合わせ、［プリンタ］をクリックします。

②［EPSON LP-3000C］を選択し［ファイル］メニューを確認します。
「通常使うプリンタに設定」にチェックが付いているか確認します。

「通常使うプリンタに設定」にチェックが付いているか確認します。

Macintosh

LP-3000C用のMacintoshプリンタドライバがセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

Ethernet（ネットワーク）接続の場合は［LP-3000C（AT）］を、FireWire 接続の場合は［LP-3000C］を選択してください。

プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログの解像度（Windows）印刷品質（Macintosh）の設定が「高品質」になっていませんか？
設定が「高品質」の場合、解像度600dpiで印刷します。この設定で印刷するとプリンタのメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。
設定を「標準」にすると印刷できる場合があります。

コンピュータの状態を確認します

プリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？
印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows95/98の場合

確認します

1. **スタートボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックして開きます。**
2. **［EPSON LP-3000C］を選択して［ファイル］メニュー内の［一時停止］にチェックがついている場合はクリックして「✔」を外します。**

WindowsNT4.0/2000の場合

確認します

1. **スタートボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックして開きます。**
2. **［LP-3000C］アイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］の［一時停止］をクリックして「✔」を外します。**

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先が合っていますか？
プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。
☞本書「プリンタ接続先の設定（Windows95/98）」99ページ

チェック

Macintoshのシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh用プリンタドライバは、Macintosh本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルのRAMキャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了する､あるいはOS起動時に読み込まれるファイル数を少なくするなどして、メモリの空き容量を増やしてください。

印刷時に必要な空きメモリ容量については、以下のページを参照してください。

☞セットアップガイド「システム条件の確認」50ページ

● Macintoshでのメモリの設定

① アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、その中の「メモリ」を起動します。

② メモリのウィンドウで「ディスクキャッシュ」や「仮想メモリ」の設定を変更します。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」と表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタのランプがエラーを示していないか確認してください。

アプリケーションソフトを確認します

ここでは､トラブルが特定のアプリケーションソフトまたは特定のデータだけに起こるものなのかどうかについて判断します。

違うデータを印刷した場合、またはデータ量が少ない場合は正常に印刷が可能ですか？

データが壊れているなどの理由により、特定のデータだけ印刷ができないという可能性があります。他のデータを印刷することで確認してください。

データ量が大きいときだけ印刷ができない場合は、アプリケーションソフトとメモリの関係、コンピュータのシステムなどに問題がある可能性があります。

もう一度コンピュータを確認します

システム条件を確認しましょう。

お使いのコンピュータのシステム条件によっては、LP-3000C をご利用になれない場合もあります。もう一度システム条件の確認をしてください。

☞セットアップガイド「システム条件の確認」Windows 42 ページ
Macintosh 50 ページ

BIOS の設定を確認してください。

コンピュータのBIOS[*1]システムセットアップのパラレルポートのモード設定が EPP などとなっている場合には、Bi-Directional、Compatible、ECP などに変更してください。

BIOSシステムセットアップの方法は各社・各機種により異なりますので、コンピュータの取扱説明書などを参照して、設定の確認、変更を行ってください。

*1 BIOS：(Basic Input/Output System) コンピュータの基本的な動作を命令するプログラム。

OS は正常に動作していますか？

以下の方法で、簡単なOSのチェック・修復ができます。詳しい方法はそれぞれの取扱説明書などを参照してください。

Windows95/98 の場合

スタート から［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［スキャンディスク］を起動し、Windows が入っているドライブのチェック・修復を行ってください。

WindowsNT4.0/2000 の場合

［マイコンピュータ］の中から、Windows が入っているドライブを選択し、［プロパティ］-［ツール］-［エラーチェック］を行ってください。

Macintosh の場合

漢字 Talk（MacOS）に添付の［DiskFirstAid］を実行することにより、OS のチェック・修復が行えます。詳しくは、漢字 Talk（MacOS）の取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。

以上のことを確認しても、まったく印刷が行えない場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。LP-3000C プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。一度削除（アンインストール）してから再度インストールしてください。

☞ Windows 本書「プリンタソフトウェアの削除」103 ページ
Macintosh 本書「プリンタドライバの削除」156 ページ

用紙に関するトラブル

用紙が詰まった場合は、以下のページを参照して用紙を取り除いてください。
☞本書「用紙が詰まったときは」247 ページ

用紙が詰まる/給排紙されない

チェック

操作パネルにエラーが表示されていませんか？
プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示を確認します。
☞本書「操作パネルのメッセージ」239 ページ

チェック PAPER

本機で使用可能な用紙を使用していますか？
使用可能な用紙を確認してください。
☞本書「用紙について」24 ページ

用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？
用紙を正しくセットしてください。
☞セットアップガイド「用紙のセット」30 ページ

セットした用紙が正しく検知されていますか？
ステータスシートまたは、操作パネルで用紙トレイ／カセットの用紙サイズを確認してください。
☞本書「ステータスシートの印刷」191 ページ
正しく検知されていない場合は、用紙をセットし直してください。
☞セットアップガイド「用紙のセット」30 ページ

特殊紙の場合、用紙トレイにセットしていますか？
特殊紙は、用紙トレイにセットしてください。封筒は、フラップ（閉じ口）を閉じて奥側に向けてください。EPSON 製カラーレーザープリンタ用OHP シートは、シート上の印を確認して、表側を下にしてください。
☞本書「特殊紙への印刷について」34 ページ

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？
給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定を優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

両面印刷ユニットを使用した両面印刷時に、印刷可能な用紙を使用していますか？
両面印刷で使用できる用紙種類、サイズには制限があります。以下のページを参照してください。
☞本書「両面印刷ユニットで使用できる用紙」33 ページ

プリンタは水平な場所に設置されていますか？プリンタの下にははさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

見えない場所で、紙詰まりが発生していませんか？
用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、見えない場所で紙詰まりが発生している可能性があります。保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

改ページ命令がアプリケーションソフトから送られていますか？
アプリケーションソフトによっては、データの最後に改ページ命令をださないものもあります。印刷可 スイッチを押して 印刷可 ランプを消してから 排紙 スイッチを押してください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙同士がくっついていませんか？
用紙をよくさばいてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

印刷の途中で用紙が排紙されてしまう

インターフェイスタイムアウトの設定が短くありませんか？
パネル設定でインターフェイスタイムアウトの設定を長くしてください。
☞本書「キョウツウメニュー」172 ページ

カラー印刷に関するトラブル

カラー印刷ができない

プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか？
Windowsの場合、プリンタドライバの［基本設定］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログで［色］が［黒］に設定されているとカラー印刷ができません。
Macintoshの場合、プリンタドライバの［プリント］ダイアログで［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。
設定を確認してください。
☞本書 Windows「［基本設定］ダイアログ」50 ページ
☞本書 Macintosh「［プリント］ダイアログ」129 ページ

ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？
ソフトウェア上でカラーデータになっているか確認してください。

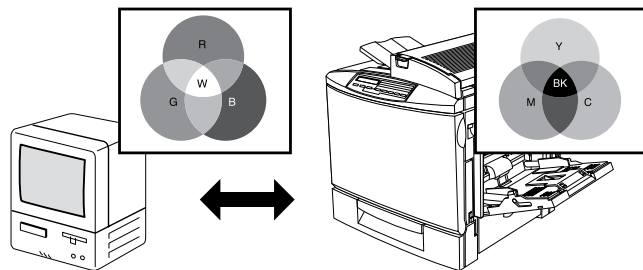
従来機種と色合いが異なる

プリンタドライバの初期設定値およびカラーテーブルの違いによる差です。
プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログの［ガンマ］を［1.5］にして印刷してみてください。それでも異なる場合は、スライドバーで微調整してください。
☞本書「［詳細設定］ダイアログ」Windows　56 ページ
Macintosh　136 ページ

モノクロデータの色合いが意図した結果にならない

［カラー / モノクロの自動判別を行う］機能を有効にしていませんか？
モノクロデータの印刷結果は、［カラー / モノクロの自動判別を行う］機能の使用 / 不使用および［色］で［黒］を選択などの条件によって変わります。［カラー / モノクロの自動判別を行う］機能を無効にして印刷してみてください。
☞ Windows 本書「［拡張設定］ダイアログ」76 ページ
☞ Macintosh 本書「拡張設定アイコン」133 ページ

画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。
ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。
テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる3色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3色全てが光っている状態が白となります。
一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのがもちろん白で、3色を均等に混ぜた状態が黒になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows95/98/2000）や ColorSync（Macintosh）です。
☞ 本書「より高度な色合わせについて」12 ページ

システム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）
ColorSyncが正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。
☞本書「ColorSync について」154 ページ

プリンタドライバのオートフォトファイン!4を有効にしていませんか？
オートフォトファイン!4 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン!4を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。
☞本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows 56 ページ
Macintosh 136 ページ

普通紙を使用していませんか？
カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお勧めします。

中間調の文字や、細い線がかすれる

[階調優先]（スクリーン線数165lpi）/ [自動] に設定していませんか？
細い線や細かい模様などを再現する場合には、[解像度優先] に設定してください。
☞本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows 56 ページ
Macintosh 136 ページ

色むらが生じる

[解像度優先]（スクリーン線数268lpi）/ [自動] に設定していませんか？
微妙な色合いを再現する場合には、[階調優先] に設定してください。
☞本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows 56 ページ
Macintosh 136 ページ

印刷結果に関するトラブル

設定と異なる印刷をする

パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

画面と異なるフォント/文字で印刷される

TrueType フォントをプリンタフォントに置換していませんか？

プリンタドライバで TrueType フォントをプリンタフォントに置換しないように設定してください。

- Windows
  ［環境設定］-［拡張設定］で［TrueType フォントでそのまま印刷］をクリックします。
  ☞本書「[拡張設定］ダイアログ」76 ページ
- Macintosh
  ［プリント］ダイアログ［プリンタフォント使用］の［欧文フォント］［漢字フォント］のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。
  ☞本書「[詳細設定］ダイアログ」136 ページ

プリンタモードの設定が間違っていませんか？

通常は「ジドウ」モードに設定してください。

☞本書「プリンタモードメニュー」175 ページ

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？
アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定を合わせてください。
☞Windows 本書「[基本設定］ダイアログ」50 ページ
☞Macintosh 本書「[用紙設定］ダイアログ」124 ページ

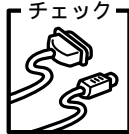
用紙ガイドは正しくセットしていますか？
用紙カセットや用紙トレイの用紙ガイドを正しくセットしていないと、プリンタが用紙サイズを把握できなかったり、用紙がまっすぐに送られないために正しく印刷されません。

罫線が切れたり､文字の位置がずれる

アプリケーションソフトで「LP-3000C」を使用するプリンタに設定していますか？
各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタを「LP-3000C」に設定してください。

ESC/PS モードで印刷する場合、右マージンの設定が適切でない場合があります。
パネル設定で［ESC/PSカンキョウメニュー］の「ミギマージン」設定を修正してください。
☞本書「ESC/PS カンキョウメニュー」186 ページ

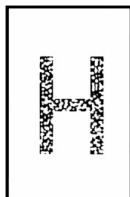
ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？
パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。
☞本書「インサツメニュー」176 ページ

文字化けが発生する

インターフェイスケーブルが正しく接続されていますか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線しているか、変に曲がっていないかを確認してください。
（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください）

WindowsNT4.0をご使用の場合に、スプールの方法について設定を変更してみてください。
［プリンタ］フォルダでLP-3000Cを右クリックして［プロパティ］を選択します。［スケジュール］のタブをクリックしてから、スプールの設定を［全ページスプールしてから、印刷データをプリンタに送る］に変更します。

ステータスシートが正しく印刷できますか？
プリンタドライバや操作パネルからステータスシートが正しく印刷されているか確認してください。
ステータスシートが正しく印刷されない場合はプリンタが故障している可能性があります。保守契約店（保守契約している場合）または販売店にご連絡ください。
☞本書「ステータスシートの印刷」191ページ

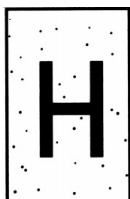
印刷品質に関するトラブル

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

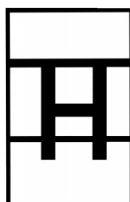
感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞本書「感光体ユニットキットの交換」224 ページ

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。
☞本書「ET カートリッジの交換」220 ページ

トナーセーブ機能を使用していませんか?
トナーセーブ機能を解除してください。
☞本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows　56 ページ
Macintosh　136 ページ

汚れ(点)が印刷される

使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「用紙について」24 ページ

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。
☞本書「感光体ユニットキットの交換」224 ページ

周期的に汚れがある

プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。
☞本書「感光体ユニットキットの交換」224 ページ

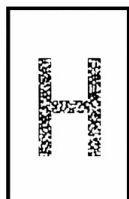
定着オイルロールが汚れている可能性があります。
新しい定着オイルロールと交換してください。
☞本書「定着オイルロールの交換」230 ページ

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」24 ページ

厚紙を使用中に、設定が厚紙になっていません。
プリンタドライバで［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。
☞Windows 本書「［基本設定］ダイアログ」50 ページ
☞Macintosh 本書「［プリント］ダイアログ」129 ページ

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」24 ページ

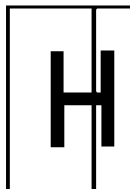
用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
用紙トレイの場合は、表（印刷）面を下に向けてセットしてください。
用紙カセットの場合は、表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
☞ 本書「ET カートリッジの交換」220 ページ

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎています。
新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書「感光体ユニットキットの交換」224 ページ

縦線が印刷される

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞本書「感光体ユニットキットの交換」224 ページ

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞本書「感光体ユニットキットの交換」224 ページ

裏面が汚れる

用紙経路が汚れています。
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

きれいに印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞本書「[詳細設定］ダイアログ」Windows　56 ページ
Macintosh　136 ページ

［RIT］機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

☞本書「[詳細設定］ダイアログ」Windows　56 ページ
Macintosh　136 ページ

解像度が［標準］（300dpi）に設定されていませんか？

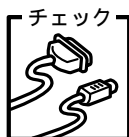
解像度を［高品質］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、解像度を［標準］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

☞本書 Windows「[基本設定］ダイアログ」50 ページ
☞本書 Macintosh「[プリント］ダイアログ」129 ページ

EPSONプリンタウィンドウ!3でのトラブル

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか?
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオンにします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか?
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。
(予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。)

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか?
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
☞セットアップガイド「コンピュータとの接続」37 ページ

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか?(ローカル接続時)
☞本書「プリンタ接続先の設定(Windows95/98)」99 ページ

EPSONプリンタウィンドウ!3を削除(アンインストール)できない

他のソフトウェアが起動していませんか?
他のソフトウェアが起動しているとEPSONプリンタウィンドウ!3は削除(アンインストール)できません。ソフトウェアの中には、実際の動作が画面に表示されていなくても起動している場合もありますので、各ソフトウェアの取扱説明書に従って終了させてください。

上記以外のトラブルについては、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM 内の Readme ファイルを参照してください。

その他のトラブル

印刷に時間がかかる

TrueType フォントを使用して印刷していませんか？

TrueTypeフォントはグラフィックとして処理されますので、印刷が遅くなる場合があります。TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷してください。

☞本書 Windows「True Type フォントをプリンタフォントに置き換える」78 ページ

☞本書 Macintosh「フォント設定の手順」126 ページ

節電機能を使用していませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。不要な場合は、節電機能を使用しないでください。

☞本書「節電の設定方法」190 ページ

「エンジンチョウセイチュウ」と表示されていませんか？

画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時などには、良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。

自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

☞本書「EPSON プリントモニタ!3」152 ページ

ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？

処理時間のかかる大きなサイズの画像データを印刷する場合は、プリンタのメモリの増設をお勧めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。

Windows共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する

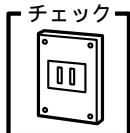
IPX/SPX互換プロトコルが組み込まれているコンピュータに接続されたWindows共有プリンタへ印刷を実行すると通信エラーが発生することがあります。
この場合は、サーバ側クライアント側それぞれに以下の手順を実行してください。

サーバ側	① ネットワークコンポーネントから［IPX/SPX互換プロトコル］を削除します。（Windows95/98のみ） ② EPSONプリンタウィンドウ!3の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックを付けます。
クライアント側（Windows95/98のみ）	① ネットワークコンポーネントから［IPX/SPX互換プロトコル］を削除します。

セレクタに使用するプリンタドライバが表示されない

AppleTalkネットワークゾーンの設定が違います。
プリンタの接続されているゾーンを設定してください。

QuickDraw GXを使用していませんか。
漢字Talk7.5以降のQuickDraw GXは使用できません。QuickDraw GXを使用停止にしてください。
☞セットアップガイド「システム条件の確認」50ページ

周辺の電化製品やパソコン機器に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？
電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、パソコンがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。本機と蛍光灯、パソコンなどが接続されている電源ラインを分離してください。
（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします。）

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

操作パネルからステータスシートが印刷できますか？
☞ セットアップガイド「動作の確認」35 ページ

- **印刷できる** →

  プリンタ本体は正常に動作しています。コンピュータからステータスシートが印刷できますか？
  ☞ セットアップガイド「ステータスシートの印刷」
  Windows　48 ページ
  Macintosh　56 ページ

  - **できる** → **エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。** インフォメーションセンターのご相談先は本書裏表紙に記載されています。
  - **できない** → **ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。ネットワーク接続でお使いの場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。**

- **印刷できない** →

  プリンタ本体のトラブルです。保守契約されていますか？

  - **している** → **保守契約店にご相談ください。**
  - **していない** → **「保守サービスのご案内」をご覧ください。**
    ☞ 本書「保守サービスのご案内」288 ページ

ポイント
お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

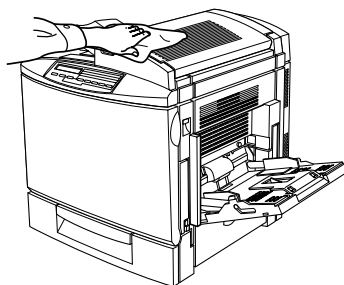
付録

LP-300C Appendix

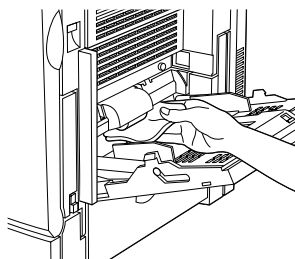
プリンタの清掃

プリンタ本体のクリーニング

- プリンタの清掃は、電源をオフにしてコンセントから電源コードを抜いたあとで、行ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷がつくおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて堅くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

給紙ローラのクリーニング

適切な用紙を使用しているにもかかわらず給紙不良が発生する場合は、下図に示す給紙ローラの汚れを拭き取ってください。

用紙トレイを開き、水を含ませて堅くしぼった布で、ていねいにローラを拭いてください。

- 給紙ローラをクリーニングしても給紙しない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。
- 給紙経路（用紙トレイや用紙カセット内部、フェイスダウントレイ）を拭いた場合、乾いたことを確認してから使用してください。

プリンタの移動

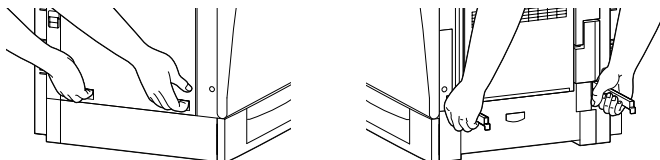
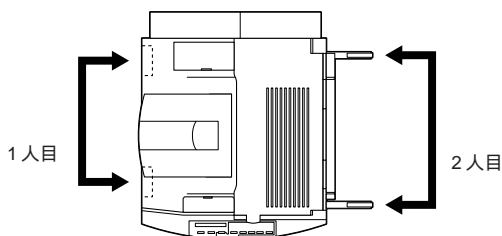
プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

近くへの移動

はじめに本機の電源をオフにして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ、用紙カセット内の用紙

⚠注意

- **プリンタ本体は、背面側の方が正面側より重くなっています。プリンタ本体を持ち上げる際に、重さの違いに注意してください。**
- **本製品を持ち上げる際は必ず2人以上で作業を行ってください。
本製品の重量は、消耗品を含め約44.5Kgです。
プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ左側の下部にある取っ手（くぼみの部分）に手をかけ、右側のバーを引き出して持ち上げてください。
他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。
またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。**

- **プリンタ本体を持ち上げる場合、十分にひざを曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。**
- **プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。
転倒などによる事故の原因となります。**
- **プリンタ本体をキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合、必ずキャスターを固定して台が動かないようにしてから作業を行ってください。作業中に台が思わぬ方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。**

運搬するときは

本機を輸送する場合、はじめに本機の電源をオフにして、以下の付属品を取り外してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ、用紙カセット内の用紙
- ET カートリッジ（4 色とも）
- 感光体ユニット
- 定着オイルロール
- 廃トナーボックス
- オプション増設カセットユニット（装着時）
- オプション両面印刷ユニット（装着時）

震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

購入時にプリンタ内部に取り付けられていた保護材も必ず取り付けてください。

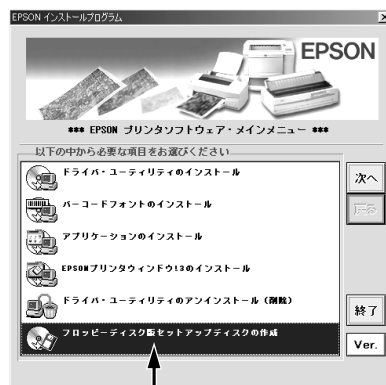
フロッピーディスクについて（Windows）

添付のプリンタドライバは、CD-ROMでご提供しております。3.5インチのフロッピーディスクをご希望のお客様は、以下の手順で、セットアップディスク作成ユーティリティを使用してフロッピーディスクを作成してください。

ポイント

セットアップディスク作成ユーティリティは、お使いのコンピュータにCD-ROMドライブがなくても、お近くにCD-ROMとフロッピーディスクを使用できるコンピュータがあれば、プリンタドライバ・セットアップディスクを作成できるユーティリティです。

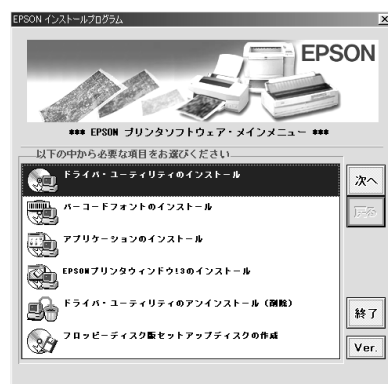
1 EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。

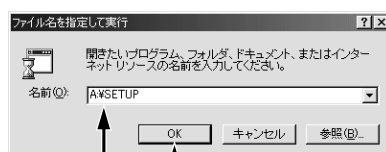
2 ［フロッピーディスク版セットアップディスクの作成］をダブルクリックします。

ダブルクリックします

3 この後は、画面の指示に従ってディスクを作成してください。

フロッピーディスクでのインストール

フロッピーディスクをご利用の場合、同梱されておりますセットアップガイドの説明とインストールの手順が多少異なります。以下の説明とセットアップガイドを併せてご覧いただき、インストールを実行してください。

フロッピーディスクをご利用の場合、プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM の代わりに「セットアップディスク1」をセットします。ただし、「セットアップディスク 1」をセットしても右記の画面は表示されません。以下の手順に従ってください。

1 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。**

2 **セットしたドライブ名と実行コマンド「SETUP」を半角文字で入力して、OK ボタンをクリックします。**

セットしたドライブ	入力
A ドライブ	A:\SETUP
B ドライブ	B:\SETUP
:	:
:	:

この後は、画面の指示に従ってください。

ポイント

フロッピーディスクをご利用の場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 はインストールされません。プリンタドライバと同様にセットアップディスクを作成してインストールを実行してください。

プリンタドライバのバージョンアップ

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

*1 BBS：(Bulletin Board System) パソコン通信上の電子掲示板サービス。

*2 ダウンロード：ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

- パソコン通信をご利用の方は、下記BBS[*1]よりダウンロード[*2]が可能です。

  @nifty：EPSON Information Forum　　（コマンド GO□FEPSONI）
  □は、半角スペースです。

  *@nifty（アットニフティ）会員のうち、旧NIFTY SERVE会員のみ利用可能

- インターネットの場合は、次のWWWサーバでダウンロードできます。

  【サービス名】ドライバダウンロードサービス
  【アドレス】　http://www.i-love-epson.co.jp

- CD-ROMでの郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承けたまっております。

各種ドライバの最新バージョンについては、EPSON FAXインフォメーションにてご確認ください。FAXインフォメーションの詳細については、本書の裏表紙にてご案内しております。

インストール手順

*1 圧縮：
1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：
圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

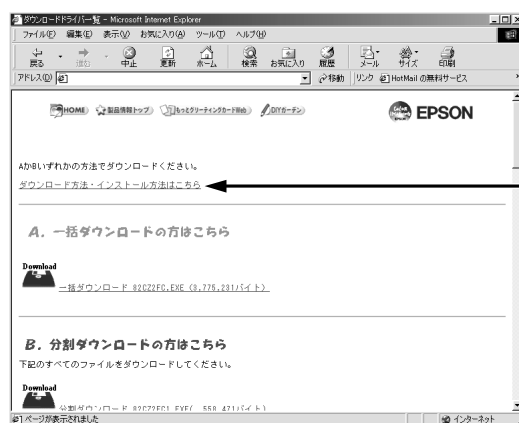
ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮[*1]ファイルとなっていますので、次の手順でファイルを解凍[*2]してからインストールしてください。

ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows 本書「プリンタソフトウェアの削除」103 ページ
Macintosh 本書「プリンタドライバの削除」156 ページ

プリンタドライバをハードディスク内のディレクトリへダウンロードします。

［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックし、表示されるページを参照して、解凍とインストールを実行してください。

画面はインターネットエクスプローラを使用して
エプソン販売のホームページへ接続した場合です。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

エプソンFAXインフォメーション

EPSON製品に関する最新情報を24時間、FAXでお引き出しいただけます。FAX付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。

FAX 番号　：☞本書裏表紙をご覧ください。
情報内容　：製品情報（カタログ、機能概要）
　　　　　　技術情報（Q&A など）
　　　　　　パソコンスクール、サービスセンター情報など

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間　：☞本書裏表紙をご覧ください。
電話番号　：☞本書裏表紙をご覧ください。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。
また、プリンタドライバは、エプソン販売（株）WWW サーバおよびパソコン通信による提供が行われています。最新プリンタドライバを組み込む場合は、ダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、SETUP.EXE を実行してインストールしてください。

■インターネット
　エプソン販売 WWW SERVER　：http://www.i-love-epson.co.jp
　　　　　　　　　　　　　　　（ドライバダウンロードサービス）
■パソコン通信名
　@nifty ： EPSON information Forum（コマンド：GO□FEPSONI）
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□は、半角スペースです。
　*@nifty（アットニフティ）会員のうち、旧 NIFTY SERVE 会員のみ利用可能

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）所在地およびオープン時間などにつきましては、本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせは本書裏表紙をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定にまちがいがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。保証書は、お客様（販売店様）からお送りいただきました「保証書発行請求書」のお客様情報を登録させていただいた後、設置日より1年間有効の保証書を発行いたします。
なお、「保証書発行請求書」を返送されない場合、または必要事項の記入漏れなどがございますと、保証書が発行できず、万一の故障の場合でも、有償修理となり、各種サービス・サポートが受けられませんので、必ずご返送くださいますようお願いいたします。保証書は大切に保管してください。

保守サービスの受け付け窓口

LP-3000Cを快適にご使用いただくために、年間保証契約の締結をお勧めします。詳細については、ご購入いただきました販売店にお問い合わせください。
保守サービスのご相談、お申し込みは、保証書に記載の「サービス実施店」、または、次のいずれかで承ります。

■お買い求めいただいた販売店
■エプソンフィールドセンター/エプソンサービスセンター/エプソン修理センター
　電話番号 ： ☞本書裏表紙をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。
• 定期点検（別料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
＊消耗品（ETカートリッジ、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に「保守契約登録票」を製品に添付していただきます。
＊消耗品（ETカートリッジ、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障の発生した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>機種によっては出張費用がかかります。</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後、そのつどお支払いください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込／送付修理</td><td>• 故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。
• お持ち込みまたは送付の際は、必ず巻末の「修理依頼票」を製品に添付してください。
• 「修理依頼票」は修正箇所をすばやく的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドアtoドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りに伺うサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドアtoドアサービス料金とは別に修理代金がかかります。</td><td>有償
（ドアtoドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドアtoドアサービス料金＋修理代）</td></tr>
</table>

- 詳細につきましては、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンフィールドセンター / エプソンサービスセンターまたは、エプソン修理センターまでお問い合わせください。
- 一部大型機種製品につきましては、一般輸送が不可能なものもありますので、出張修理をお勧めいたします。

持込/送付修理をされる方へ

持込 / 送付修理をされる場合は、巻末の「修理依頼票」をコピーして、必要事項をご記入のうえ必ず製品に添付してください。「修理依頼票」は修理箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。

コントロールコードについて

コントロールコードの詳細は、以下のリファレンスマニュアルをご覧ください。なお、以下のマニュアルにつきましては、エプソンインフォメーションセンターまたは本機をご購入いただいた販売店までお問い合わせください。

ESC/Pageコントロールコード

ESC/Page コントロールコードについては、「ESC/Page リファレンスマニュアル」をご覧ください。
機種固有情報については、「LP-9200」の項目を参照してください。

商品名
ESC/Page リファレンスマニュアル（モノクロ印刷のコードのみ）

ESC/Pコントロールコード

ESC/P コントロールコードについては、「ESC/P リファレンスマニュアル-第 2 版」をご覧ください。
LP-3000C は ESC/P J84 に分類されます。

商品名
ESC/P リファレンスマニュアル

プリンタの仕様

プリンタの仕様について記載しています。参照資料としてお役立てください。

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分トナー電子写真方式
解像度	600dpi
プリントモード	B/W モード　：黒のトナーのみを使用するモノクロ印刷モード 最高の速度で印刷を行う カラーモード　：4 色（イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック）のトナーを使用するカラー印刷モード
スピードモード	標準モード　：各プリントモードの最高の速度で印刷を行う 半速モード [*1]　：90g/m² を超える厚紙と封筒および OHP シートへのトナーの定着性を維持ために減速して用紙を搬送する
ウォームアップタイム	150 秒以内（22℃、定格電圧にて）
稼働音	稼働時　：55dB（A）以下 待機時　：41dB（A）以下

*1 以下の場合に、プリンタは半速モードを選択して印刷します。
- 用紙サイズにハガキ、洋形 0、4、6 号を選択した場合。
- ユーザ定義サイズで用紙長を 210mm 未満に設定した用紙を選択した場合。
- 用紙種類に OHP シート、ラベル、厚紙を選択した場合

プリント速度

（PPM= 枚 / 分）

プリントモード	スピードモード	片面印刷時		両面印刷時 *
		A4, LT, A5, B5	ハガキ	A4, LT
B/W モード	標準モード	20PPM	–	13PPM
	半速モード	3.8PPM	3.8PPM	–
カラーモード	標準モード	5PPM	–	5PPM
	半速モード	2.4PPM	2.4PPM	–

* 両面の印刷速度は、ページ（面）/ 分を表しています。

ファーストプリント

プリントモード	スピードモード	片面印刷時			両面印刷時
		A4	LT/B5	A5	A4/LT
B/W モード	標準モード	16 秒	16 秒	16 秒	25 秒
	半速モード	29 秒	28 秒	28 秒	–
カラーモード	標準モード	25 秒	25 秒	25 秒	37 秒
	半速モード	38 秒	38 秒	37 秒	–

必要メモリ量

	印刷サイズ	解像度	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	標準	32MB	32MB
		高品質	32MB	64MB
両面	A4	標準	32MB	32MB
		高品質	32MB	64MB

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990 準拠	
書体	欧文	ローマン、サンセリフ Windows 対応 TrueType 互換 14 書体 • DutchTM 801 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • SwissTM 721 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • Courier (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • Symbol • More WingBats
	和文	明朝、ゴシック

用紙関係

給紙方法	用紙トレイまたは用紙カセットユニットによる自動給紙	
用紙容量	用紙トレイ	• 普通紙またはEPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙(60〜90g/m²):150枚(または18.5mm) • ラベル紙、EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート、厚紙（91〜163g/m²)、官製ハガキ：50枚 • 封筒：10枚
	用紙カセット（標準）	• 普通紙またはEPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙(60〜90g/m²):500枚（または55mm)
	増設カセットユニット *	
排紙方法	フェイスダウン	
排紙容量	フェイスダウン：500枚（A4/LT, 80g/m²)	

* はオプション

用紙の種類

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字チェックをしてください。

普通紙	• 60〜90g/m² • 一般に適用しているコピーペーパー、再生紙 • EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙
特殊紙 （用紙トレイからのみ給紙できます）	• ラベル紙 • カラーペーパー • 官製ハガキ • 封筒 • EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート * • 厚紙（91〜163g/m²)

* OHPシートは、このOHPシートのみ使用可能です。

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ			用紙トレイ	用紙カセット*1	増設カセット*2	両面印刷*3
A4		210×297mm	○*4	○*4	○*4	○
A5		148×210mm	○*4	−	−	−
B5		182×257mm	○*4	−	−	−
Letter(LT)		215.9×279.4mm(8.5×11インチ)	○*4	○*4	○*4	○
Half-Letter(HLT)		139.7×215.9mm(5.5×8.5インチ)	○*4	−	−	−
Executive(EXE)		184.15×266.7mm(7.25×10.5インチ)	○*4	−	−	−
Government Letter(GLT)		203.2×266.7mm(8×10.5インチ)	○*4	−	−	−
官製ハガキ		100×148mm	○*4	−	−	−
封筒*5	洋形0号	120×235mm	○*4	−	−	−
	洋形4号	105×235mm	○*4	−	−	−
	洋形6号	98×190mm	○*4	−	−	−

*1 標準の用紙カセットです。
*2 オプションの増設カセットユニットの用紙カセットです。
*3 オプションの両面印刷ユニット装着時です。
*4 用紙の給紙方向に対して縦長になる向きでセットします。
*5 封筒は、フラップ（閉じ口）を閉じた状態で奥側にしてセットします。

印刷可能領域

印刷可能領域は、印刷の実行のみを保証する領域。
用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能。

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名　称		a	b	c	d	e	f
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
封筒	洋形 0 号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形 4 号	120	2240	120	120	5310	120
	洋形 6 号	120	2074	120	120	4248	120

不定形紙

名　称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1932	120	120	3258	120
最大サイズ	120	4980	120	120	6780	120

ポイント

- **図と表は、ESC/Page モードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。**
- **アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域。
用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能。

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名 称		a	b	c	d	e	f
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
封筒	洋形 0 号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形 4 号	120	2240	120	120	5310	120
	洋形 6 号	120	2074	120	120	4248	120

不定形紙

名 称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1932	120	120	3258	120
最大サイズ	390	4980	342	120	6780	406

ポイント

- **図と表は、ESC/Page モードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。**
- **アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%
定格電流	12A
周波数	50 ～ 60Hz ± 3Hz
消費電力	最大 ：1,000W 以下 待機時 ：250W 以下 モノクロ印刷時平均 ：700Wh 以下 カラー印刷時平均 ：550Wh 以下 節電時 ：45Wh 以下

環境使用条件

動作時	温度 ：10 ～ 32℃ 湿度 ：15 ～ 85%（ただし結露しないこと） 高度 ：2,500m 以下 水平度 ：前後および左右の傾き 1 度以下 照度 ：3000lx 以下 周囲スペース ：左側方 100mm、右側方 444mm、前方 656mm、後方 100mm、
保存・輸送時	温度 ：0 ～ 35℃ 湿度 ：30 ～ 85%

コントローラ基本仕様

CPU	R5000（266MHz）
RAM	標準：32MB オプション増設時：最大 512MB
インターフェイス	標準 ：セントロニクス 双方向パラレル IEEE 1284 準拠 ニブルモード、ECP モード オプション ：Type B I/F（1 スロット）
オプション ROM モジュールソケット	2 ソケット
ハードディスクユニット	オプションとして装着可
内蔵モード	標準 ESC/Page モード（Color 対応：双方向機能） ESC/P モード（モノクロのみ：VP-1000 エミュレーション） ESC/PS モード（モノクロのみ：PC-PR201H エミュレーションと ESC/P を自動判別） その他 EJL モード（双方向機能）

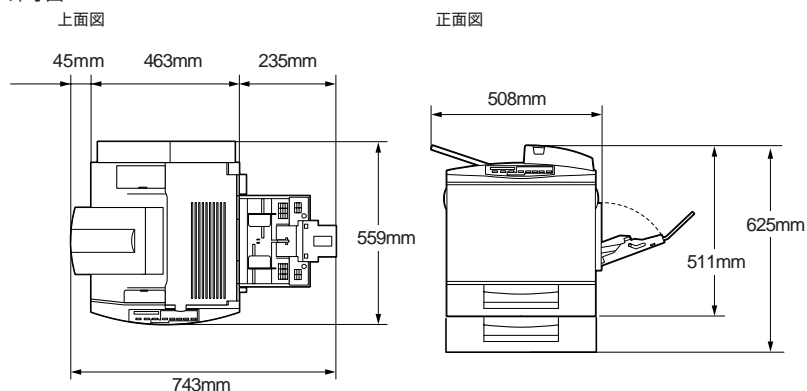
外観仕様

外形寸法	幅 463*mm ×奥行き 559mm ×高さ 511mm * 用紙トレイを収納した状態
重量	約 44.5kg （消耗品を含む）

外寸図

上面図

正面図

45mm 463mm 235mm
559mm
743mm
508mm
625mm
511mm

パラレルインターフェイス仕様

転送形式	8 ビットパラレル（IEEE1284 準拠）
同期方法	外部供給ストローブパルス信号
ハンドシェイク	ACKNLG または BUSY 信号
ロジックレベル	TTL レベルと同等
適合コネクタ	57-30360 AMPHENOL 相当

信号説明

ピン番号	信号名	I/O	ピン番号	信号名	I/O
1	STROBE	I	14	AUTOFEED	I
2	DATA1	I	15	NC	—
3	DATA2	I	16	GND*1	—
4	DATA3	I	17	CHASSIS-GND*1	—
5	DATA4	I	18	＋5V*2	—
6	DATA5	I	19～30	GND	—
7	DATA6	I	31	INIT	I
8	DATA7	I	32	ERROR	O
9	DATA8	I	33	GND	—
10	ACKNLG	O	34	NC	—
11	BUSY	O	35	＋5V*2	—
12	PE	O	36	SLCTIN	I
13	SLCTOUT	O			

I＝入力信号、O＝出力信号、NC＝未使用
LOW アクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

*1　CHASSIS- GND と GND はプリンタ内でつながっています。
*2　電源ではありません。

オプションと消耗品仕様

ET カートリッジ	型番	：ET カートリッジ　シアン（C）　LPCA4ETC1C ET カートリッジ　マゼンタ（M）　LPCA4ETC1M ET カートリッジ　イエロー（Y）　LPCA4ETC1Y ET カートリッジ　ブラック（Bk）　LPCA4ETC1K
	トナー寿命 *1	：各色 6,000 ページ（A4、画占率 5%）
	保存環境温度	：0 ～ 35℃
	保存環境湿度	：30 ～ 85%
感光体ユニットキット	型番	：LPCA4KUK1
	同梱品	：感光体ユニット、廃トナーボックス、 プリントヘッドフィルタ
	寿命 *1	：モノクロ印刷（連続印刷）　30,000 ページ カラー印刷（連続印刷）　7,500 ページ
	保存環境温度	：0 ～ 35℃
	保存環境湿度	：30 ～ 85%
定着オイルロール	型番	：LPCA4TOR1
	寿命 *1	：モノクロ印刷（連続印刷）　21,000 ページ カラー印刷（連続印刷）　7,500 ページ
	保存環境温度	：0 ～ 35℃
	保存環境湿度	：30 ～ 85%
廃トナーボックス *2	型番	：LPCA4HTB1
	寿命 *1	：モノクロ印刷（連続印刷）　30,000 ページ （画占率 5%） カラー印刷（連続印刷）　7,500 ページ （各色、画占率 5%）
	保存環境温度	：0 ～ 35℃
	保存環境湿度	：30 ～ 85%
増設カセットユニット	型番	：LP30CWC1
	給紙スピード	：A4 モノクロ印刷時 20PPM A4 カラー印刷時 5PPM
	用紙サイズ	：A4、Letter
	用紙容量	：500 枚（55mm）
	重量	：5.5kg（カセットのみでは 2.7kg）
	外形寸法	：435mm (W) x 488mm (D) x 116mm (H)
両面印刷ユニット	型番	：LPCDSP2
	給紙スピード	：A4 モノクロ印刷時 13PPM A4 カラー印刷時 5PPM
	用紙サイズ	：A4、Letter
	重量	：1.7kg
	外形寸法	：353mm (W) x 135mm (D) x 228mm (H)

*1 ：印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷）により実際の寿命は変化します。画占率 5% 未満で印字した場合は、最大 8000 ページで寿命となります。

*2 ：廃トナーボックスは感光体ユニットと同時に交換してください。画占率が高い印刷を繰り返すと感光体よりも早めに寿命が終わります。この場合、廃トナーボックスのみ別に購入し、交換してください。

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

Ⓐ **ACKNLG（アクノレッジ）**
データを正しく受け取ったことを知らせる信号。

Ⓑ **Byte（バイト）**
コンピュータやプリンタの中で扱う情報の単位。8ビットで構成されており、1バイトは通常1文字または1コードに対応している。

Ⓒ **ColorSync（カラーシンク）**
アップルコンピュータ社が提供する、Macintosh用のカラーマネジメント機能のうちの1つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSyncの機能を100%発揮させるためには、入力機器（スキャナなど）、印刷データ、ディスプレイ、出力機器（プリンタ）の全てが、ColorSyncに対応している必要がある。

CPGI（Color Photo&Graphics Improvement／シーピージーアイ）
画像を構成する各ドットをさらに分割して制御することで、色の割合をより細かく制御し、微妙な色調の印刷を可能にするEPSON独自の技術。

CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）
25.4mm｛1インチ｝の横幅に印字できる文字数を表す単位。文字ピッチを示す単位として使用する。

CPL（Characters Per Line/シーピーエル）
1行に印字できる文字数を表す単位。文字ピッチを示す単位として使用する。

CPU（Central Processing Unit/シーピーユー）
プログラムを解読し、演算を行う中枢部。

CR（Carriage Return/キャリッジリターン）
1行の印字を行ったあとに次の印字位置をその行の先頭に戻す制御コード。ASCIIまたはJISコードの0DH（10進数の13）。

Ⓓ **dpi（Dots Per Inch/ディーピーアイ）**
25.4mm｛1インチ｝幅に印字できるドット数を表す単位。解像度を示す単位として使用する。

Ⓔ **E2PROM（Electrical Erasable Programmable ROM/イーイーピーロム）**
電気的に内容を消去することができるPROMのこと。PROMを参照。

ESC/P®（EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー）
エプソンによって標準化された、印字するためにコンピュータからプリンタに送る命令（コントロールコード）体系。

ESC/Page®（EPSON Standard Code for Page Printer/イーエスシーページ）
エプソンによって標準化された、コンピュータからページプリンタに送る命令（コントロールコード）体系。

ESC/Pエミュレーションモード
プリンタがESC/Pのコントロールコードで動作する状態のことで、エプソン24ドット漢字プリンタに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使用することができる。

ESC/P スーパーモード
プリンタがESC/PまたはPC-PR201Hのコントロールコードで動作する状態。エプソン24ドット漢字プリンタまたは日本電気株式会社のPC-PR201Hに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使用することができる。

ETカートリッジ 印刷用のトナーを容器に入れ、プリンタへの脱着が簡単に行えるようにしたもの。

EtherTalk（イーサトーク）
Macintosh を Ethernet（イーサネット）に接続するための AppleTalk の通信規約。LocalTalk でネットワーク接続した場合よりもデータの通信速度が速い。

F

FF（Form Feed/ フォームフィード）
改ページを行う制御コードで、ASCII または JIS コードの 0CH（10 進数の 12）。

FireWire Apple Computer 社が開発し IEEE1394 として規格化されたシリアルインターフェイス。中速から高速向けのデータ転送が可能。

I

IEEE インターフェイス（IEEE-488）
IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）によって、デジタル機器の接続用標準バスとして定められているインターフェイス。同様なバスとして、GP-IB（General Purpose Interface Bus）や HP-IB（Hewlett-Packard Interface Bus）などがある。

J

JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）
日本国内の文字コードや漢字コードを規定している、日本工業規格の略称。

K

KB（kilobyte/ キロバイト）
データ量やメモリ容量の単位。1KB は 1024 バイトになる。

L

LF（Line Feed/ ラインフィード）
改行を行う制御コードで、ASCII または JIS コードの 0AH（10 進数では 10）。

LocalTalk® Apple Computer 社の Macintosh シリーズ用のネットワーク（AppleTalk®）を構成する各種デバイスを接続するための、ケーブルを中心としたシステム。

M

MB（megabyte/ メガバイト）
データ量やメモリ容量の単位です。1MB は 1024 × 1024 バイト（＝ 1024KB）になる。

O

OCR 人間が読みとれる数字や文字をそのまま機械に認識させる方式。

OCR-B 光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

OHPシート オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

P

PGI（Photo&Graphics Improvement/ピージーアイ）
画像データが持つ微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するために、階調表現をより細かく制御する EPSON 独自の機能。

PPM（Pages Per Minute/ピーピーエム）
1 分間に印刷できる用紙の枚数。

PROM（Programmable ROM/ピーロム）
プログラムなどを書き込むことができる ROM のこと。ROM を参照。

R

RAM（Random Access Memory/ラム）
データなどを読み書きできるメモリ。

ROM（Read Only Memory/ロム）
データなどの読み出し専用のメモリ。

RS-232C コンピュータとプリンタをケーブルで接続する標準的なシリアルインターフェイス。

数字

2進法（binary：バイナリ）
0と1の2つの数字だけを使用して、数値を数える体系。基数（数を表現するために使う記号の数）は2となる。コンピュータシステムの全情報はバイナリ形式で処理され、バイナリの数字はビットと呼ぶ。0～255までの任意の数字は、8ビットの2進数で表現される（0～11111111）。

10進法（decimal：デシマル）
数字の0、1、2、3、4、5、6、7、8および9を使用して、数値を数える体系。基数は10となる。ごく一般的に使用される、数の数えかた。

16進法（Hexadecimal：ヘキサデシマル、Hexと略される）
10進法の0～9までは10進法と同じ数字を使い、10～15をA～Fのアルファベット文字で表現して、数値を数える体系。基数は16。ふつう16進数の数の表記では、数字の末尾にHまたはhを付ける（例：0AHは、10進数の10に相当）。プログラムなどでおもに使用される数えかたで、0～255の数は2桁の16進数で表現できる（0H～FFH）。付録の英数カナ文字コード表などでは、たとえば文字コード0AHの文字（LF文字）は、横軸の0と縦軸のAが合わさる位置に配置される。ただし、EPSON JIS83漢字横書き、縦書きの両セットの表では、縦軸と横軸の関係が逆になる。

アイウエオ

ア **アウトラインフォント**
数式によって定義されているフォント。アウトラインフォントでは、サイズや方向など、文字の属性を変更することができる。

アプリケーションソフト
コンピュータ上で動作する、実際の業務や作業をするためのソフトウェア。ワードプロセッサや表計算ソフト。通常の印刷は、アプリケーションソフトを使用して行う。

イ **インターフェイス** コンピュータとプリンタとの間の接続のために使用するハードウェアやソフトウェア。パラレルインターフェイスはデータを1文字、あるいは一度にデータを1コード（8ビット）ずつ送信する。シリアルインターフェイスは、データを一度に1ビットずつ送信する。

インターフェイスケーブル
コンピュータとプリンタをインターフェイスで接続するケーブル。

インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

エ **液晶ディスプレイ** 液晶板を使用した表示装置。本機では操作パネルに使用されている。

エラーメッセージ 液晶ディスプレイに表示される異常状態のメッセージのこと。

オ **オプション** 利用者が自由に選択して購入できる部品。

オフセット 印字位置を上下左右に移動させる量。

カ **カラーマッチング**　原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

キ **キャッシュ**　フォントキャッシュを参照。

給紙　用紙をプリンタに供給すること。

シ **初期設定**　プリンタの電源をオンにしたり、プリンタを初期化したときに有効になる設定。プリンタの工場出荷時設定と同じ。

書体　明朝、ゴシックなどの文字のデザイン。

シリアルインターフェイス
データを 1 ビットずつ転送するインターフェイス。

シリアルプリンタ　1 文字ずつ印字する方式のプリンタ。

ス **ステータスシート**　プリンタの設定状態を印刷した用紙。

ソ **双方向通信**　2 つの機器の間で、同時にデータの送信と受信を行うこと。

チ **調歩同調式**　データにスタートビットと、ストップビットを付加した、シリアルデータ転送方式。

チェックデジット　読み取りの正確性を保つために所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

ツ **坪量**　用紙の厚さを表す単位（1 平方メートル / グラム）。

テ **定形紙**　JIS などの規格で定められた大きさの用紙（A4、B5 など）。

定着器　用紙上のトナーを熱と圧力で定着させる機構。

ト **トナー**　印刷のために用紙に定着させる着色樹脂粉末。

トランケーション　**(truncation=先を切ること)**
印刷スペースやデザインなどの都合で、天地方向の寸法を縮めたバーコードシンボル。

ハ **排紙**　用紙をプリンタから排出すること。

排紙トレイ　プリンタから排出された用紙を受けるところ。

バーコード　太さの異なるバーとスペースとの組み合わせにより、数字や文字などを機械的に解読可能な形で表現したもの。

バイナリ　2 進法を参照。

バッファ　一時的にデータを記憶させておくメモリ。

パネル設定　操作パネルで行う、プリンタ機能の設定。

パラレルインターフェイス
コンピュータからプリンタへデータを転送する際に、データを8ビットずつ転送する方式。

パリティチェック　データ転送の際に起きるエラーのチェック。

ハンドシェイク　送信と受信の制御情報をデータとは別途にやりとりすることによって、互いの状態を確認する方法。

ヒ **ビット**　1バイナリディジット（0または1）。プリンタやコンピュータによって使用される最小単位。

ビットマップフォント
ドット（点）の集合体として記憶されているフォント。アウトラインフォント参照。

フ **フォント** 書体のこと。

フォント ROM モジュール
各種フォントが内蔵された ROM モジュール。

フォントキャッシュ
プリンタで内部的に生成した文字（フォント）をプリンタのメモリに記憶する機能。

プリンタドライバ アプリケーションソフトウェアのコマンドを、プリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェア。

プロトコル 通信制御のために使われる、信号をやりとりするときの決まりごと。

ヘ **ページプリンタ** ページ単位で印刷する方式のプリンタ。

ホ **ホストコンピュータ**
ネットワークシステムの中心になるコンピュータ。

ボーレート データ転送の速度を示す尺度。コンピュータとプリンタの間で、シリアルインターフェイスを設定するときに使用。

メ **メモリ** 情報を保存するために使用される記憶装置。プリンタに装備されているメモリは、プリンタの動作をコントロールするための情報を入れたり（この情報の変更はできない）、コンピュータからプリンタに送られるデータ（例えばダウンロードフォントやグラフィックス）を一時的に保存するために使用される。E2PROM、RAM および ROM 参照。

リ **リセット** 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行う。
現在稼働中のインターフェイスのみに有効となる。
キャッシュに保存されたフォントは記憶している。

リセットオール 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行う。
すべてのインターフェイスに対して有効となる。

索引

参照ページが Sxx となっているものは、「セットアップガイド」の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。

数字

アルファベット

アイウエオ

お問い合わせ確認票

コピーしてお使いください。

電話にてエプソンインフォメーションセンターへお問い合せいただく際にご使用ください。あらかじめご記入のうえ電話をおかけいただくことにより、トラブルの解決がよりスムーズに行えます。

＊印については次のページを参照してください。

プリンタ機種名	LP-3000C
コンピュータメーカー名	
コンピュータ OS	□ Windows95*1　Ver.
	□ Windows98*1　Ver.
	□ WindowsNT4.0*1　Ver.
	□ Windows2000*1　Ver.
	□漢字 Talk/MacOS*2　Ver.
	□その他　Ver.
接続ケーブル	EPSON 製　□ PRCB4N　□ PRCB5N
	その他　□メーカー名　型番
	バッファ、切替機など　□有り　□無し
ステータスシート印刷	□正常　□正常でない お問い合せの際は念のため、お手元に印刷結果をご用意ください。
プリンタドライバ	プリンタドライバのバージョン*3　Ver.
	CD-ROM のリビジョン*4　Rev.
	テストページの印刷*5 □正常　□正常でない
	プリンタドライバの再インストール □行った　□行っていない
アプリケーションソフト	メーカー名
	ソフト名
	バージョン　Ver.
	上記アプリケーションソフトで他のデータを印刷した場合 □正常に印刷できる　□正常に印刷できない
	他のアプリケーションから印刷を行った場合 使用アプリケーション名 ＿＿＿＿＿＿＿＿ □正常に印刷できる　□正常に印刷できない
今回のようなトラブルの現象は以前からありましたか？	□以前からあった　□以前はなかった
今回のようなトラブルはどのくらいの頻度で発生しますか？	□毎回必ず発生する　□ほとんどの場合に発生する □発生したりしなかったり
お客様 ID コード（取得済みの方のみ）	プリンタの製造番号*6

お問い合せ確認票記入のために

*1 Windowsのバージョン(Ver.)の確認方法

［マイコンピュータ］を右クリックして、メニューから［プロパティ］をクリックします。［全般］/［情報］ダイアログの［システム］の部分に記載されている部分が該当します。

*2 漢字Talk(Mac OS)バージョン(Ver.)の確認方法

［アップルメニュー］から［この Macintosh について］(Mac OS の場合は［このコンピュータについて］)を選択します。開いたウィンドウの［システムソフトウエア］の記載部分が該当します。
(Mac OS の場合は、ウィンドウの右上にバージョンが表示されます。)

*3 プリンタドライバのバージョン(Ver.)の確認方法

Windows の場合

プリンタドライバのプロパテイのウィンドウで［基本設定］タブを選択し、右下の バージョン情報 ボタンをクリックします。開いたウィンドウの中にバージョン番号の記載があります。

Macintosh の場合

［プリント］ダイアログや［用紙設定］ダイアログの上部に表示されます。

*4 プリンタドライバのリビジョン(Rev.)の確認方法

お客様がプリンタドライバのインストールに使用された CD-ROM に記載の「Rev.」が該当します。

*5 テストページの印刷方法

Windows の場合

プリンタドライバのプロパテイのウィンドウで［環境設定］タブを選択し、ステータスシート印刷 ボタンをクリックします。

Macintosh の場合

［アップル］メニューから［セレクタ］を選択して、プリンタドライバの選択とプリンタまたはポートの選択を実行した後、セットアップ ボタンをクリックします。開いたダイアログの ステータスシート印刷 ボタンをクリックします。

*6 プリンタの製造番号の確認方法

プリンタの保証書、もしくはプリンタ本体背面に貼ってあるシールに記載があります。

修理依頼票

コピーしてお使いください。

機 種 名	LP-3000C　　製造番号
お買上店名	お買上日　　年　　月　　日
修理品への添付	□ 保証書　□ケーブル（種類：　　　　　　　） □（　　　　　　　）□（　　　　　　　）

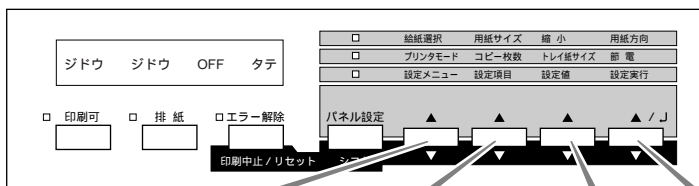
発生の日時／頻度について、ご記入ください	
初めて故障した日時	年　　月　　日
故障が発生する時	電源ON時・使用開始直後・使用開始後　　分/時間してから・電源OFF時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（　時間/　日に　回）・まれ（　週間に　回）
自己診断（動作確認）での結果について、ご記入ください	
動作確認結果	良好 ・ 異常（　　　　　　　　　　）
故障内容について、文字／イラストなど、具体的にご記入ください	
お願い：	印刷結果に関する故障は、印刷サンプルを添付してください。用紙によって発生する場合は該当紙の添付をお願いします。また、特定のファイルで現象が発生する場合、差し支えなければ、フロッピーディスクにて添付してください。
お客様のコンピュータについて、ご記入ください	
コンピュータ	メーカー名　　　　　機種
メモリ	標準　　MB＋増設　　MB（メーカー　　　型番　　　）= 合計　　MB
インターフェイス	パラレル・双方向パラレル・SCSI・シリアル・その他（　　　　　）
接続ケーブル	メーカー名：
故障発生時のソフトウェアをご記入ください	
OS	□Windows 95　（メーカー.　　Ver.　　） □Windows 98　（メーカー.　　Ver.　　） □Windows NT4.0（メーカー.　　Ver.　　） □Windows 2000（メーカー.　　Ver.　　） □Mac OS（漢字Talk）（メーカー.　　Ver.　　） □ネットワーク（メーカー.　　Ver.　　） □その他　（メーカー.　　Ver.　　）
ドライバ	メーカー　　　ドライバ名　　　Ver.
アプリケーション	メーカー　　　Ver. メーカー　　　Ver.
一日の使用時間／印字あるいは取り込み枚数	時間／　　枚（用紙サイズ　　）

フリガナ お名前	電話番号 TEL FAX
ご住所　〒　　ー	お客様IDコード（取得済みの方のみ）

＊保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

パネル設定一覧表

部分はオプション装着時に表示されます。

ワンタッチ設定モード1

給紙選択	用紙サイズ	縮小	用紙方向
ジドウ→トレイ→カセット1→ カセット2	ジドウ→ A4 → A5 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → GLT → EXE →ヨウ 0 →ヨウ 4 →ヨウ 6	OFF ←→ 80%	タテ←→ヨコ

ワンタッチ設定モード2

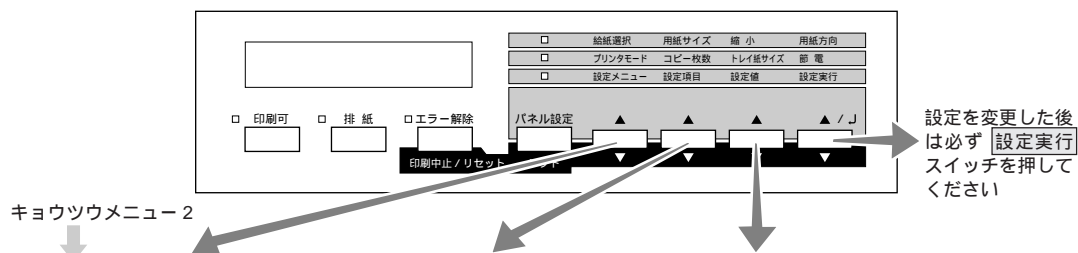
プリンタモード	コピー枚数	トレイ紙サイズ	節電
ジドウ ↓ ESC/PS ↓ ESC/P ↓ ESC/Page	1～999	A 4 → A 5 → B 5 →ハガキ→ L T → HLT → GLT → EXE →ヨウ 0 →ヨウ 4 →ヨウ 6	30 → 60 → 120 → 180 → OFF

階層設定モード

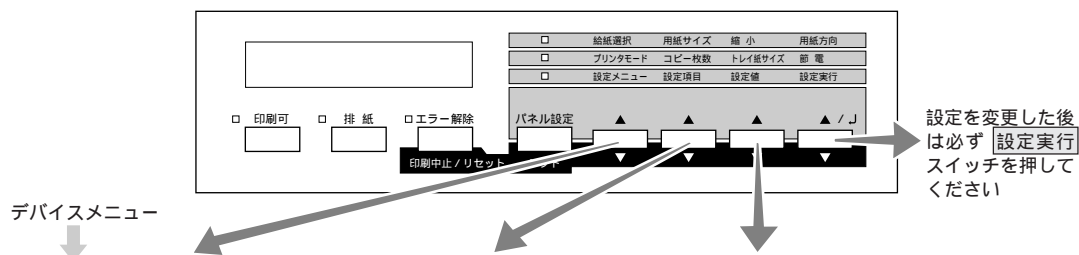
設定メニュー	設定項目	設定値
テストインサツメニュー	ステータスシート	
	I/F カードジョウホウ	
	ROM モジュール A ジョウホウ	
	ROM モジュール B ジョウホウ	
キョウツウメニュー	I/F タイムアウト	20 ～ 600 ビョウ
	セツデン	30 プン→ 60 プン→ 120 プン→ 180 プン→ OFF
	トレイヨウシサイズ	A4 → A5 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → GLT → EXE →ヨウ 0 →ヨウ 4 →ヨウ 6
	カセット 1 ヨウシサイズ	
	カセット 2 ヨウシサイズ	
	トレイタイプ	フツウシ→レターヘッド→サイセイシ→イロツキ→ OHP シート→ラベル
	カセット 1 タイプ	フツウシ→サイセイシ→イロツキ
	カセット 2 タイプ	フツウシ→サイセイシ→イロツキ
	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ←→ ENGLISH
	ショキカセッテイ	
キョウツウメニュー 2	C トナーザンリョウ	
	M トナーザンリョウ	
	Y トナーザンリョウ	
	K トナーザンリョウ	
	トナーコウカンエラーヒョウジ	シナイ←→スル
	カンコウタイライフ	
	ノベインサツマイスウ	
	カラーインサツマイスウ	
	B/W インサツマイスウ	

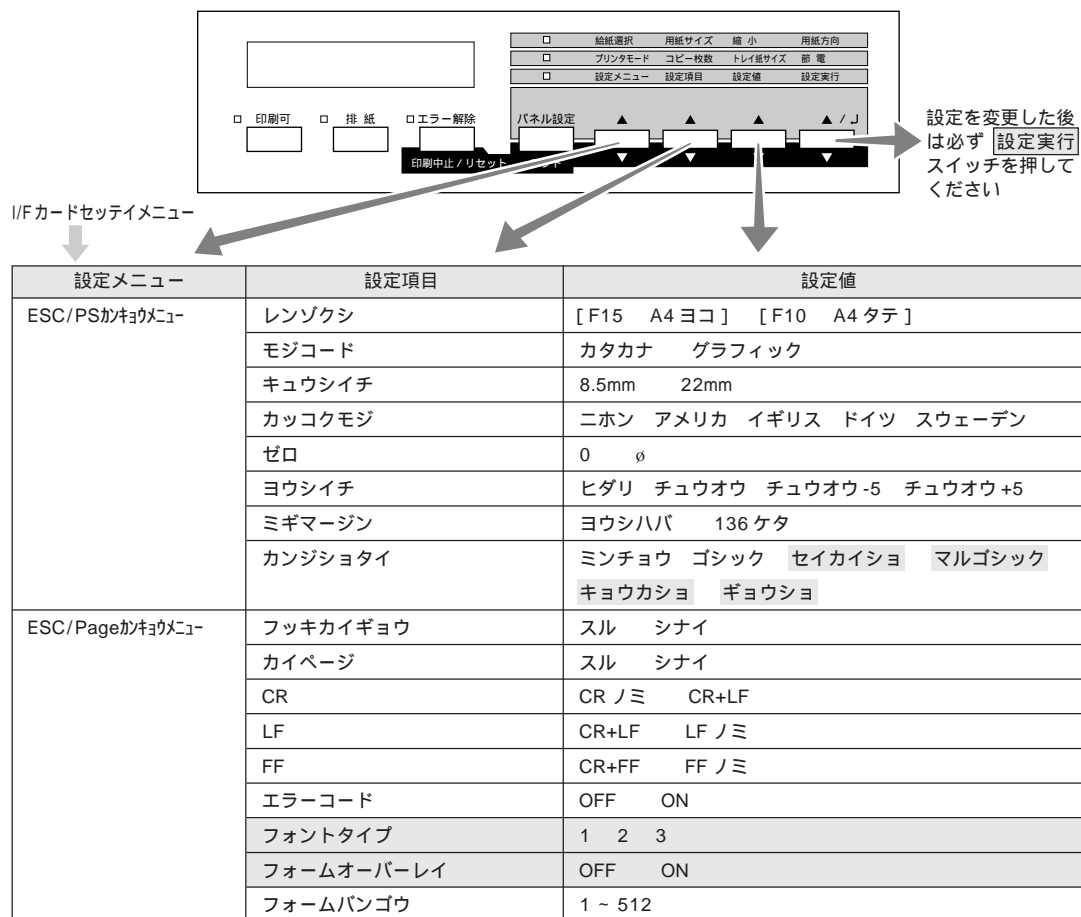
↓

プリンタモードメニュー

キョウツウメニュー 2

設定メニュー	設定項目	設定値
プリンタモードメニュー	パラレル	ジドウ→ESC/PS→ESC/P→ESC/Page
	I/F カード	ジドウ→ESC/PS→ESC/P→ESC/Page
	ワンタッチ	パラレル→I/F カード
インサツメニュー	キュウシ	ジドウ→トレイ→カセット 1→カセット 2
	ヨウシサイズ	ジドウ→A4→A5→B5→ハガキ→LT→HLT→GLT→EXE→ヨウ 0→ヨウ 4→ヨウ 6
	ヨウシホウコウ	タテ←→ヨコ
	コピーマイスウ	1〜999
	シュクショウ	OFF←→80%
	カイゾウド	ハヤイ←→キレイ
	イメージホセイ	1←→2
	ハクシセツヤク	スル←→シナイ
	ジドウハイシ	スル←→シナイ
	リョウメンインサツ	OFF←→ON
	トジホウコウ	ロングエッジ←→ショートエッジ
デバイスメニュー	RIT	ON←→OFF
	トナーセーブ	シナイ←→スル
	ウエオフセット	-30.0mm〜+30.0mm
	ヒダリオフセット	-30.0mm〜+30.0mm
	ウエオフセット B	-30.0mm〜+30.0mm
	ヒダリオフセット B	-30.0mm〜+30.0mm
	カミシュ	フツウ→アツガミ→OHP シート
	ヨウシサイズフリー	OFF←→ON
	ジドウエラーカイジョ	シナイ←→スル
	ページエラーカイヒ	OFF←→ON

パラレル I/F セッテイメニュー

デバイスメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
パラレルI/Fセッテイメニュー	パラレルI/F	ツカウ←→ツカワナイ
	ACK ハバ	ミジカイ←→ヒョウジュン
	ソウホウコウ	ニブル→ECP→OFF
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ
I/F カードセッテイメニュー	I/F カード	ツカウ←→ツカワナイ
	I/F カードセッテイ	シナイ→スル
	IP アドレスセッテイ	パネル→ジドウ→PING
	IP Byte 1	0～255
	IP Byte 2	0～255
	IP Byte 3	0～255
	IP Byte 4	0～255
	SM Byte 1	0～255
	SM Byte 2	0～255
	SM Byte 3	0～255
	SM Byte 4	0～255
	GW Byte 1	0～255
	GW Byte 2	0～255
	GW Byte 3	0～255
	GW Byte 4	0～255
	NetWare	ON←→OFF
	AppleTalk	ON←→OFF
	NetBEUI	ON←→OFF
	I/F カードショキカ	
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ

ESC/PS カンキョウメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
ESC/PSｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	レンゾクシ	［F15 → A4 ヨコ］→［F10 → A4 タテ］
	モジコード	カタカナ←→グラフィック
	キュウシイチ	8.5mm ←→ 22mm
	カッコクモジ	ニホン→アメリカ→イギリス→ドイツ→スウェーデン
	ゼロ	0 ←→ ø
	ヨウシイチ	ヒダリ→チュウオウ→チュウオウ -5 →チュウオウ +5
	ミギマージン	ヨウシハバ←→ 136 ケタ
	カンジショタイ	ミンチョウ→ゴシック→ セイカイショ → マルゴシック → キョウカショ → ギョウショ
ESC/Pageｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	フッキカイギョウ	スル←→シナイ
	カイページ	スル←→シナイ
	CR	CR ノミ←→ CR+LF
	LF	CR+LF ←→ LF ノミ
	FF	CR+FF ←→ FF ノミ
	エラーコード	OFF ←→ ON
	フォントタイプ	1 → 2 → 3
	フォームオーバーレイ	OFF ←→ ON
	フォームバンゴウ	1 〜 512

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に反し、罰せられます。
(関連法律)
刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条など

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合修理等は有償で行います。